

第六十五回帝國議會
衆議院

原蠶種管理法案委員會會議錄(速記)第四回

付託議案

原蠶種管理法案(政府提出)

會議

昭和九年二月二十八日(水曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 生田 和平君

理事横川 重次君 理事永田 良吉君

理事小山邦太郎君

青木 精一君

山本 慎平君

近藤壽市郎君

三善 信房君

戸井 嘉作君

百瀬 渡君

鷲澤與四二君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 後藤 文夫君

出席政府委員左ノ如シ

農林參事官 松村 謙三君

農林省蠶絲局長 井野 碩哉君

農林書記官 田淵 敬治君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

原蠶種管理法案(政府提出)

○生田委員長 是ヨリ原蠶種管理法案ノ委

員會ヲ開キマス、通告順ニ依リマシテ質疑ヲ許シマス——加藤知正君

○加藤委員 本案ニ關聯シテ色々政府當局ニ質問ヲ致シタイコトガアルノデア

リマスガ、併シ時間ノ關係モアリマスカ

ラ、成ベク簡潔ニ御尋ラシタイト存ジ

マス、私共ハ此蠶絲業ノ問題程切迫致シテ

居ル問題ハナイト思フノデアリマシテ、能

ク非常時々々ト申シマスケレドモ、若シ

我ノ國家ニ非常時ト云フコトガアルナラ

バ、我ノ蠶絲業程非常時ノモノハナイト云

フ程ニ考ヘテ居ルノデアリマス、然ラバ此

非常時ニ處スル蠶絲對策ハドウデアルカ、

斯ウ云フコトヲ檢討シテ見マスルト云フ

ト、色々アリマセウガ、言フ迄モナク、絲

價ノ安定、是ガ此非常時ニ處スル最モ急ラ

要スル問題デアル、而シテ之ニ次グノガ生

絲ノ宣傳問題デアル、尙ホ關却シテナラヌ

ノハ絲條斑ノ改良、勿論絲條斑ノ改良ト云

フコトハ昨日ヤ今日始ツタ問題デハアリマ

セヌ、殆下生絲貿易開始以來此事ハヤカマ

シク論議サレテ居ル問題デアルト申シテモ

差支ナイノデアリマスガ、併シ今日尙ホ絲

條斑ノ改良ノ喧シク論議セララル、ト云フコトハ、要スルニ或國ノ生絲ノ絲質ガ消費者

即チ御得意ニ對シ満足ヲ與ヘルコトノ出來

ナイ狀態ニアルト云フコト、其事ガ即チ私

ガ蠶絲業ヲシテ今日斯ノ如キ窮迫ヲ告ゲル

ヤウナ狀態ニ相成ツタ重大ノ原因デアルト

見ルコトモ出來ルノデアリマスカラ、此絲

條斑ノ改良ト云フコトモ非常時ニ處シマシ

テハ洵ニ大切ナ問題デアルト申上ゲルノデ

アリマスガ、併ナガラ是ヨリモ更ニ最モ急

ラ要シマスルノガ、即チ此絲價ノ安定ト云

フコト、生絲ノ宣傳ト云フコトノ二大問

題ニ歸著スルノデアリマス、何故ニ絲價ノ

安定ガ左様ニ急務デアルカト申シマスレ

バ、申上ゲルマデモナク、我ガ生絲ノ取引

狀態ガ無統制ノ下ニ行ハレル爲ニ、常ニ絲

價ガ動搖シテ居ル、特ニ昭和五年以來暴落

ニ次グニ暴落ヲ以テスルト云フヤウナ狀態

デアルノデアリマスカラ、我國ノ生絲ノ最

大得意デアル亞米利加ノ絹業者ハ、日本ノ

生絲ヲ買ヘバ下ル、買ヘバ下ルト云フコト

デ、殆下傷手ヲ負ハナイ絹業者ハナイト云

フコトデアリマシテ「バターソン」ノ如キ殆

ド大部分ノ絹業者ガ破産ノ狀態ニ陥ツテ居

ルト云フコトサヘモ吾々ハ聞イテ居ルノデ

アリマシテ、斯ウ云フヤウナ狀態デアレバ、

向フノ消費者ハ到底日本ノ生絲ヲ安心シテ

使フコトガ出來ナイ、人造絹絲ノ發達スル

マデハ餘儀ナク日本ノ生絲ヲ使ッテ居ッタク

レドモ、既ニ人造絹絲ガ今日ノ如ク發達シ

タ以上ハ、日本ノ生絲ニシテ斯ノ如キ取引

狀態デアッテ、之ヲ改メルコトガ出來ナケレ

バ吾々ハ已ムヲ得ズ絲價ノ安定致シテ居ル

人造絹絲ヲ使ハナケレバナラナイ、斯ウ云

フ事ヲ皆向フノ絹業者ハ異口同音ニ申シテ

居ルノデアリマス、此儘ニシテ置キマスレ

バ我ガ生絲ト云フモノハ朝ニ一城ガ落チタ

ニ一塞ガ抜カル、ト云フコトハ、モウ爭フ

ベカラザル事實デアリマス、サウ云フヤウ

ナ今日ノ窮迫致シタ狀態ヲ農林大臣ハ御存

ジアルノカナイノカ、ソレヲ先以テ私ハ御

尋致シテ見タイト思フノデアリマス

○後藤國務大臣 加藤サンノ御質問ニ御答

ヲ致シマス前ニ一寸皆サンニ御挨拶ヲ申上

ゲタイト思ヒマス、私ハ先達テ來病氣ニ罹

要ナ法案ヲ提出致シテ置キマシテ、御審議ヲ願フ居リマス際ニ、皆様ニ非常ニ御審議上ノ御不便ヲ感ジサセタコト、存ジマシテ甚ダ遺憾ニ考ヘマス、惡カラズ御諒承ヲ御願申シマス

只今加藤君カラノ御質問デアリマスルガ、我國ノ蠶絲業ガ今日色々ナ原因ニ依ッテ可ナリ前途ニ付テ考慮シナケレバナラヌ事情ニ立ッテ居ル、生絲ノ市價ノ不安定ガ人絹ノ進出ト共ニ一層其影響ヲ大キクシテ、得意デアル海外市場ニ於ケル生絲ノ販路ト云フモノニ付テ必シモ樂觀ノ出來ナイ事態ヲ見ルノデアルト云フ事柄ニ付テハ、私等モ全ク感ヲ同ジウスルノデアリマシテ、出來ル限り是等ノ點ニ付テモ適當ナ策ヲ當業者ノ側カラモ政府ノ側カラモ考究シテ、之ニ對處スルコトヲ致サネバナラヌ、事ハ必シモ悠長ニ構ヘテハナラナイ、出來ル限り速ニサウ云フ方策ヲ講ジ得ル點カラデモ、著々ト著手セネバナラヌト云フ風ニ考ヘテ居リマス、唯値ノ問題ハ、一面ニハ供給、一面ニハ需要ト兩方カラ來ル原因ガアリマシテ、ソレニハソレノ又簡單ニ之ヲ始末ヲシテ絲價ヲ安定スルコトノ出來ナイ事情ガ複雑多岐ニ存在シテ居リマスノデ、理想通りノ事態ヲ直チニ齎ラスト云フ

コトモ、中々困難デアルトコトヲ感ジテ居リマスケレドモ、併シ其困難ヲ片端カラ著手ノ出來ル點ヨリ手ヲ著ケテ段々良クシテ參ラナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○加藤委員 私ノ御尋申上ゲマシタノハ色色蠶絲對策ハアリマセウガ、併ナガラ何ヲ措イテモ最モ急ヲ要スルモノハ絲價ノ安定デアル、是ハ亞米利加ノ狀態ガ雄辯ニ物語ッテ居ル所デアリマシテ、其亞米利加ノ消費地ニ於ケル狀態ヲ無視シテ蠶絲對策ヲ講ズル譯ニハ行カナイ、殊ニ向フノ人ガ一番何ヲ要望シテ居ルカト云フコトヲ最モ重ク考ヘテ、蠶絲對策ヲ講ゼナケレバナラヌガソレハ即チ絲價ノ安定デアル、絲價ノ安定ガ急務中ノ急務デアルト云フコトヲ御存ジデアルカドウカト云フコトヲ御尋シタノデアアル

○後藤國務大臣 絲價ノ安定ガ出來マスレバ無論結構デアリマス、又是ガ海外貿易ノ上カラ見テモ、海外市場ノ消費ヲヤハリ確實ニスル、確保スルト云フ上ニモ非常ニ有用ナルコトデアルト云フハ十分認メテ居ルコトデアリマス

○加藤委員 絲價ノ安定ガ急務中ノ急務デアルト云フコトヲ御認デアルト云フコトニ

解釋シテ宜シイト考ヘマス、若シ果シテサウデアルトスルナラバ、其絲價ノ安定ト云フコトニ付テ、左様ニ御認ニナッタノハ何時頃カラデアアルカト云フコトヲ私ハ御尋申上ゲタイ、農林大臣御就任早々サウ云フヤウナコトハ、御承知デアッタカドウカ、何時頃カラシテ左様ニ絲價ノ安定ガ急務中ノ急務デアルト云フコトヲ御認デアッタカ、斯ウ云フコトヲ私ハ伺ッテ見タイ

○後藤國務大臣 是ハ二通りニ御返事シタ方ガ宜イカト思ヒマス、農林當局トシテハ私ノ就任ノ前後ヲ問ハズ、我國ノ生絲ノ價ノ變動ノ激シイト云フコトガ、生絲貿易ノ上ニ、海外市場ニ於テ苦情ノ常ニアッタ所デアルト云フコトハ能ク承知シテ居ッタヤウデアリマス、出來得レバ此安定ヲ圖リタイト云フヤウナ考ヲ持ッテ參ッテ居ッタヤウニ思ヒマス、唯併シ絲價ノ安定ト云フコトガ我國デ問題ニナリマシタノハ、絲價ノ下ル時デアリマス、上ルコトヲ成ベク抑ヘテ安定ヲスルト云フヤウナコトヲ、我國デ考ヘルト云フコトハ、實際絲價ガ相當ナ値ヲ保チ、又常ニ上リ掛ケテ居ルト云フ場合ニハ困難ナ問題デアリマス、其場合ニハ實際問題ニナラナイ、ヤハリ絲價ノ下ルト云フ事情ガ生ジテカラ痛切ニ此問題ガ内外共ニ

感ゼラレルコトニナッタト思ヒマス、私ハ丁度絲價ノ下落ノ激シイ事情ノ起ッタ時ニ就任ヲ致シマシタ、ソレ以來生絲ノ價、延イテハ生絲カラ繭ノ價ト云フヤウナ事柄ガ、痛切ナ感ジトシテ頭ヲ刺戟シテ居ッタノデアリマス、海外ノ事情等ノコトモ聞イテ見ルト、海外デハ夙ニ我國ノ絲價ノ變動ガ、織物業者等ノ生絲ノ需要者ニ取ッテ苦痛ヲ與ヘテ居ルト云フコトヲ承ッテ參ッタノデアリマス、唯絲價ノ安定ト云フ事柄ハ、言フベクシテ非常ニ困難ナ問題デアリマス、殊ニ生産者ノ數ガ極ク少ク、或ハ生産者ガ大キナ所ニ集中シテ居ルト云フヤウナ場合デアリマスルト、比較的容易デアリマスルケレドモ、サウデナイ場合ニハ絲價ヲ安定サセルヤウニ需給ノ關係ヲ調節シ、價ヲ統制シテ行クト云フコトハ、非常ニムツカシイ問題デアリマス、殊ニ我國ノ如ク生絲ノ原料タル養蠶ト云フモノガ多數ノ農家ノ重要ナ産業トナッテ居リマシテ、或ハ他ノ紡績デアルトカ、人絹デアルトカ云フヤウニ、原料ヲ外カラ取ッテ來テ、大キナ工場デ此ノ仕事ヲスルト云フヤウナモノトハ餘程事情ヲ異ニシテ居リマス、又亞米利加ニ於キマシテモ人絹ト天然絹絲トニ對スル色々嗜好ノ變化ト申シマスカ、需要ノ變化等ガ起ッテ參

リ、主トシテ我國ノ經濟力ヲ以テ支配スル
コトノ出來ナイ場所ニ於ケル事情ノ變化ニ
モ因ッテ居ルト云フヤウナコトカラ、絲價ノ
安定ヲ圖ルト云フ爲メノ方策ハ、可ナリ困
難ナ問題デアルト云フコトヲ感シタノデア
リマスガ、併シ是ガ必要ナ事デアアル、急務
デアルトハ感ジマスルガ、急務デアアルカラ
直チニ確實ナル實行方法ガ必ズ發見サレ得
ルトハ、私ハマダ考ヘズニ參ッタノデアリマ
ス、併シ段々蠶絲業ノ前途ト云フモノヲ考
ヘテ見マスルト、一時ノ工合ノ好イトカ
惡イトカ云フ狀況ヲ超越シテ、將來ニ色々
ト大キク考ヘテ參ラナケレバナラヌノデア
リマス、隨デ此販賣ノ統制ト云フ問題モ、
速ニ著手ヲシテ、實行シ得ル點カラ手ヲ著
ケテ參ル、サウシテ出來ル限リ絲價安定等
ニモ好イ影響ヲ生ズル事情ヲ段々ト馴致シ
テ參ラナケレバナラヌト云フ風ニ私ハ考ヘ
テ參ッテ居ルノデアリマス

○加藤委員 色々御答ニナリマシタガ、ド
ウモ私ハ其御答辯ニ依ッテ満足ノ意ヲ表ス
ルコトガ出來ナイノデアリマスガ、併シ此
問題ノミニ拘泥ッテ居リマシテハ、段々議事
ノ進行ガ遅レマスカラシテ、是ハ後ニ致シ
マシテ、更ニ私ハ大臣ニ御伺シタイノハ、
生絲ノ宣傳ノコトデアリマス、是ハ御承知

ノヤウニ獨リ亞米利加ノミデハアリマセ
ヌ、歐羅巴ニ於キマシテモ亦生絲ノ宣傳ノ
必要ナコトヲ喧シク申シテ居リマス、最初
私共ハ亞米利加ヘ參リマシテ、生絲ノ宣傳
共モノ、必要ナコトヲ初メテ聽イタ譯デハ
ナイ、内地ニ居ル間ニ十分ノヲ承知ヲ致シテ
居ッタノミナラズ、數年前カラ此生絲宣傳ノ
必要デアルコトハ、向フノ當業者ノ方カラ
中央蠶絲會ニハ喧シク言ッテ來テ居ッタノデ
アリマス、殊ニ一昨年來ハ特ニ喧シク言ウ
テ來テ居ル次第デアリマス、其結果吾々ガ
米國ヘ參ルコトニナッタノデアリマスルガ、
米國ヘ參ッテ親シク向フノ内外人ニ接シテ
見マスルト、モウ今日ハ何ト云ッテモ應急ノ
對策トシテハ生絲ノ宣傳ヨリ外ニ方法ハナ
イ、斯様ニ向フノ人達ガ力説シテ居ルノデ
アリマス、是ハ獨リ紉育ニ於ケル人々ガ言フ
バカリデハナイ、市俄古方面ハ申スニ及バ
ズ「ポストン」方面ニ於ケル絹業者モ詰リ米
國一般ノ絹業者ハ皆眞面目ニ生絲——「シ
ルク」ノ需要増進ハ生絲ノ宣傳ヲ措イテ外
ニ途ハナイト言ッテ、絲價ノ安定ヲ要望スル
ト同時ニ、生絲ノ宣傳ヲ非常ニ要望致シテ
居ルノデアリマスガ、其事ニ付キマシテ、
大臣ハ能ク此事ヲ御承知デアリマスガ、何
故ニ今日ノ議會ニ對シテ、此生絲ノ宣傳費

ヲ本豫算ハ勿論ノコト、又是ハ新聞紙ニ依ッ
テ承知ヲ致シタノデアリマスルカラ、事實
ハ分リマセヌガ、追加豫算ニモ計上セラレ
テ居ラナイノデアアルガ、以上申述べマシタ
ヤウニ向フノ絹業者ハ非常ニ之ヲ要望致シ
テ居ルモノニ對シテ、何故ニ政府當局ハ之
ニ對シ何等ノ關心ヲモ拂ハレナイノデアアル
カ、此點ニ付テ農林大臣ノ御所見ヲ一ツ御
伺申上ゲタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 生絲ノ海外市場ニ於ケル
消費ノ發展ヲ圖リ、或ハ現在ノ狀況ヲ確保
スルト云フコトノ爲ニ、宣傳ト云フコトニ
力ヲ注ガナケレバナラヌ、是マデ此方面ニ
付テノ努力ガ十分デナカッタト云フコトハ、
海外ノ事情ヲ觀察ヲ致シマシタ當局者カラ
モ夙ニ聽イテ居ルコトデアリマス、又近年
ノ亞米利加ノ絹業協會等ノ要望等ガ、此方
ニ齎ラサレタ事柄モ承知ヲ致シテ居リマ
ス、殊ニ最近加藤君初メ日本ノ有力ノ方々
ガ、絹業關係ノ海外觀察ニ行カレタ結果ト
シテ、痛切ニ實感ヲサレタ事情モ承ッテ居リ
マス、此事柄ノ必要デアルト云フコトハ、
吾々モ認メテ居リマス、唯當業者ノ間ニモ
是非之ニ著手ヲシヨウト云フ話ガ、既ニ今
日ハ進ンデ參ッテ居ルト云フコトヲ伺ッテ居
リマス、政府トシテモ何等カ之ニ力ヲ添ヘ

ル途ガアルマイカト云フコトヲ、色々吾々
モ苦心考究ヲ致シテ居リマスガ、何分ニモ
今日蠶絲業對策トシテ實行スベキ事柄ハ外
ニモ澤山アリマス、宣傳ノ事ガ重要デナイ
ト申スノデハ決シテアリマセヌケレドモ、
今日ノ場合吾々ガ實行セント欲スル事柄ガ
尙ホ多岐ニ互ッテ居リマスノデ、此宣傳ノ點
ニ於テ政府ガ力ヲ添ヘルト云フコト迄ニハ
參リ兼ネテ居ルヤウナ次第ナノデアリマ
ス、將來ノ事情ヲ見ルトカ、當業者ノ力ニ
依ル宣傳ノ推移等ヲ見マシテ、政府ニ於テ
モ更ニ考慮ヲ重ネテ參リタイトハ考ヘテ居
ルノデアリマス

○加藤委員 只今大臣ノ御答辯ニ依リマス
ト云フト、生絲宣傳ノ必要ヲ認メヌデヤナ
イケレドモ蠶絲對策トシテハ、外ニモ色々
ヤルベキコトガアルカラ、ソレハ暫ク當業
者ノ爲ス推移ヲ見デカラ、或ハ政府ガ援助
スルカモ知レナイガ、ソレヨリモマダ外ニヤ
ラナケレバナラナイ事柄ガアルカラ……斯
ウ云フヤウナ意味ノ御答辯デアリマスガ、
サウスルト、農林大臣ハ生絲ノ宣傳ト云フ
ヤウナコトハ必要ヲ認メテ居ッテモ、左程デ
ヤナイト云フ風ニ御考ヘノヤウニ思ハレマ
スガ、ソレヨリ以上ニ急ヲ要スルモノガア
ルナラバ、ソレヲ私ハ承リタイ

○後藤國務大臣 是ガ必要デナイトカ、是

ガ急ノ點ニ於テ第二位デアルトカ、第三位デアルトカ云フコトヲ必シモ申スノデハアリマセヌ、併ナガラ宣傳ト云フコトニナリマスト、是ハ賣ル當業者ガ先ヅ第一ニ力ヲ致シテ參ルベキ事柄デアラウト思ヒマス、政府ノ力ヲ致ス事柄ニハ、自ラヤハリ先後ガアルト思ヒマス、事柄自體ガ生絲ノ政策ノ上デ、政府又ハ民間ノヤル事柄ノ中デ、第二位デアルトカ、第三位デアルトカ申スノデハアリマセヌ、事柄ノ性質カラ何レガ先ヅ金ヲ出シテヤルベキ事柄デアラウカト云フコトヲ考ヘマスルト云フト、宣傳ノ仕事ハ當業者ガ先ヅ力ヲ入レテ見タラドウカ、政府ハ他ノ政府ノ力ヲドウシテモ注グコト、仕事ノ性質、順序カラ行ッテモ、サウ行カナケレバナラスト云フモノ、方カラ、力ヲ添ヘテ行カウト云フ風ニ考ヘマシタ譯デ、今日ハ御承知ノ通りノ財政其他ノ關係デアリマシテ、總テノ事ニ總テ政府ガ力ヲ入レテ、満足ニ政府ノ金ヲ出シテ行クト云フ譯ニハ參リ兼ネル點ガアリマスカラ、只今ハサウ云フ風ニ取計ッテ居リマス譯デアリマス

リマシテ、漸ク具體化シヨウト致シタノハ昨年ノ春頃カラノコトデアリマス、亞米利加ノ絹業者カラ此生絲宣傳ハ急務中ノ急務デアルカラ、兎ニ角日本トシテハ此際七十五萬弗ノ宣傳費ヲ出シテ貫ヒタイト云フコトヲ申シテ來タ、七十五萬弗ト云フ金ハ日本ノ金ニ換算シマスト三百萬圓以上ノ巨額ニナリマス、ソコデ當業者ハソレハ容易デナイト云フノデ、色々ト協議シタ結果、セメテハ二百萬圓——極ク切詰メテ二百萬圓位ノ宣傳費ハ出サナケレバナルマイ、ヤラナケレバヤラナイデ宜イガ、ヤル以上ハ少シ位ノ金デハ效果ガ上ラナイカラ、十分ト云フ程度ニハ行カナクトモ、相當效果ノアルヤウニスルニハ二百萬圓位ノ宣傳費ハ出サナケレバナルマイ、斯ウ云フコトガ當業者間ノ輿論トナリマシテ、併ナガラ中央會デ色々審議セラレタ結果ガ、現在ノ蠶絲業者トシテハ中々此負擔ニ堪ヘラレナイケレドモ、此際當業者ノ方デモ百萬圓ダケノ金ヲ拵ヘテ宣傳費ニ充テ、残り百萬圓ハ政府ノ援助ヲ得ナケレバナルマイ、サウシナケレバ蠶絲業ノ宣傳費ノ支出ニ差支ヲ生ズル譯デアルカラ、政府當局トシテハ財政困難ノ折柄デアルケレドモ、サリナガラ蠶絲業ノ爲ニハ此位ハ政府トシテモ出シテ然ルベキデ

アラウト云フノデ、當業者カラ農林當局其他ニ對シテ要望致シテ居ッタデアリマス、其百萬圓ノ要望ニ對シテ農林大臣ハ如何ヤウニソレヲ御取扱ニナリマシタカ、私ハ其百萬圓ノ要望ニ對シテ農林大臣ノ執ラレタ御態度竝ニ其顧末御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 是ハ政府部内ノ内輪ノコ

トデアリマスカラ、詳シク申上ゲルノハドウカト思ヒマスガ、斯ウ云フ會デアリマスカラ、打明ケテ申シマセウ、農林省カラハ宣傳費ノ助成トシテ百萬圓出シタイト云フコトヲ豫算ニ要求致シタノデアリマス、併シ之ニ付テハ色々意見ガアリマシテ、種々折衝ヲ重ネマシタガ、御承知ノヤウニ新シイ仕事ハ今年ノ一般豫算ノ際ニハ殆ド各省トモ認メラレナイコトニナッタノデアリマス、是ハ財政上ノ理由カラ來タコトデ洵ニ已ムヲ得ナイコトデアリマス、併シ左様申シテモ、事態ノ急迫シテ居ル事柄ニ付テハ、是非少シデモ豫算ヲ得テ著手セネバナラヌト私共ハ考ヘマシテ、政府ニ於キマシテモ全體カラ考ヘテ、サウ云フ點ニ付テ追加豫算ヲ提出スルヤウナコトニナッテ參ッタノデアリマス、追加豫算ノ中ニ於キマシテハ、蠶絲業對策ト云フモノハ一ノ大キナ項目ニ

ナッテ居ルノデアリマス、併シ今日ノ財政狀況ニ於テハ中々思フヤウニ參リマセヌ、只今ノ宣傳費ノ問題モ彼此レ考究ヲ重ネマシタガ、其結果トシテ今日ノ場合先ヅ他ノ事カラ政府トシテハ力ヲ注イデ行カナケレバナラヌ、宣傳費ノコトニ付テハ政府自身ガ此際援助ヲスルト云フコトニハ、ドウモ參リ兼ネルト云フコトニ相成ッタノデアリマス、吾々トシテハ今後ト雖モ斯ウ云フ方面ニモ餘力ガアレバ力ヲ注グト云フ希望ハ持ッテ居リマスカレドモ、今日ノ場合ハ一ツ當業者ノ努力デ出來ルダケヤッテ戴キタイト云フコトヲ御獎メシタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○加藤委員 只今伺ヒマスト農林大臣ト致

シマシテモ當業者ノ意嚮ノアル所ヲ御考ヘニナッテ、更ニ米國絹業者ノ要望ノ存スル所モ御斟酌ノ上ニ百萬圓ヲ御要求ニナッタト云フコトデアルカラ、私ハ大臣ニ對シ感謝ノ意ヲ表スルノデアリマスガ、併シ其大ニ必要ヲ御認メニナリマシテ御計上ニナッタモノガ、スゲナク大藏當局ノ一蹴スル所トナッタモノト私共ハ察スルノデアリマスガ、一面カラ言ヘバ甚ダ失禮ナ申分デアリマスカレドモ、農林當局トシテハ、當業者ガ折角要望スルノデアルカラ仕方ガナイ、此際

サウ計上セネバナナイト云フ位ノ輕イ考
ヲ宣傳費ヲ計上セラレタ結果ガ、大藏當局
ニ對スル努力ガ足りナイト云フコトニナ
タノデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニモ考ヘ
ラレマス、併シ私ガ一面ニ於テ聞ク所ニ依
リマスレバ、強チサウデハナカラウヤウニ
モ思ハル、茲ニ露骨ニ私共ハ申上ゲテ差
支ナイト思ヒマスガ、大藏大臣ハ此生絲宣
傳ト云フコトニ付テハ非常ナ誤解ヲ持ッテ
居ルモノト私ハ茲ニ斷定ヲシナケレバナラ
ヌコトガアル、ソレハ外デハアリマセヌ、
農村對策委員會ニ於テ農村ノ窮狀ニ對シテ
色々相談ヲ致シタ結果、今日ノ農村ヲ救フ
ニハドウシテモ此蠶絲業ヲ閑却シテハイカ
ナイ、所ガ今ノ政府ノ爲ス所動モスレバ蠶
絲業ヲ閑却スルヤウナヤリ方デアル、斯ウ
云フ結果ト致シマシテ、色々協議ノ結果ガ
兎ニモ角ニモ此生絲ノ宣傳費ト云フコト
ハ、内外ノ事情、殊ニ亞米利加ノ事情カラ考
ヘテ到底之ヲ此儘ニシテ置クコトハ出來ナ
イ、斯ウ云フコトデ之ニ對スル決議ヲ齎シ
テ私ト勝又山本兩氏ト大藏大臣ヲ訪ネマシ
テ、サウシテ大ニ生絲宣傳ノ必要ヲ説イタ
ノデアリマスガ、其際大藏大臣ハ私共ニ向ッ
テ、君方ハ騙サレテ來タノデアアル、斯ウ云
フコトヲ言ハレタノデアアル、仍テ私共ハ大

藏大臣ト何ガ故ニ騙サレタナド、言ハル、
カト云フコトニ付テ色々議論シタノデアリ
マスガ、農林當局ガ大藏當局ニ對シテ御交
渉ノ際、殊ニ大藏大臣ニ對シテ農林大臣ガ
交渉セラレタ際ニハ必ズヤサウ云フヤウナ
問題モ出タコト、思フガ、如何デアリマス
カ、今日我國ニ於テ一番窮迫ヲ告ゲテ居ル
ノハ何ヨリモ彼ヨリモ蠶絲業デアル、其蠶
絲業ヲ救フ途ハ即チ販賣統制ト此生絲宣傳
デアル、就中生絲ノ宣傳ヲヤラナケレバ、
亞米利加ノ絹業者ハモウ嫌氣ガ差ス、サウ
シテ日本ノ生絲ハ買ッテモ買ハヌデモ宜イ、
斯ウ云フヤウナ一般ノ空氣ヲ醸成スルト云
フコトハ明カデアリ、此事ガ非常ニ日本ノ
蠶絲業ニ取ッテハ困ッタ現象ト相成ルノデア
リマスカラ、此事ヲ農林大臣トシテハ定メ
シ大藏大臣ニ御話ガブツコト、思フ、ソレ
ガ大藏大臣ニ徹底セヌト云フコトハ、即チ
私ガ只今中ゲタヤウニ、何カ「ブローカー」
ニデモ日本ノ蠶絲業者ガ騙サレテ居ルカノ
如キ誤解ガ大藏大臣ニアッタ結果ガソコニ
至ッタノデハナイカ、サウデナケレバ今日此
場合ニ於テ、百萬圓位ノ宣傳費ヲ出サレヌ
ナドト云フコトハアルベキ筈ハナイ、陸海
軍費ニ對シテ九億圓以上ノ莫大ナル費用ヲ
支出スル此非常時内閣デアリナガラ、獨リ

國防ノミガ非常時デハナイ、今日此窮迫ヲ
告ゲテ居ル、眞ニ非常時ヲ愬ヘテ居ル蠶絲
業其物ニ對シテ、向フノ絹業者ノ要望ヲ致
シテ居ル、第一ニ切望ヲ致シテ居ル所ノ宣
傳費、僅ニ百萬圓位ノモノヲ政府ガ當業者
ニ對シテ援助出來ナイナド、云フコトハナ
イト考ヘルノデアリマス、ソレガ其様ナ情
ケナイコトニナッテ、本豫算ニ計上サレズ、
又追加豫算ニモ計上サレナイト云フヤウナ
コトハ何タル事デアリマセウカ、私ハ農林
當局ガ此點ニ付テ十分御努力下サレタモノ
トハ信ズルガ、併シ大藏大臣ニ左様ナ誤解
ガブツタスレバ、何故ニ其誤解ヲ御解キナ
サラヌノカ、勿論中々是ハ容易ナラヌ事デ
ハアラウガ、此點ニ付テ農林大臣ノ努力ガ
足りナカッタコト、思フガ、大臣ハ之ヲ如何
様ニ考ヘテ御出デアルカ、御伺ヲ致シタ
イノデアリマス

○後藤國務大臣 御尋デアリマスルガ、色
色大藏大臣初メ大藏當局トモ此問題其他蠶
絲業ノ關係ノ問題ニ付テハ折衝ハ致シマシ
タガ、其經緯ヲ事細カニ此處デ申上ゲル譯
ニモ參リ兼ねマスシ、大藏大臣ニ誤解ガア
リマスモ私ハ考ヘマセヌ、又此蠶絲業ノ
對策問題ハ今後ニ屬スル問題モ澤山アリマ
スカラ、吾々モ出來ルダケノ努力ヲ之ニ拂
ヒタイト思ッテ居リマス、殊ニ緩急ヲ考ヘ、
又其性質ニ鑑ミテ、財務當局トモ將來ニ於
テモ色々折衝ヲ重ネテ善處ヲ致シテ見タイ
ト考ヘテ居ル譯デアリマス、右様御諒承ヲ
願ヒタイト思ヒマス

○加藤委員 此上大藏大臣トノ折衝ガドウ
アツカト追窮スルコトハ、他日ノ機會ニ讓
ルコトニシマスガ、私ハ斯様ニ考ヘル、此
大藏大臣ノ誤解サヘ農林大臣ガ御解キニナ
レバ、必ズヤ百萬圓位ノ宣傳費ハ出タニ違
ヒナイト思ヒマス、併ナガラ今日茲ニ至ッ
テハ唯斯様ナコトニナッタト云フコトヲ返
スノモ洵ニ遺憾千萬デアルト申上ゲテ置
キマス、農林大臣ハ當業者ノ方ノ力ニ任シ
テ置ク云々ト云フコトデアリマスケレド
モ、若シヤ其當業者ノ力ガソコニ至ラズシ
テ、其宣傳ト云フ費用ヲ出スコトガ出來ナ
イト云フコトニナッタラ、其結果ハドウナル
デアラウカト云フコトヲ一ツ考ヘテ戴カナ
ケレバナラヌ、先刻モ一寸申上ゲタヤウニ
歐羅巴ニ於テスラモ、僅ニ養蠶業ノ出來得
ル獨逸ノヤウナ處、或ハ西班牙ノヤウナ處
デアツテサヘモ、此宣傳費ヲ出シテ大ニ生
絲ノ宣傳ヲヤラウト云フヤウナコトニナッ
テ居ル、即チ巴里ニハ國際絹業協會ト云フ
モノガアリマシテ、其國際絹業協會ガ色々

ノ關係上、ドウシテモ是ハ宣傳ヲセナケレバナラス、斯ウ云フ所カラシテ、段々申合セテ結果、英吉利ノヤウナ處、或ハ瑞西ノヤウナ處、若クハ和蘭ノヤウナ處、マルデ養蠶ノ出來ナイ處、唯僅ニ絹業ヲヤッテ居ルト云フニ過ギナイ國デスラモ、生絲ノ宣傳費ヲ出スト云フ仲間ニ入ッテ、サウシテ大ニ生絲ノ宣傳ヲヤラウト云フコトニナッテ居ル、サウ云フヤウナコトデアリマシテ、今日デハモウ一日ノ急ヲ爭フ場合ニ於テ、日本ガ何故世界ノ生絲ノ一大生産國デアリナガラ、宣傳ヲセヌノデアルカト云フコトニ付テハ、非常ニ向フノ人達ガ疑ヲ以テ見テ居ルヤウナ次第アル、若シ之ヲ宜イ加減ノコトニシテ、其宣傳費モ出ナイト云フコトニナリマスレバ、一般ニ歐米ノ絹業者カラ、日本ガ宣傳ヲシテモ宜イ、セヌデモ宜イト云フコトナラ、吾々モ其考デ生絲ヲ使ッテモ宜シ、使ハデモ宜シト云フ考ヲ有タセルコトニナルノハ決ッテ話デアリマスカラ、是ハ刻下ノ我國ノ蠶絲業ノ現況カラ考ヘマシテモ、私ハ洵ニ由々シキ大問題デアルト思フノデアリマス、デアリマスカラ此度ノ追加豫算ニ計上セラレズトモ、更ニ此議會開會中ニ大藏當局ニ對シ大ニ其急務ヲ説キ、殊ニ大藏大臣ニハ先程申上ゲタヤ

ウナ誤解モアルコト故、ソレヲ一ツ農林大臣ガ十分ニ説破シテ、サウシテ改メテ茲ニ當業者ノ要望致シテ居ル百萬圓ノ宣傳費ヲ御出シ爲サル考ハナイカト云フコトヲ、私ハ茲ニ改メテ一ツ御伺致シタイノデアリマス

○後藤國務大臣 更ニ改メテ宣傳費ヲ出スコトノ考ガ有ルカ無イカト云フ御尋デアリマス、只今申上ゲマシタヤウニ、此問題ニ付テハ政府ノ關係當局ノ間ニ十分交渉協議ヲ遂ゲマシタ結果ガ、當面ノ方策トシテハ豫算ニ計上スルニ至ラナカッタノデアリマス、更ニ之ヲ此會期中ニモウ一度考直シテ出スト云フヤウナコトニナルデアラウト云フヤウナコトハ、私カラ今ハ全ク申上ゲ兼ねマス、先程來御答シタヤウナ趣旨デ御諒承ヲ願フ外ハナイト思ヒマス

○加藤委員 ドウモ農林大臣ノ只今ノ御答辯ヲ戴キマシテ、私共ハ帝國蠶絲業ノ爲ニ唯涙ヲ注グヨリ外ニアリマセヌ、其様ナコトデハ到底日本ノ蠶絲業ハ救ハレヌモノト私ハ考ヘマス、ドウゾ此點ニ付テハ今一應農林大臣ニ於テ篤ト御考慮ヲシテ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ私ハ希望申上ゲテ、此點ハ一時是デ中止ヲ致シマス
其次ニ御尋致シタイコトハ、即チ絲條斑

ノ改良ト云フコトニナルノデアリマス、是ハ御承知ノヤウニ、我ガ内地ニ於テハ何カト云ヘバ改良々々ト申シマシテ、總テヲ改良、改善ト云フコトニ重キヲ置イテ來タノデアリマス、今日日本ノ蠶絲業ノ發達致シタト云フコトモ、要スルニ其改良、改善ト云フコトニ重キヲ置イテ來タ結果デアルト言ッテモ宜シイカモ知レマセヌガ、併ナガラ遺憾ナコトニハ、今日マデ吾々蠶絲業者ガ努力致シテ來タ其改善改良ト云フコトガ、未ダ以テ米國初メ歐羅巴ノ消費者、即チ絹業者ニ對シテ満足ヲ與ヘルコトガ出來ナイ、否ナ満足ヲ與ヘルコトガ出來ナイト云フ程度ナラ尙ホ忍ブベシダガ、向フノ人達ハ非常ナ苦情ヲ懸ヘテ居ル次第アル、何故ニ吾々ガ多年之ヲ唱道シテ居ルニモ拘ラズ、其改善改良ト云フコトヲ吾々ノ要望スルヤウニ致シテ呉レナイノカ、斯ウ云フ苦情ヲ到ル處デ聞イテ居ルノデアリマス、要スルニ是ハ向フノ人ノ言フコトヲ十分ニ我が政府當局初メ我が蠶絲業者ガ聞イテヤラナイ結果ガ、其處ヘ至ッタモノデアルト斷定シテ決シテ差支ハナイト私ハハッキリ申上ゲルノデアリマス、サウ云フヤウナコトデハ巨額ノ國帑ヲ投ジテ如何ニ改善改良ニ努力シマシテモ、到底其效果ハ舉ラヌノ

デアリマスカラ、此點ハ十分向フノ人達ガ、如何ナル點ニ於テ苦情ヲ申シテ居ルカト云フコトヲ御聽キニナラネバナラスト思フノデアリマスルガ、此點ニ付テ政府當局ハ向フノ當業者ガ、ドウ云フ點ニ一體苦情ヲ申シテ居ルカ、ドウ云フ點ニ改善改良ヲ要望シテ居ルカト云フコトヲ定メシ御聽ニナッタデアラウト思フ、申上ゲルマデモナク、以前ハ蠶絲同業組合中央會カラ紐育ニ派遣員ガ行ッテ居リマシテ、時々刻々ニソレ等ノコトハ報道サレテ居ッタ筈デアリマス、殊ニ又近年ハ農林省ノ出張所ガ特ニ紐育ニ置カレテ、而モ其出張所ハ生絲専門ノ出張所デアリマスカラ、サウ云フ點ニ付テ十分農林當局ニ對シテ報告ガアリ、希望モブッタデアラウト思フノデアリマスガ、今日マデドウ云フ風ニソレガナッテ居ルカ、其顛末ヲ茲ニ御伺ヲ致シタイト思フノデアリマス

○後藤國務大臣 只今ノ御尋ハ私概略御答シマシテ、尙ホ政府委員カラ御答申上ゲタ方ガ適當カト思ヒマス、此絲條斑ノ問題ハ、御話ノ如ク長イ間ノ問題デアリマス、我國ノ蠶絲ノ改良ニ付キマシテ、或ハ養蠶、殊ニ蠶種ノ點、或ハ製絲ノ點ニ於キマシテ、ヤハリ此絲條斑ニ對スル苦情ヲ段々少クスルヤ

ウナ方向ニ努力ヲシテ參タト云フコトハ御承知ノ通りデアルト思ヒマス、併ナガラ尙ホ今日モサウ云フ點ニ付テノ苦情ガ絶エナイ、横濱神戸ノ検査所等ニ於テ、更ニ嚴重ナ検査ヲシ、其検査ノ結果ガ養蠶家カラ製絲ノ方面ニモ改良ノ影響ヲ與ヘルヤウニ努力シテ參リ又、與ヘツ、アルト思ヒマスケレドモ、尙ホ今日此點ノ苦情ガ外國ニブリマスノハ、一ツハマダ改良ノ至ラヌ點モアリ、又一ツニハ色々ト特ニ斯ウ云フ點ニ苦情ヲ付ケルト云フ傾モアルノデハナイカトモ思フノデアリマス、御尋ノ今日ドウ云フ點ニ付テ注意シテ居ルカ、在來ドウ云フ點ニ苦情ガアッタト考ヘテ居ルカト云フヤウナコトニ付テハ、政府委員カラ御説明申上ゲルコトニ致シマス

○井野政府委員 絲條斑ノ問題ニ付キマシテハ、御承知ノ如ク、政府ニ於キマシテモ、生絲ノ亞米利加ニ於ケル聲價ノ向上ト云フ點カラ極テ重大ナル問題ト考ヘマシテ、生絲検査所ニ於キマシテ、絶エズ是等ノ問題ニ付テハ調査ヲ續ケテ居リマスト共ニ、最近ノ事情カラ見マスルト、餘程日本ノ生絲ノ品位ガ從來ヨリハ向上サレマシテ、「セリブレ」ノ問題ニ付キマシテハ、横濱生絲検査所ノ検査成績カラ見マスレバ、殆下良品

ガ其大部分ヲ占ムルヤウナ状態ニアルノデアリマスガ、併シ此横濱ニ於ケル検査ガ、亞米利加ニ參リマシテ、マダ日本ノ國內格付ト云フコトガ海外ニ直接ニ普及サレテ居リマセヌノデ、隨テ向フニ於キマシテハ、御承知ノ如ク、買手ガ總テ日本ノ生絲ヲ再ビ検査スルト云フ事情デアリマスノデ、買手ノ色々ナ嗜好ナリ又苦情ガ其處ニ入りマシテ、絲條斑ニ付テ日本ニ於テ適當ト認メ

タモノニ對テモ、向フガ色々ノ苦情ヲ付クル爲メノ非難モ其處ニアルヤウナ實情デゴザイマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、先程御話ノヤウニ、紐育ニコチカラノ事務所ヲ設ケテ、又最近ハコチカラ横濱生絲検査所ノ技師モ其爲ニ出張サセマシテ、種々實情ヲ調査セシメテ居リマスガ、大體ニ於テ最近亞米利加ニ起リツ、アル検査方法ノ改善、或ハソレヲ「ナンインメーター」検査法ト云フデ居リマスガ、ソレ等ノモノモヤッタラドウカト云フヤウナ議論モアリマス、ソレ等ノ點ニ付テハ、今日ノ横濱神戸ノ検査所ニ於ケル検査方法ノ方ガ、吾々トシマシテハ無論適當ト考ヘテ居リマスガ、併シ又新シイ検査方法等モ十分ニ研究ヲシテ今後ノ絲條斑問題ニ付テハ、出來ルダケ亞米利加ノ需要者ノ希望ニ適應スベク無論研究ヲ

進メテ行クノデアリマスガ、目下ニ於テハ、其爲ニ日本ノ生絲ノ品位ガ下ッテ行クト云フ風ニハ少シモ當局トシテハ考ヘテ居ナイ譯デアリマス

○加藤委員 我ハ亞米利加ニ於ケル日本生絲ノ品位ガ向上シテ居ルカ、或ハ低下致シテ居ルカト云フヤウナコトヲ御尋シタノデハアリマセヌガ、向フノ當業者ガ日本ノ絲條斑ニ對シテ色々苦情ヲ言ッテ居ル、其苦情ヲ言ッテ居ル事柄ハ、必ズヤ農林省ノ出張所カラ此點々々ガイケナイト云フコトヲ指摘シテ詳細ナル報告ガ來テ居ルニ違ヒナイ、ドウ云フ報告ガ來テ居ルカト云フコトヲ私ハ御尋シタ、絲條斑ニ付テノ苦情ガ如何ナル苦情デアルカ、又ドウ云フ點ヲ指摘シテ來テ居ルカト云フコトヲ私ハ御尋シタノデアリマス

○井野政府委員 紐育ノ事務所カラモ無論時々絲條斑ノミナラズ、其他ノ問題ニ付キマシテモ報告ガゴザイマスガ、絲條斑ニ付テモ色々ノ報告ガ來テ居リマス、又最近コチカラ其爲ニ出張致シマシタ松本技師モ其點ニ付テハ種々ノ點ヲ研究シテ歸ッテ來テ居リマス、ソレ等ノ報告モ出テ居リマス、ソレ等ニ付キマシテハ、當局モ向フノ苦情ノアル所ヲ十分考慮シテ、横濱生絲檢

査所、或ハ神戸生絲検査所ヲシマシテ、十分ニ調査サシテ改善スベキ點ハ改善シテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○加藤委員 我ノ御尋スル點ニ付テ蠶絲局長ハ一寸御答ガ爲シ得ナイヤウニ思ヒマスガ、蠶業課長ガオイデルカラ蠶業課長カラ、ドウ云フ點ヲ指摘シテ來テ居ルカト云フコトヲ具體的ニ一ツ御尋申上ゲタイ

○井野政府委員 絲條斑ノ方ノ問題ハ蠶業課長ノ關係デハゴザイマセヌノデ、ソレハ例ヘバ一例ヲ申上ゲテ見マス、或ハ染斑ガ非常ニ多イト云フヤウナ苦情ガ來テ居リマスノデ、サウ云フ點モコチラデ研究シテ居リマス、即チ同ジ「デニール」ノモノデアリマシテモ、染メテ見ルトドウモ下ト上ト斑ガ出ル、斯ウ云フ苦情、是等ノ點ハ今日ノ検査方法デ十分ニ明ニナナイ點デヤナカラウカト云フヤウナ苦情デゴザイマス

○加藤委員 亞米利加ノ當業者ノ苦情ヲ蠶業課長ガ御承知ナイト云フヤウナコトハドウモ甚ダマズイコトデ、是ハ繭絲課ノ問題デアルカラ私ハ知ラヌト云フヤウナコトデハ洵ニ心細イ話デアル、養蠶業ノ經營ト云ヒ、或ハ製絲業ノ經營ト云ヒ、是ハ別々デアルト言ヘバ言フヤウナモノ、皆一ツナン

デス、養蠶業専門ニヤッテ居ル人デモ製絲業ノコトヲ十分ヤッバリ心得テ施設シテ貰ハナケレバナラヌシ、又繭絲課ノ方デモ養蠶ノ方ハ一通り心得テヤッテ貰ハナケレバナラヌ、殊ニ海外ニ於ケル苦情ノ如キハ是ハ課ガ違フカラト云ッテ知ラヌデハ私ハ濟マヌト思フ、要スルニソレハ研究シテ共々ニドウ云フ風ナ施設ヲスレバ宜イカト云フコトニ行カナケレバナラヌト思フノデス、私ハ序ニ茲ニ申上ゲテ置キマスガ、ドウモ其様ナコトデハイケマセヌカラ、ドウカ假令蠶業課デアリマシテモ、能ク繭絲課ノコトモ御承知ノ上ニ施設ヲシテ貰ヒタイ、殊ニ海外ニ於ケル情勢位ハ能ク御承知ノ上デヤッテ貰ハナケレバナラヌト云フコトヲ、私ハ特ニ此場合希望致シテ置キマス、ソコデ只今局長カラノ御答辯デ日本ノ検査成績ヲ基トシテ、サウシテアルナラバ別ニ苦情ハナイ筈ダ、斯ウ云フコトヲ言ハレマシタケレドモソレハ非常ナル誤リデアル、日本ノ生絲検査其モノヲ假令向フノ人ガ標準ニ致シテ居ラウトモ、生絲其物ガ實際ニ於テ向フノ人ノ要望スル如ク改良セラレテ居ラナケレバ検査ハ検査デアリマシテモ、決シテ向フノ人ハソレデ満足スルモノデハアリマセヌ、殊ニ羽二重ノ如キハ何ヨリノ適切ナ

ル例デアリマシテ、福井ノ羽二重ノ如キ検査ヲ嚴重ニシタ其結果ガ佛蘭西ニ於テドウ云フ結果ヲ現シテ居ルカ、佛蘭西ノ是ハ領事ノ話デアリマスカラ間違ノナイコトデアリマス、ドウ云フ結果ヲ現ハシタカト云フト日本ノ羽二重ハ羽二重検査所デ検査スルヤウニナッテ却テ品質ガ退化スルヤウニナリ、其爲ニ日本ノ羽二重ガ賣レナイヤウニナッタノデアアル、他ノ原因モアリマスガ、是ガ最も有力ナル原因デアルト斯ウ申シテ居ルノデアリマス、何故検査ヲスルヤウニナッテ却テ退歩スルヤウニナッタカ、斯ウ云フコトハ洵ニ不思議千萬ノ話デアリマシテ、又検査當局トシテハ聽捨テナラナイ批評ノヤウニ思ヒマスガ、事實ハ何故ニ斯様ニナッタカト云フト、當業者ハ唯検査ニサヘ合格スレバ宜シイト考ヘテ、向フノ人ガドウ云フ點ヲ要望シテ居リ、ドウ云フ點ニ苦情ガアルカト云フコトヲ一向考ヘナイ、唯検査サヘ通レバ宜シイト云フ考デ品物ヲ拵ヘルカラ、遂ニ日本ノ羽二重ガ佛蘭西ニ於テ全然賣レナクナッタノデアアルト、斯様ニ申シテ居ルノデアリマス、私ハ是ハ恐ラク事實デアラウト思フ、日本ノ生絲検査所デ検査ヲ致シ、其検査ヲ標準ニシテ居レバ苦情ガナイ筈ダト仰シヤルケレドモ、ソレハ大

變ナ間違デアアル、検査ハ検査デアリマシテモ其検査ナルモノガ向フノ絹業者ノ要望スルヤウニ検査ガ徹底シテ居ルナラバソレハ苦情ハナイ筈デアリマスケレドモ、向フノ當業者ガ要望シテ居ルダケノ検査ガ出來ナイト云フコトデアアルナラバ、其裏面ニハ苦情ガ出テ來ルト云フコトハ當然ノ話デアアル、故ニ私共此生絲検査ノコトニ付キマシテハ十分御考ヲ願ハナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、私ノ御尋スル點ハサウ云フコトデハナクシテ、向フノ當業者ガドウ云フ點ニ付テ苦情ヲ言ッテ居ルカ、ソレヲ検査ハ検査、苦情ハ苦情、サウシテ向フノ方カラハ検査ニ付テハドウ云フ苦情ガアルトカ、或ハドウ云フ希望ガアルトカ、或ハ品物其物ニ付テハドウ云フ苦情ガアルカト云フヤウナ報告ガ必ズヤ來テ居ルニ違ヒナイ、又ソレハ報告シナケレバナラヌコトデアアル、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、ソレヲ御尋致シタイノデアリマス

○井野政府委員 先程カラ其點ヲ御答致シテ居ルノデアリマスガ、無論向フカラ色々ノ報告ハ來テ居リマシテ、其結果ニ付テ私共ノ意見ヲ申上ゲタノデアリマスガ、要スルニ向フノ苦情ト申シマスモノハ生絲ノ検査ニ對シマシテ、御承知ノ如ク検査ハ肉眼ト機械検査ノ兩方ニ於テ各部分ニ互ッテ「スベシフケート」ヲ調べルト云フコトニ依リマシテ、検査ノ成績ガ現レルノデアリマスガ、海外ノ苦情ト申シマスノハ、コチラカラ例ヘバ絲條斑ノ點ニ付テ何點ト云フ點ヲ付ケタ、或ハ節ノ點ニ付テ何點ト云フヤウニ——ソレ等ガ自分等ノ見テ居ルモノト違フ物ガ來ルト云フノデ、ソコニ苦情ガ起ル譯デアリマス、隨テ横濱ノ検査所ノ成績、是等ハ機械検査ニ依リマシテ今日デハ完全ナ成績ガ現レテ居ル、而モ此成績ノ基準タルヤ日米ノ當業者ガ集ッテ決メタ結果ガソコニ現レルノデアリマスカラ、是等ノ點ニ付テハ向フノ買方ト雖モ恐ラク苦情ハナイノデアリマスガ、唯検査成績其儘ヲ用ヒマセヌデ、或ハ別ノ成績ヲ持ッテ向フヘ行キマス爲ニ、向フガ之ヲ機ニ掛ケル時ニハ、或ハ節ナリ其他ノ點ニ於テコチラガ示シタ成績ヲ現サヌト云フ所ニ苦情ノ點ガアルノデアリマスカラ、是等ノ點ハコチラノ成績ガ其儘向フニ用ヒラレ、又向フノ者モ信ジテ之ヲ利用シマスレバ、ソコニ苦情ハ起ラナクナルノデアリマス、併シサウ云フ實情ニ今日ハゴザイマセヌカラ、ソコニ色々ノ苦情ノアルト云フコトヲ申上ゲタ次第デゴザイマス

○加藤委員 更ニ御尋致シマスガ、只今局

長ノ御答辯ニ依リマス、コチラノ検査ガ
向フヘ通レバ其苦情ハナイノデアルト云フ
御話デアル、然ラバ我國ノ生絲検査所ノ格
付ヲ向フヘ通スト云フコトガ洵ニ必要デア
ル、其點ニ付テ政府當局ハドウ云フ風ナ是
マデヤリ方ヲシテ居ラレタカ、詰リ之ヲ通
スベクドノヤウニ御努力ニナツタカ、其點ヲ
一ツ御伺シテ見タイ

○井野政府委員 國內格付ノ海外普及ト云
フコトハ年來ノ希望デアリマシテ、御承知
ノ如ク日米協議會ヲ開キマス時ニ於テモ、
ソレヲ終局ノ目的トシテ協議會ガ出來タノ
デアリマスガ、併シ差詰メ國內ニ於テ生絲
検査ノ格付ガ出來ルト云フコトハ、製絲家
ノ爲ニモ非常ニ有利デアルト云フ見地カ
ラ、先ヅ國內ニ之ヲ強制致シマシテ、徐ニ
海外ニ及ボシテ行クト云フヤウニ、政府當
局トシテハ努メテ參リ、現ニ亞米利加ニ此
事務所ヲ設ケマシタ一ツノ理由モ、出來ル
ダケ此日本ノ格付制度ト云フモノ、徹底ヲ
向フニ圖ラシタイト云フ意味ニ於テ設ケタ
ヤウナ次第デアリマシテ、是等ノコトハ商
慣習ノ變更ニナルノデアリマスカラ、一朝
一夕ニ之ヲ及ボスト云フコトハ中々困難カ
ト思ヒマスガ、併シ當局トシテハ出來ルダ

ケ機會ヲ見テ此問題ニ付テハ努力ヲシツ、
アル次第デアリマス

○加藤委員 生絲格付ヲ向フヘ通スト云フ
コトニ付キマシテハ、向フノ邦人ノ輸入商
ハ悉クト言ッテ宜イ位ニ多數ノ者ガ反對致
シテ居リマス、其反對致シテ居ル事柄ハ御
承知デアルカドウカ

○井野政府委員 ソレハ承知シテ居リマ
ス

○加藤委員 其反對ヲ押切ッテ何處マデモ
此格付ヲ通スト云フ御考デアルカドウカ、
唯農林省ノ出張所ヲ向フヘ置イタマケデハ
一向仕方ガナイ、殊ニ出張員ノ働ニ付テハ
遺憾ノ點ガアルガ、唯出張所ヲ置イタマケ
デハ、其格付ヲ通スコトハ出來ナイと思フ、
又出張所ノ人達ノ働キ、之ヲ望ムト云フコ
トハ、無理デアルト私ハ思フ、要スルニ我
ガ政府當局ガ何等カノ方法ヲ以テ、詰リ向
フノ當業者ト折衝ヲシテ、大英斷ノ下ニ之
ヲ通スダケノ御努力ガナケレバ到底其目的
ヲ達スルコトハ出來ナイ、只今局長ノ御話
ヲ伺ヒマス、唯出張所ヲ置ケバ、ソレガ
自然ニ格付ヲ通スヤウナコトニナルカノヤ
ウニ、大變ニ輕ク御考ヘノヤウデアアルガ、
到底事實ハサウ云フモノデヤナイ、此點ニ
付テドウ御考ヘニナルカ、伺ッテ見タイノデ

アリマス

○井野政府委員 出張所ノミヲ以テ之ヲ實
行シ得ルト云フ風ニ私共考ヘテ居リマセ
ス、出張所モ其一ツノ手段トシテ之ヲ利用
シタイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマシ
テ、御話ノ如ク向フニ居リマスル輸出業者、
其他「リーダー」等ニ於キマシテモ、此問題
ニ付テハ相當ナ反對ノアルコトモ承知シテ
居ルノデアリマスカラ、亞米利加ニ於ケル
商慣習ヲ之ニ依ッテ俄ニ變更スルト云フコ
トノ困難ナコトハ私共モ承知シテ居リマス、
併シソレニ向ッテハ出來ルダケ此方ノ格付
ヲ向フニ普及シタイト云フ希望ノ下ニ、始
終其對策ニ付テハ考慮シテ居ルノデアリマ
シテ、加藤委員モ其邊ニ付テ色々御調べニ
ナッテ來テ居ルノデアリマスカラ、又宜イ智
慧ガアリマシタナラバ、是非拜借シタイト
思ヒマス

○加藤委員 向フニ反對者ガ出來ルト云フ
コトハ、自己ノ爲ニ、反對センガ爲ニ反對
スルノデアアルカ、或ハ日本ノ生絲検査ノ格
付其モノガ事實ニ副ハナイ爲ノ反對デア
カト云フコトニ付テ、多分出張所ノ方カラソ
レニ關スル所ノ報告ガアラウト思フカラ、
其點ニ付テハ、ドウナッテ居リマスカ伺ヒタ
イ

○井野政府委員 此格付問題ヲ決メマス際
ニハ、亞米利加ノ當業者ト日本ノ當業者ト

ガ集リマシテ、而モソレニハ輸出業者モ加ッ
テ、此問題ガ決マリ、又之ヲ強制検査ニ移シ
マス際モ、寧ろ輸出業者ノ方カラ之ヲ希望シ
テ來タヤウナ次第デアリマスカラ、横濱ノ
検査所ノ検査自體ニ付テハ、輸出業者ト雖
モ、之ニ對シテ今日ニ於テモ危惧ノ念ヲ挾
ンデ居ラヌト私共ハ信ジテ居ルノデアリマ
ス、唯向フニ參リマシテカラノ生絲ノ取扱ノ
上ニ於テ、先程來申上ゲマシタヤウナ種々
ノ苦情ガ起リ得ル爲ニ、今日或ハ此生絲檢
査所ノ検査ニ付テ色々コトヲ申シテ居ル
者モアルノデアリマス、眞實ハ矢張り機械
検査ニ依ル生絲ノ品位検査ト云フモノガ今
日以上ニサウ容易ク出來ル他ニ適當ナ途ガ
アラウトハ考ヘテ居ラナイ次第デアリマス
○加藤委員 先刻政府委員ノ御話ニモアリ
マシタガ、我國ニ於テ検査ヲ致シタモノ
ハ、再ビ亞米利加ニ行キマシテ向フノ検査
所デ検査ヲスル、或ハ當業者ガ検査ヲスル
ト云フヤウナ實情デアリマス爲ニ、我國ノ
折角ノ検査所ノ格付ガ向フニ通ラナイデ、
事實上洵ニ遺憾ノ點ガ多イト云フコトハ言
フ迄モナイ話デアリマスガ、之ニ對シマシ
テハ、私共ノ聞イタ範圍デハ、日本ノ生絲

検査所ノ格付其モノガ善イトカ惡イトカ言フヨリモ、寧ロ邦人ノ輸入商ガ之ニ對シテ自分ノ營業上ノ關係カラ反對センガ爲メノ反對ヲスルヤウナ態度ヲ執ッテ居ルト思フノデアリマス、定メシ此事ハ政府當局ニ於テモ能ク御承知ノ事柄デアラウト思フ、若シサウデアルトスルナラバ、是ハ今日ノヤウナコトニ委シテ置キマシテハ、モウ永遠ニ我ガ生絲検査ノ格付ヲ向フニ通スコトガ出來ナイ、内地ダケデモ多少ノ效果ハアリマスケレドモ、併ナガラ向フニ此格付ヲ通サヌ以上ハ、全ク徒ニ手數ヲ掛ケルニ過ギナイヤウニ思フノデアリマスカラ、此點ニ付テハ政府ガ積極的ニ出マシテ、茲ニ英斷ヲ以テ我國ノ此關係者ト向フノ關係者トガ相互ニ合議ヲ致シマシテ、サウシテ其格付ヲ通スダケノ方法ヲ講ゼナケレバナラヌト思フガ、此點ニ付テハドウ云フ風ニ御考ヘニナッテ居ルカ御同致シタイ

○井野政府委員 其點ニ付キマシテハ、加藤委員ト全ク同感ニ考ヘテ居リマス

○加藤委員 検査ノコトニ付キマシテハ此程度ニ致シテ置キマス

更ニ私ガ申上ゲタイノハ今日絲價ノ安定ト云ヒ、生絲ノ關係ト云ヒ、絲條斑ノ改良ト云ヒ、當局ノ人ト御話ヲシテ見マス、

實際ニ於テ向フダレ程之ヲ考ヘテ居ルカト云フコトヲ能ク御承知ガナイヤウニ思ハレル、政府當局ノ人スラモサウ云フ風デアルカラ、況ヤ當業者トシテ向フノ事情ノ分ラヌ者ハ、一層サウ云フコトヲ重ク考ヘテ居ラヌト云フコトモ亦當然デアラウト思フ、サレバ我國トシテ今日日本當ノ蠶絲對策ヲ講ゼントナラバ、ドウシテモ向フノ事情ヲ明ニシナケレバナラヌ、是ハ政府當局バカリデハナイ、無論當業者モ大ニソレヲ必要トスルノデアリマスガ、今日我ガ蠶絲業ガ斯ウ云フ風ナ狀態ニナッタト云フコトハ、要スルニ向フノ事情ガ分ラヌ結果ガ斯ウ云フコトニ相成ッタノデアルト斷定シテモ宜シイト思フノデアリマス、カルガ故ニ私ハ今日先ヅ我ガ政府當局ハ勿論ノコト、民間ノ當業者ガ成ベク向フニ多ク行ッテ、向フノ事情ヲ能ク承知ヲスルト云フコトガ必要デアルト思フノデアリマス、カルガ故ニ私ハ特ニ一ツ絹業視察團ト云フヤウナモノヲ、政府ガ心配ヲ致シテ向フニヤルヤウニ致サナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、其點ニ付テ政府當局ノ御所見ヲ御同シタイ

○後藤國務大臣 海外ニ於ケル我ガ生絲ノ色々ノ消費ノ狀況等ヲ具サニ官民共ニ此關係ノ者ガ知ッテ居ルコトハ必要デア、ソレ

ガ爲ニ實地ノ視察ヲスルヤウナ機會ヲ民間ノ人ニモ、亦關係ノ役所ノ人ニモ多クシナケレバナラヌト云フ御説ニハ私至極御同感デアリマス、デ今日マデソレ等ノ點ニ付テ必シモ満足ナ十分ナ狀態デアッタト言ヘナイト思ヒマス、今後ニ於キマシテモソレ等ノ點ニ付テハ政府當局トシテモ十分ニ考慮ヲ費シテ見タイト考ヘマス

○加藤委員 原蠶種國家管理法案ヲ今回御提出ヲ爲サリマシタ其理由ノ一ツハ、即チ絲條斑ノ改良ニ資シタイト云フコトガ其提出ノ目的デナケレバナラヌト思フノデアリマス、其意味カラ致シマシテ、今回ノ此法案ノ御提出ハ洵ニ機宜ヲ得タモノト思ヒマスガ、併ナガラ此原蠶種管理計畫並豫算概要ト云フモノヲ拜見致シマス云フト、此經費ガ「本件ニ要スル經費トシテ昭和九年度豫算ニ要求シタルモノ」トシテ金四十九萬六千四百圓昭和九年度豫算要求總額、內譯ガ三萬八千六百三十九圓俸給及事業費、四十五萬七千四百一圓營繕費、斯ウナッテ居リマス、是ダケノ僅ナル費用デ此大事業ノ計畫ヲ遂行スルコトガ出來ルカドウカト云フコトニ付テ私共ハ大ナル疑問ヲ持ッテ居ルノデアリマス、私共ガ昨年此問題ガ起

リマシテ以來色々調査致シマシタ結果ニ依

リマス云フト、ドウシテモ是ハ是ッボッチノ費用デハ到底是ダケノ大事業ノ計畫ヲ遂行スルコトハ出來ナイト思フ、少クトモ私共ノ計算ニ依ルト初年度ニ於テハ設備費ヲ五百萬圓カラ要スルコトニナル、即チ原原蠶種製造ニ關スル經費ガ四百二十萬圓、其內譯ヲ言ヘバ、本所一箇所、支所十箇所、蠶室四十棟、蠶種保護室、事務所、其他器具、建物、桑園二十町歩、ソレカラ品種改良ニ要スル經費ガ八十萬圓、蠶室、冷藏室、其他器具、建物、桑園費ト云フヤウナ風ニナル、ソレカラ事業費ガ四十萬圓、是ダケノ費用ヲ投ジテモ尙且ツ完備スルコトハドウカト云フ疑問ヲ持ッテ居ルノニ對シテ、僅ニ初年度ニ計上セラレタ費用ガ四十九萬六千圓ト云フヤウナモノデア、是デ果シテ此計畫ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルカドウカ、此點ヲ一ツ詳細ニ御同致シタイ

○後藤國務大臣 私ヨリ簡單ニ申上ゲマシテ、尙ホ政府委員カラ詳シク申上ゲルコトニ致シマス、原蠶種ノ國家管理ノ實行ヲ致シマス上ニ、現在要求致シテ居リマス豫算ガ非常ニ理想的ナ經費デアルトハ私モ考ヘマセヌ、併ナガラ是ハ多年ノ懸案デアリマス、當局ニ於テハ隨分理想的ナ大キナ經費ノ豫算等モ組ンデ見タコトモアリマスガ、

是ハ府縣ノ財政ニモ關係ヲ致シマスルシ、又國ノ財政ニモ大キナ關係ガアリマスシ、事柄ハ出來得ル限り速ニ著手ヲシテ進行ヲ始メタイノデアリマス、出來得ル限り此財政狀況ヲモ調節致シマス爲ニ、經費ノ掛ラナイヤウニシテ、而モ計畫遂行ニ支障ノナイ方法ヲ求メタノデアリマス、只今出シテ居リマスル豫算デ只今ノ計畫ヲ遂行致シマスル上ニハ略々支障ノナイト云フ見込デ居ルノデアリマス、御話ノ如ク色々完備シタ設備ヲシ、豫算ヲ十分ニ取りマスレバ、此上モナク結構デハアリマスルガ、只今ノ豫算ヲ以テモ只今ノ計畫ヲ遂行スルニハ大體支障ノナイ見込デ居リマス、尙ホ詳シクハ政府委員カラ御説明致シマス

○井野政府委員 加藤委員ノ御述ベニナリマシタ初年度五百萬圓ノ設備費ヲ以テ原蠶種國家管理ヲヤルト云フコトハ、是ハ出來マスレバ私共モ非常ニ結構ナ案ダト思ッテ居リマス、其案ニ依リマス、蠶業試驗場トハ別ニ原蠶種ノ管理所ト云フモノヲ設ケマシテ、サウシテ此處デ原蠶種ヲ製造スルト云フ建前ニナッテ居ルノデアリマシタ、之ニ依リマス初年度五百萬圓、アトハ年々五十萬圓程ノ金ガ要ルコトニナルノデアリマスガ、今日ノ財政ノ上ニ於キマ

シテ此計畫ヲヤルト云フコトニナリマス中々實現ガ困難デアルト云フコトヲ吾々ハ考ヘマシテ、今日蠶業試驗場ニ於テ六萬蛾ノ原蠶種ヲ作ッテ居リマスル經費等ヲ調べテ見マスルト、ソレ程ニ掛ケナクテモ所要原蠶種ヲ作りマスニ十分ナル設備ガ出來ル、即チ今日ノ蠶業試驗場ヲ利用スルコトニ依リマシテ原蠶種ノ國家管理ヲ行ヒマスレバ、御舉ゲニナリマシタヤウナ經費ヲ以テセズトモ——無論十分理想的ナモノトハ

參リマセヌガ、ソレデモ今日ノ原蠶種六萬蛾ヲ配付シテ居リマスル事業ノ擴張ニ依リマシテ、三十六萬蛾ノ原蠶種ヲ國家ニ於テ管理スルコトハ困難デナイ、而モソレニ依リマス、經費モ大體今日御協賛ヲ願ッテ居リマスル經費ヲ以テ足りルト云フヤウニ考ヘマシタノデ、其計畫ニ致シマシタ、唯此前ノ計畫デゴザイマス、三年目カラ國家管理ニ入ルヤウナ計畫ニナッテ居リマシタ、經費ノ關係上、之ヲ五十萬圓、次年度ヨリ六十萬圓ト云フヤウニ致シマシタ爲ニ、年次ハ一年延ビルコトニナリマシタガ、ソレデモ、之ニ依リマシテ原蠶種ヲ國家管理ニ致シマシテモ、十分責任ノ持テル施設ト考ヘテ居ル次第デアリマス

○加藤委員 私が要求致シマシテ御配付ヲ

願ヒマシタ原蠶種管理計畫並豫算概要ハ、唯初年度ノ計畫豫算ダケデアリマシテ、次年度カラノモノゴザイマセヌガ、ソレハ出來テ居リマスカドウカ

○井野政府委員 次年度カラハ大藏省ノ財政計畫ニハ六十萬圓ト入ッテ居リマスガ、其内容ハマダ大藏省ト折衝スル點ガゴザイマスノデ差上ゲル譯ニ行カナイノデアリマス

○加藤委員 此計畫ニ依ルト五箇年デ完成スルヤウニナッテ居リマスガ、其五箇年間ハ年々六十萬圓ヲ支出スルコトニナルノデアリマス

○井野政府委員 五箇年ノミナラズ、ズット永久ニ六十萬圓宛デアリマス

○加藤委員 此事業實施計畫カラ考ヘマシト云フト「昭和九年度ヨリ同十三年度ニ至ル五箇年間ニ互リ本省並蠶業試驗場ニ本制度實施ニ必要ナル職員ヲ設置スルト共ニ昭和九年度ヨリ同十二年度ニ至ル四箇年間ニ互リ蠶業試驗場本場、出張所、試育所等及適當ナル箇所ニ原原種製造配付ニ必要ナル設備ヲ爲シ本事業ノ遂行ヲ期セムトスルモノナリ」斯ウ書イテアリマスガ、是ハ普通蠶種ニ至ルマデ此五箇年間ニ完成スルコトニナルノデアリマスガ、私ハ六箇年間ヲ要

スルヤウニ思ヒマスガ、此點ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○井野政府委員 此度ノ原蠶種管理ノ計畫ノ此前ノ案ト違ヒマス點ハ、年限ヲ延シマシタ點ガ一ツデアリマスガ、ソレト同時ニ、今日六萬蛾ノ原蠶種ヲ國トシテハ配付シテ居リマスガ、九年度カラハソレヲ九萬蛾ニ致シ、十年度ハソレヲ十九萬蛾ニ致シ、十一年度ハ二十四萬蛾ニ致シ、十二年度ハ三十四萬蛾ニ致シ、十三年度以降カラハ四十六萬八千蛾、即チ所要原蠶種ノ全額ヲ配付スルト云フヤウナ漸進的ノ計畫ニ致シタノデアリマス、隨テ國ノ設備ハ九年度カラ十二年度迄ノ間ニ原原種製造設備ヲ完成致シマシテ、サウシテ十三年度カラ原原種製造ノ全部ヲ配付スル、隨テ道府縣ハ原原種製造ヲ十四年度カラヤリマシテ、サウシテ十五年度カラ普通蠶種ノ製造ガ全部——即チ國ガ造リマシタ原種ニ依ル所ノ普通蠶種ノ普及ガ出來ルト云フヤウナ建前ニナッテ居ル、併シソレハ強制検査ニ移リマスル詰リ年次デアリマシテ、先程申上ゲマシタヤウニ昭和九年度以降カラ年々國ノ蠶種ヲ殖シテ行クノデアリマスカラ、民間ニ於キマシテハソレダケ國ノ養蠶經營ニ依ル所ノ普通蠶種ト云フモノ、飼育ガ増加シテ行クコト、御

諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○加藤委員 一寸細カイ問題デアリマスケレドモ、序デアリマスカラ御尋致シマスカ、此原原種ノ製造費用ハ一蛾ドノ位ノ見積リデアリマスカ、ソレヲ一寸御伺致シマス

○井野政府委員 大體八九十錢見當デアリマス

○加藤委員 今日絲條斑ノ改良ハ是ハモウ今日ニ始マツタコトデアリマセヌデ、洵ニ急ヲ要スルコトニナツテ居ルノデアリマスカ、サウ云フヤウナ點カラ考ヘマスルト云フト、原蠶種ノ國家管理ノ完成ハモウ一年デモ早イ方ガ宜イ、所ガ之ヲ見ルト云フト、洵ニ悠長ナ計畫ニナツテ居ル、ソレモ財政上已ムヲ得マセヌト言ハレ、バ、ソレ迄ノ話デアリマスケレドモ、折角之ヲヤラウト云フノナラバ一年デモ早く完成セラレルヤウニセラレテハドウデアラウカ、否ソレガ即チ當然ノ施設デアルト思フノデアリマス、之ヲ見マスト云フト、ドウシテモ六箇年目ニナラナケレバ普通蠶種ニマデ之ヲ及ボスト云フコトハ出來ナイ、デアリマスカラ之ヲ三年間位ニ切詰メテ完成スルヤウナコトニ一ツ改メラレタイト思フガ、其點ヲ政府當局ハドウ考ヘテ居ラル、カ伺ヒタ

イノデアリマス

○後藤國務大臣 獨リ原蠶種國家管理ノ問題ノミデハアリマセヌ、色々蠶絲業ノ對策トシテ只今考究致シ實施セント希望致シテ居リマスカラ事柄ハ、出來得レバ一日モ早く實ハ實施致シタイ、併シ財政ノ狀況其他一般ノ情勢、又民間ノ關係、當業者ノ考ノ熟スルヤ否ヤト云フヤウナ事柄ガ、此實施ノ遲速ヲ自ラヤハリ定メル、只今ノ所

デハ此原蠶種國家管理ノコトモ、財政關係其他カラ今計畫致シテ居リマスカラ迅速デアリマシテモ、一日モ早く著手ヲ致シテ見タイト云フ考ヲ吾々ハ持ッテ居リマス、今後蠶絲業界全般ノ事情ノ變遷推移等ニ依リマシテハ、更ニ此促進ヲ思切ッテ圖ラナケレバナラスト云フ時機モ來ルコトモアルト考ヘテ居リマス、併シ只今ハ唯計畫ノ完備或ハ急速ナル全體ノ實現ト云フヤウナコトニバカリ拘泥ハリマシテ、著手ヲ遲ラセルト云フコトハシナイ方ガ宜イト考ヘテ參ッテ居ル譯デアリマス

○加藤委員 尙ホ此計畫書ヲ見マスト「又一面之ニ應ジテ道府縣ノ原種製造配布設備ヲ擴張整備セシムル爲昭和十三年度ヨリ同二十二年度ニ至ル十箇年間ニ於テ國庫ヨリ設備費ニ對シ補助金ヲ交付シ之ガ完成ヲ期

セムトスルモノナリ」ト云フコトニナツテ居リマスカ、之ニ依ッテ見マスト道府縣ノ原蠶種製造ノ設備ト云フモノヲ完備スルト云フコトハ、十三年度カラ向フ十箇年、今カラ數ヘマスト十四五年先ニナラナケレバ、道府縣ノ原種製造設備ハ出來ナイヤウニ思ハレル、サウ云フ考デ此補助金ヲ交付セラレルノデアルカ、若シサウデアレバ實ニ何トモ批評ノ仕様ノナイ悠長極マルモノト言ハナケレバナラストガ、何カ經費ノ關係デモアツテ左様ナコトヲセラレルノデアルカ、或ハサウ云フ風ニシテモ差支ナイト云フ所カラサウ云フコトニナツタノデアルカ、其點ヲ伺ヒタイ

○井野政府委員 今日府縣ノ設備ハ原蠶種製造ノ約四割ガ出來ル設備ニナツテ居リマス、隨テ今度ノ計畫ハ自家用原蠶種製造者ガ三割、府縣ガ七割ヲ造ルト云フ大體ノ計畫ニナツテ居リマスカ、後三割ノ部分ガ設備ガ擴張サレ、バ宜イト云フコトニナルノデアリマスケレドモ、先程來申上ゲマシタヤウニ財政ガ許セバ出來ルダケ早く此設備ノ擴張ヲ爲スコトハ結構ナノデアリマス、唯財政ガ之ヲ許シマセヌノデ、其設備ガ成ルマデハ大體ニ於テ此三割ノ部分ヲ分讓飼育ニ依リマシテ行ッテ行ク、サウシテ昭和十三年

度以降カラ縣ニ於テ設備ヲ擴張スルモノニ對シテハ、國庫ガ半額ノ助成ヲスルト云フヤウナ建前ニ致シ次第デアリマス

○加藤委員 此府縣ノ補助費ハ十三年度カラ府縣ヘ交付セラル、コトニナツテ居リマスカ、府縣ノ原蠶種製造所ト致シマシテモ、其時ニナツテ設備ヲスルト云フ譯ニハ行カヌ、少クモ其前年ヨリ著手セネバナヌコトデアルカラ、其前年カラ補助費ヲ交付シテ設備セシムルヤウニヤラレテハ如何デアルカ、此點ニ付テノ政府當局ノ御考ヲ伺ヒタイノデアリマス

○井野政府委員 今日ノ財政ニ於キマシテハソレハ困難デアリマスカ、財政ノ狀態ヲ見マシテサウ云フコトガ出來ルヤウナ時機ガ來マスレバ、是非サウシテ貫ヒタイト吾モ考ヘテ居リマス

○生田委員長 モウ時間ガ來マシタカラ、此程度デ少休ヲシテ、午後一時再開致シタイと思ヒマス、今日ハ大臣ハ貴族院ノ豫算總會ニモ出ラレルサウデアリマシテ、終日此席ニ御出席ガムツカシイノデハナイカト思ハレル、ソコデ午後一時カラ再開シテ、三時カ三時半頃マデハ御出席出來ルサウデアリマスカラ、午後ハ大臣ニ對スル質問ハ成ベク要約シテ、終レルモノナラ今日大臣

ニ對スル質問ダケヲ先ニ片付ケタイト思ヒマス、其御積リデ皆様ニ御質問願ヒタイト思ヒマス、是デ休憩シマス

午後零時十二分休憩

午後一時十八分開議

○生田委員長 午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス

○加藤委員 私ハ午前ニ引續イテ尙ホ農林大臣ニ御尋致シタイ事モアリマスケレドモ、同僚諸君カラ大臣ニ對シテ質問セラルル事項モ多イヤウデアリマスカラ、私ハ同僚諸君ニ之ヲ譲リマシテ、若シ同僚諸君ノ質問漏レノヤウナコトガアリマシタナラバ、此次ニ私カラソレヲ質問スルコトニ致シマシテ、暫時私ノ大臣ニ對スル質問ハ是デ打切ッテ置キタイト思ヒマス

○百瀬委員 私ノ大臣ニ御質問申上ゲタイト存ジマスルコトハ、大體本會議ニ於テ御質問申上ゲタ其要點デアリマスルガ、之ニ對シテ織田政府委員ヨリ此程御答辯ガアッタノデアリマス、其御答辯ニ依リマスルト云フト、何レモ考慮中デアルトカ、或ハ目下成案ヲ急イデ居ルトカ、左様ナ御答辯デアリマシテ、其真相ヲ捕捉スルニ苦シムヤウナ次第デアリマスルカラ、此場合ニ於テ

御伺シタイノデアリマスガ、蠶絲業ノ根本

政策ヲ樹テマスルニ付キマシテハ、獨リ原蠶種ノ國家管理バカリデナク、蠶絲業各般ノ生産形態ヲ統制スル、即チ生産形態ノ統制ヲ確立スルト云フコトガ必要ダト存ズルノデアリマス、ソレデ栽桑、蠶種、養蠶、製絲、製織、問屋、輸出商ニ至ルマデノ生産形態ノ統制デアリマス、是ガ出來マセスケレバ、獨リ原蠶種ノ管理ノミシマシタ所デ、到底絲價ノ安定ナドハ期待スルコトガ出來ナイト思ヒマス、ソレニ付キマシテ私ハ要約致シマシテ御尋致シタイノデアリマス、即チ產繭處理ノ方法デアリマス、產繭處理ニ付キマシテハ、乾繭モ助成スル意味ニ於テ、追加豫算ニ於テモ更ニ増額要求ヲサレテアリマス、乾繭ノ貯藏助成ハサルコトデアリマスルガ、一朝產繭ガ市況ノ關係デ慘落ヲ來シタ場合ニ備ヘル所ノ政府ニ御覺悟ガアルカドウカ、即チ政府ハ慘落ヲ防止スル爲ニ產繭ノ買上ヲスル、產繭ノ買上ヲスルニ付テハ之ニ伴フ所ノ國家管理ヲスル、即チ產繭法ヲ設ケテ、サウシテ之ヲ管理スルト云フヤウナ御覺悟ガアルカドウカアルカ、若シアリトスレバドンナ風ニソレヲ御處理爲サル御考デアアルカ、ソレヲ承リタイ

序デアリマスカラ、御聽キシタイ要點ダ

ケヲ續イテ申上ゲテ置ク方ガ便利ト考ヘマス、次ニハ新聞紙上ヲ通ジテ承知シテ居リマスガ、生絲販賣統制ニ對スル所ノ本省ニ於ケル方針ガ、御決定ニ相成ッタヤウデアリマス、其御方針ガ御決定ニ相成ッデ、サウシテ成案ヲ得ラレタト致シマスルナラバ、今期議會ニ販賣統制ニ關スル法律案ヲ御出シニナル御方針デアアルカドウカ、ソレヲ御提出ニナルトスレバ、凡ソ何時頃ニナルカト云フコトヲ豫メ承知致シテ置キタイト思フノデアリマス、其次ニハ絹絲ノ新用途ニ關スル調査機關ヲ御設ケニナルト、私ハ想像致シマスルガ、ドンナ程度ニ其新規用途ニ對スル所ノ研究ヲ爲サルカ、其計畫ノ内容ヲ此場合ニ承ッテ置キタイト思フノデアリマス、其次ニ御聽キシタイコトハ、是ハ本會議デモ御尋ラシタシタデスガ、此蠶種ニ課稅ヲスルト云フコトデアリマス、静岡縣デハ現ニ昨年ノ通常縣會ニ於テ、蠶種ノ課稅ヲ歲入ニ見積ッデ、サウシテ是ガ通過ヲ致シテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ先頃政府委員カラ、或ル地方の事情ヲ相當考慮スルノ必要アリト認メマシテ、關係者ニ對シテ此趣旨ヲ以テ折衝中デゴザイマス云フ風ニ御答ニナッテ居リマス、是ニ由ッテ見

マスルト云フト、地方の事情ヲ相當考慮ス

ルト云フノハ、静岡縣ノ如キ地方の事情ヲ相當考慮シテ、其地方ノ事情ニ依ッテハ蠶種ニ課稅シテモ差支ガナイト云フヤウナ御意見デアアルノカドウカ、私ハ此蠶絲業ノ根源デアアル蠶種ニ課稅スルト云フコトハ、根本論トシテ甚ダ面白クナイコトデアアル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、既ニ根本意見トシテ、蠶種ニ課稅スルト云フコトヲ規定スルナラバ、其縣ノ異ナル事情ニ依ッテ、或ハ課稅シ、或ハ課稅シナイト申シマシテモ、一縣ニ此蠶種ニ課稅スルト云フ新例ガ開カレマスレバ、他府縣ガ何レモ財源ニ困ッテ居ル折柄デアリマスルカラ、好財源ノ一トシテ左様ナ舉ニ出デナイトモ測リ知ルコトガ出來ナイノデアリマス、左様ナコトニ相成リマスルト云フト、此蠶種ノ課稅ガ自然一般養蠶家ニ轉嫁サレルヤウナコトニ相成リハシナイカ、斯様ナコトヲ恐レル者デアリマス、私ハ課稅ノ根本方針トシテ、蠶絲業ノ根源ヲ爲ス蠶種ノ如キモノニハ、恰モ農產物種子ニ課稅スルト同様ノモノデアッテ、甚ダ間違ッテ居ル事柄デハナイカト斯様ニ考ヘル者デアリマス、静岡縣ノ如キハ適切ナル例デアリマスガ、静岡縣ガ斯様ナル課稅ヲ致シマスニ付テ、政府ハドウ云フ

風ニ之ヲ處置爲サル、御考デアルカ、即チ撤廢スル御方針デアルカ、要スルニ静岡縣ノ歲入案ニ對シテ之ヲ是正セシムルト云フ方針デ、關係當局ハ御考慮ニナツテ居ルカドウデアルカ、其點ヲ承リタイト思フノデアリマス、他ニモ色々御尋シタイ事ガアリマスルガ、長クナリマスカラ、私ハ差當リ以上ノ事ダケヲ御尋致シテ置キマス

○後藤國務大臣 第一ノ産繭ノ對策ニ關スル問題デアリマスガ、現下ノ蠶絲業ノ狀況ニ鑑ミマシテ、政府ニ於キマシテハ豫テ一般豫算ニ乾繭ノ共同保管ノ助成ノ經費ヲ計上致シテ居リマス、更ニ追加豫算トシテ約百六十萬圓ノ經費ヲ計上致シ、合セテ二百六十餘萬圓ノ助成費ヲ準備致シマシテ、相當多量ナ數量ノ乾繭共同保管ノ必要ニ應ジテハ助成スル準備ヲ致シテ居ル譯デアリマシテ、追加豫算トシテ御協賛ヲ仰グ手續ヲ致シテ居リマス、更ニ進ンデ非常ナ繭價慘落等ノ事情ガ生ジテ、蠶絲業ノ根柢ニモ影響シ、農村ノ經濟情勢ノ異常ナ困難ヲ來スヤウナ場合ガ起キタラドウスルカト云フコトニ付テハ、矢張是ハ考ヘテ置カナケレバナラヌ問題ト思ッテ居リマス、併ナガラ斯ウ云フコトハ極ク非常ナ事態ノ生ジタ場合ノコトデアリマス、其場合ニ處スルニハ、又

其場合ニ臨ンデ、或ハ其場合ノ現實ニ生ズルコトノハッキリ致シマシタヤウナ場合ニ考ヘマセヌケレバ、今日カラ的確ニ其事ヲ豫想シテ非常手段ノ準備ヲスルト云フコトハ中々困難ダト思ヒマス、殊ニ只今御話ノアリマシタ産繭ノ買上ト云フヤウナコトハ、中々實ハ簡單ニ參リ兼ネルコトデアリマス、併シ萬一ニモ特殊ナ非常ナ事態、ソレヲ爲スヨリ外ナシト云フヤウナ事態ガ生ジマスレバ、又政府トシテモソレニ處スル途ヲ考ヘナケレバナラヌト思ッテ居リマス、産繭法ト云フヤウナコトニ付テ御話ガアリマシタガ、是ハドウ云フコトヲ意味シテノ御尋デアリマスカ確ト了解致シ兼ネマスケレドモ、矢張産繭ノ値段ノ異常ナ騰落ニ付テ、何カ處置スル方法ヲ設ケテ置イタラドウカト云フコトデアラウト存ジマス、蠶絲業ハ御承知ノ通り海外ノ市場トモ關係ヲ有ッテ居リマスシ、生産販賣其他ノ過程ハ頗ル複雑ナノデアリマス、直チニ簡單ニサウ云フ風ナ制度ヲ玆ニ設ケルコトハ餘程困難デアラウト考ヘテ居リマス、御話ノ如ク桑ノ問題、蠶種ノ問題、養蠶ノ問題、製絲業、製絲工程ノ問題、更ニ是等ノ一般ノ輸出其他ノ販賣問題、更ニ絹ノ織物ノ問題、或ハ生絲トシテ賣リ、或ハ是迄ノ普通ノ織物トス

ル以外ノ、絲ノ新シイ用途ノ問題ト云ツタ點ニ總テ觸レテ、養蠶業ノ將來ノ更生、蠶絲業ノ地歩ノ安固ト云フコトヲ圖デ參ラナケレバナラヌデアリマス、只今御尋ノ共同ノ乾繭保管ノ必要ガ生ジタ場合ニ助成スルト云フコトヨリ、更ニ進ンデ繭ニ對スル對策ト云フモノニ付テハ、政府ハ決シテ考究モ怠ラズ、實際ノ事態ニ處シテ行クダケノコトハ絶エズ研究ヲ續ケテ居リタイト考ヘテ居リマス

ソレカラ販賣統制ノ關係ニ付テ調査會等デ審議ヲ進メテ居ルガ、或ル程度ノ結論ヲ得タナラバ、此議會ニデモ提出シテ方策ヲ樹立シテ行ク積リデアルカドウカト云フ御尋デアリマス、是ハ御承知ノ通り只今生絲ノ販賣統制ニ關スル調査會ヲ設ケテ居リマシテ、折角審議ヲ進行シテ居リマス、或ル程度ノ結論ニモ到達セントシテ居ルノデアリマス、マダ此調査會ノ總會ノ決議ヲ經ル程度ニハ參ッテ居リマセヌケレドモ、相當ニ進ンデ參ッテ居リマスガ、色々事情ノ複雑シタ關係ガアリマスノデ、總テノ點ニ觸レテ一致シタ結論ヲ得ルコトハ勿論困難デアリマスケレドモ、結論ヲ將ニ得ヨウトスル部分モアリマス、ソレ等ノ點デ各方面ノ意見ノ一致ヲ見、實行ノ目安ノ付キマシタ事柄

ニ付テハ、出來得レバ法律案トシテ成ベク速ニ成案ヲ遂ゲテ、今期議會ニ提出シタイ希望ヲ當局トシテハ持ッテ居リマス、唯事柄ハ多少他ノ省トモ關係ヲ持チマスノデ、吾等ノ希望ダケヲ以テ直ニ確定的ナコトハ申上デ兼ネマスガ、出來ルダケ今期議會ニ提出シタイト云フ希望ヲ以テ、急イデ今進行致シテ居ルノデアリマス

ソレカラ新規用途ヲ生絲ノ爲ニ開拓スルニ付テ十分力ヲ入レル考ガアルカ、相當ノ施設ヲ之ニ對シテスル考ガアルカト云フ御話デアリマス、是ハ私共モ蠶絲對策ノ重要ナ將來ノ方法トシテ出來得ル限りノ力ヲ致シテ行キタイト考ヘテ居リマス、蠶絲業ノ一ツノ血路ハ此方面ニ開拓サレルデアラウト云フ希望ヲ強ク持ッテ居リマス、デ今回ノ追加豫算ニ於キマシテモ十分ナ金額トハ申セマセヌガ、是ガ爲ノ經費モ計上シテ居リマス、又是ハ單リ政府ノ研究施設バカリデナク、民間ノ工夫、研究、努力ヲモ煩シタイシ、又直接農林省ノ關係デナイ學校其他ノ試験機關、研究機關等ニ於キマシテモ、是ガ研究ヲ慫慂致シテ居リマス、幸ニ滯貨生絲ノ處置ニ付テハ其方面ノ試験材料ヲ供給スルコトガ出來ルヤウニナッテ來テ居リマシテ、可ナリ此方面ノ進歩ニ便宜ヲ供シ

テ參ッテ居ルヤウニ存ゼラレルノデアリマス、各方面ニ生絲ノ新規用途ノ研究ヲスル、進ンデハ之ヲ工業化スルト云フヤウナコトノ機運ガ、可ナリ進ンデ參ッテ居ルヤウデアリマス、政府ハ出來ル限り之ニハ盡力ヲ盡シテ參リタイト考ヘテ居リマス

ソレカラ蠶種ニ對スル課税ノ問題、是大體ノ御議論トシテハ百瀨君ノ御説ニ私同感デアリマス、斯ウ云フ農業ノ原料ニ對スル課税ハ、一般論トシテハ私ハ穩當デナイト考ヘテ居リマス、唯靜岡縣ノ場合ハ私マダ詳シク承知致シマセヌケレドモ、地方的ノ特殊ノ事情カラ來テ居ルコト、考ヘマス、特殊ノ事情ニ依リマシテ、其縣内ノ色々ナ課税ノ公正ト云フ見地カラ、斯ウ云フ問題ガ考ヘラレテ來タノデアラウカモ知レマセヌ、此ハ能ク其事情ヲ究メマシテ、關係ノ當局トモ打合ヲ致シテ善處致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○百瀨委員 産繭處理ニ付テ今一應御答ヲ得タイノデアリマス、ソレハ成程追加豫算ニマデ増額要求ヲサレマシテ、乾繭ノ所謂共同保管助成ノ御考、之ニハ賛意ヲ表スルニ吝デハアリマセヌ、サウデアリマスルガ、今日ノ如ク絲價ガ暴落ヲ致シタ場合ニ、一般養蠶家ハ其掃立ヲ減ジマシテ、生産高

ガ必シモ減少スルモノトハ思ヘナイ、殊ニ

乾繭ノ助成ヲ獎勵ナサル、結果トシテ、養蠶家ハ如何ニ絲價ガ慘落ヲ致シテモ、乾繭ノ助成費ガアルノダカラト云フヤウナコトデ、掃立ハ減ジハシナイと思フ、サウスルト所謂生絲ノ滞貨見タヤウナ具合ニ、産繭ガ非常ニ保管サレル、産繭量ト云フモノガ多額ニ上ルダラウト思フ、サウ云フヤウナ場合ニハ自然今度ハ内ノ方カラ勢ヒ生絲ノ慘落ニ拍車ヲ掛ケルヤウナ具合ニ相成リハシナイカト云フコトヲ憂慮サレル、デアリマスカラ一面ニハ掃立制限モセナケレバナラナイト云フヤウナ場合ニ到達スルダラウ、サウセナケレバ、此産繭處理ガ巧行カナイデヤナイカ、斯様ニ考ヘラレルノデアリマス、サウ致シマスと或ル場合ニハ産繭ガ異常ナ慘落ヲ來シタ場合ニハ、之ヲ政府ガ買上ゲルト云フ方法ヲ執ラナケレバナラス、サウ云フ場合ニハ産繭法ノ如キ一ツノ法律ノ發動ニ依ッテセナケレバナラナイト云フ結果ニナラダラウト思フノデアリマス、サウ云フコトニ基因シテ御尋ヲ致シタノデアリマス、要スルニ産繭ノ處理ヲ好イ具合ニシタイ、養蠶家ニ不安ト脅威ヲ與ヘナイヤウニスル方策ヲ御尋シタノデアリマス、之ニ對シテモウ少シ具體的ノ御意見ヲ承リタ

イノデアリマス

○後藤國務大臣

産繭ノ保管ヲ致シマシテ、ソレダケデモ實際ノ情勢ハ却テ絲價ノ慘落、隨テ繭價ノ慘落ト云フヤウナ事態ガ起キタ時分ニ處スル方策如何ト云フ御尋デアリマス、御話ノ如ク現在ノ絲價ノ狀況、隨テ繭價等モドウ云フ工合ニナルカト云フコトヲ心配致シテ居リマスヤウナ狀況ヨリ見マシテモ、直チニ此春ノ繭等ニ生産ノ手控ヲスルト云フヤウナ事柄ノ出來ニクイモノデアルコトハ、私モ承知シテ居リマスガ、更ニ夏秋蠶ノ方ニナリマスレバ、當業者ガ相當ニ自制ヲ加ヘラレルナラバ、或ル程度ノ生産ノ手控ト云フヤウナコトモ、強チ全然實行ノ出來ナイト云フヤウナ問題デモナカラウカト思ヒマス、勿論ハ關係ノ當業者ガ本當ニ自覺シテ、之ニ善處スルヤウナ考ガ起ラナケレバ、是ハ勿論出來ナイ事デアリマス、サウ云フヤウナコトモ或ハ事態ニ依ッテハ當業者ノ間ノ自覺ヲ喚起シナケレバナラス事柄デアラウカト思ッテ居リマス、更ニ併シ非常ナ窮迫シタ特殊ナ事態ガ起ッテ參リマシテ、繭ノ處理等モドウシテモ出來ナイト云フヤウナコトニナリマスレバ、ドウスルト云フコトハ絶エズハ考究モ致シ、考ヲ鍊ッテ置カナケレバナラスコト

デアリマスガ、今日カラ其事態ヲ想像シテ、サウ云フ處置ヲ立テ、置クト云フノニハ、其事態ガモウ少シ現實ニ近付イテ參リマセヌト云フト、考ヘニクイ問題デハナイカト思ッテ居リマス、吾々ハサウ云フ事態ノ現實化スルコトハ無論少シモ希望シナイノデアリマス、サウ云フコトノ無イヤウニ進ムコトヲ切ニ冀ッテ居リマス、ソレデドウモ今カラ色々ナ場合ヲ想像シテ何カ方法ヲ立テルト云フコトハ、無論出來得レバ結構デアリマスケレドモ、異常ナ事態ニ處スル方策ハ、其準備ト研究ハ常ニ致シテ居ラナケレバナリマセヌガ、實際ニ處置ヲ講ズルト云フコトハ希望シナイコトデアリマス、又サウ云フコトニ必ズナルトモ私考ヘマセヌケレドモ、不幸ニシテ好マシカラザル非常ナ事態ガ生ジタト云フヤウナ事デモ萬一アリマスレバ、其場合ニ應ジテ其事情ニ適スルヤウニ一ツ考ヘテ行カナケレバナラヌデハナカラウカ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○高橋委員 委員長、關聯致シマシテ一寸

○生田委員長 宜シウゴザイマス

○高橋委員 今百瀨君カラ質問ヲ致シマシタ事ニ對シテ御答辯ガアッタノデアリマス

ガ、ヤハリ産繭ノ問題ニ關聯致シマシテ、尙ホ大臣ノ御意嚮ヲ承リタイト思フノデアリマス、先頃輸出生絲ノ三割制限ニ對シマシテ、農林省ハ之ヲ認可サレタ、其認可サレタ理由ニ對シマシテハ、豫算委員會ニ於キマシテ、砂田君、大口君カラ色々角度カラ質問サレタニ對シマシテ、大體ニ於テ大臣ハ是ハ當業者ガサウ云フ希望デアッタカラ之ヲ許シタ、斯ウ云フヤウナ御答デアッタヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、當業者ハ勿論其申合セヲシタノデアリマスルガ、此當業者ノ申合セニ對シマシテハ其總會ノ席上ニ於キマシテ、其申合セヲ決定スルト同時ニ附帶決議ヲシテ居リマス、其附帶決議ハモウ御承知ダト思フノデアリマシガ、絲價安定ノ根本策ヲ樹立スルコトガ焦眉ノ急デアルト云フヤウナコトヲ附帶決議トシ、又併セテ昭和九年度ノ産繭處理ニ對シ繭價ガ絲價ト伴ハザルコトナキヤウ政府竝ニ製絲業者ヲシテ是ガ對策ヲ實施セシムト云フヤウナ決議ヲシテ、之ヲ申合セテ居ルノデアリマス、當業者關係ノ自發的ノ申出デアルカラ之ヲ認可シタト云フ事柄ハ、是等ノ附帶決議ヲ御承知ノ上デ御認可ニナッタノダラウト思フ、隨テ當業者ノ申合セニ對シマシテ農林省ガ認可權ヲ發動シテ之

ヲ認可シタト云フコトニ對シマシテハ、當然此三割制限カラ由ッテ生ズル現實ノ問題ヲ如何ニ捌イテ行クカト云フ見透シヲ立テラレテ上ノコトダト私ハ考ヘルノデアリマス、當然三割制限カラ生ズル結果ト云フモノハ、二月カラ九月マデノ間三割制限スルコトニ依ッテ生ズル生絲ノ輸出制限ガ、絲ニ依ッテ内地ニ殘サレルカ、若クハ繭ガ其儘ニナッテ殘サレルカ、此二ツノ外方法ハナイ、假ニ繭ニ依ッテ殘サレルト云フコトニナリマスレバ、是ハ昭和八年度ノ繭ガ三割ダケ、詰リ二月カラ九月マデノ間ノ三割ダケハ繭其儘デ殘ルカラ、一千五百萬貫ト云フ數字モ出デ参リマス、而シテ昭和八年度ノ産繭額ハ先頃ノ農林省ノ御發表ニ依リマシテモ、一億百萬貫以上ノ統計數字ヲ示シテ居ルノデアリマシテ、平年作以上ノ既ニ收繭ヲシテ居ル、サウスルト此三割制限ニ依ッテ明ニ昭和八年度ノ繭ガ昭和九年度ニ繰越サレルト云フコトハ、是ハ現實ノ問題デアリマス、之ニ對シマシテ今ノ色々大臣ノ御説明ヲ承リマシテモ、サウダカラ追加豫算ノ上デ百六十萬圓ノ金ヲ出シテ乾繭保管ヲ助成スルノダ、補助スルノダ、斯ウ仰シヤラレル、ソレハ一應御尤ニモ承ハレルノデアリマスガ、併ナガラサウシテ少シノ補助

金ヲ呉レテ乾繭保管ヲサシテ、一體其保管サレタ乾繭ガ何時使用サレルカ、何時其疵ガ除カレルカ、昭和八年ハ一億百萬、又今年モ一億萬、來年モ一億萬、再來年モ一億萬、サウシテ海外ニ於ケル消費ハ相モ變ラヌ同ジヤウナ所ヲ彷徨シテ居ル、時ニ依レバ人造絹絲ニ其權益ヲ侵サレテ、或ハ消費減ヲ來タスカモ知レヌト云フヤウナ結果ニナリマス、政府ガ十五錢カ二十錢ノ一貫目アタリノ補助金ヲ呉レテ、却テ其保管主ニ損害ヲ與ヘルト云フヤウナ結果ガ起リハセヌカト云フコトマデ恐レルノデアリマス、此點ニ付キマシテ先ヅ第一ニ承リタイノハ、一體今將ニ追加豫算トシテ提出サレテ、豫算化サレヤウトシテ居ル所ノ百六十萬圓ニ依ッテ保管サレル繭ハ、何時頃其疵ガ取レルト御考ヘニナッテ居リマス、其保管繭ヲ使用スルコトニナレバ勢ヒ生産制限ト云フコトニ手ヲ著ケナケレバナラヌコト、考ヘル、今御話ヲ承ッテ見マシテモ、ソレハ養蠶業者ノ自發ニ依ッテ、春蠶ハドウデモ、夏秋蠶ノ方ハ自發ニ依ッテ生産制限ヲ自ラ加ヘルコトヲ考ヘナケレバナラヌ、御尤ナ御意見ト思ヒマス、併ナガラ養蠶業者ガ自分ノ立場ダケデ考ヘテ、小サナ範圍デ眺メテ居ル養蠶業ト云フモノニ對シマシテ、唯生

産制限ヲスルト云ウテモ是ハ中々出來ナイ、既ニ繰返シテ言フヤウデアリマスルガ、養蠶ニ對シテノ準備ハ整ッテ居ル、其準備ヲ犠牲ニシテモ減ラサナケレバナラヌ、理窟ノ上カラハサウデアリマスガ、實際ノ上ニハ其實現ノムツカシイコトハ御承知ノ通りデアリマス、昨年ノ減反案ノ問題ガ出タ時ニモ、理論ノ上カラ言ヘバ全ク減反案ハ現在ニ適用サスベキ政策デハアッタガ、偶ニ農民心理ト云ヒマス、一般ノ評判ガ好クナカッタト云フノハ、矢張サウ云フ點ニアッタノデハナイカト思ヒマス、隨テ本年度ノ繭ノ産額ニ對シマシテ、養蠶業者自ラノ考ニ依ッテ生産制限ヲシロト言ハレテモ、中々實行ハ困難ダヤナイカト思フ、コンナ風ナコトヲ考ヘマス、總テ百五十萬圓ノ通常豫算デ通りマス共同乾繭保管ノ費用ト、追加豫算ノ百六十萬圓ヲ合セテ約千五百萬貫ノ繭ガ乾繭共同保管トシテ次カラ次ヘ殘サレテ行ク、其結果ハ丁度滞貨生絲ノ問題ト同ジヤウニ、年々ノ價格ノ上ニ痛ヲ爲シテ、取除デハナイカト思ヒマスガ、御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 御話ノ如ク心配ヲ致シテ参リマスレバサウ云フ懸念ガ絶對ニナイト

ハ決シテ申シマセヌ、併ナガラ今日海外ノ景況ガ主トシテ我國ノ蠶絲業ノ經濟的ノ良否ヲ定メル形ニナッテ居リマシテ、今ハ非常ニ動イテ居ル所デアリマス、永イ將來ヲ考ヘテ蠶絲業ノ適應策ヲ速ニ立テナケレバナラヌト云フコトハ、吾々モ全ク御同様ニ考ヘテ居リマシテ、出來得レバ片端カラデモ著々手ヲ著ケタイト考ヘテ努メテ居ルコトハ屢申上ゲタ通りデアリマス、當面ノ應急策ト致シマシテハ、先以テ今年ノ春ノ繭ニ對シテ此價格ガ慘落スルト云フヤウナ場合ニ、共同保管ヲ相當ヤリマシテ、出荷制限ノ附帶決議ノ際ニモ當業者ノ間ニ考ヘラレテ居リマス通り、繭價ト絲價ノ間ノ權衡ヲ失スルコトノ起ラナイヤウニ當面ノ處置ヲ致シテ參ル、其後ノ市場ノ推移ハ又如何ナル變化ヲ生ジマスカ、的確ニハ豫想モ致シ兼ネルノデアリマシテ、相當ニ力ノ強イ共同ノ乾繭保管ガ必要ニ應ジテ行ハレマシテ繭價繭價ノ均衡ヲ維持シテ行クコトガ困難デアルト云フコトハ、無論私共モ考ヘマスガ、矢張當業者モ此際色々ナ點ヲ考ヘテ、自覺ヲシテ、生産ノ關係ニ於テモ、手控ヲシテ行クト云フヤウナ事柄ハ、事ノ難易ニ拘ラズ、今後モ矢張段々トサウ云フコトガ實施ノ出來ルヤウニナッテ

行カナケレバナラヌト存ジマス、養蠶實行組合其他モ漸次發達ヲ致シテ參ッテ居リマス、完全ニ理想通りニ參リマセヌデモ、何程カサウ云フコトニ依ッテモ、繭價ノ維持ニ効果ノアルヤウニ進メテ參リタイト思ッテ居リマス、又是ガ一遍保管シタ物が段々溜ッテ、生絲ノ共同保管ノ場合ノヤウニ、何時マデモ是ガ市場ヲ壓迫スルヤウナコトニナリハシナイカト云フヤウナコトニ付デモ、是ハ吾々モ考ヘテ置カナケレバナラヌ問題ダト思ヒマス、併ナガラ直チニ今年ノ春繭ニ對シテ其將來ノ禍根ヲ除クト云フヤウニスルコトノ爲ニ、ドレ程ノ程度ノドウ云フコトヲ致スベキカ、又是非ゾレガ必要デアルカドウカト云フコトノ見極メヲ、今付ケルト云フコトニハ一寸參リ兼ネルト考ヘルノデアリマス

○高橋委員 今後ノ情勢ノ推移ニ依ッテ其時々ニ具體的ノ對策ヲ講ズル考ダト斯ウ大巨ハ仰セラレタノデアリマスガ、是モ一應御尤ダト存ズルノデアリマスガ、兎ニモ角ニモ今ノ三割出荷制限ヲ致シマシテモ、絲價ハ好轉シマセヌ、大體六百圓ヲ中心ニシテ上ツタリ下ツタリシテ居ルノデアリマス、之ヲ繭ノ一貫目當リニ引直シマス、加工費ノ百二十圓ヲ引イテ計算スルト、ドウシ

デモ三十掛ト云フ風ナコトヨリ考ヘラレナイ、サウシマスレバ參考資料トシテ御配付ヲ願ヒマシタ、此一貫目當リノ全國ノ平均價格ヲ見マシテモ、春ノ繭ガ三圓八十二錢ト云フ數字ガ出デ居ルノデアリマスカラ、生産費ヲ明ニ割ッテ居ルコトハ事實デアリマス、推移ノ問題デナク、現實ノ問題デアリマス、而モ春蠶ノ繭ハ幾ラ取レルカ分ラナイ、サウシテ之ニ對シテハ百五萬圓ノ他ニ百六十萬圓ノ金ヲ出シテヤルト云フ風ナコトガ言ハレテ居ッテモ、マダ尙且ツ生産費ヲ割ルト云フ數字キリ出ナイノデアリマス、一番能ク繭價ト絲價トノ間ノ比例ガ具合好ク行キマシテモ、生産費ヲ割ルト云フコトニナッテ居ル、之ヲ要スルニ蠶絲業ト云フモノニ對シテノ根本對策、所謂絲價ガ標準ニナッテ繭價ガ動ク、是ハ當然ナ話デアリマスガ、此絲價ノ安定維持ト云フヤウナコトニ對シマシテハ矢張相當考ヘナケレバナラヌ、是ハ推移ノ問題デナクテ、現實ノ問題ダト思フノデアリマス、此絲價ノ安定ト云フ風ナ問題ニ對シマシテハ、今日此委員會ダケデナクテ、先日本會議デモ加藤君ガ色ナ點カラ述べラレテ居ルノデアリマシテ、私共ハ頗ルソレニ賛意ヲ表シテ善處サレンコトヲ希望シ、善處スルコトヲ又考ヘ

テ居ルノデアリマスルガ、ドウモ今ノ昭和九年度ノ豫算ニ現レテ居ル數字、追加豫算ダト言ハレテ、私共ガ知ラシテ貰ッテ居ル範圍ノ蠶絲對策ダケデハ、ドウシテモ不安ガアッテ堪ラヌヤウニ思フノデアリマス、其時ノ春蠶ノ繭ノ取秋、夏秋蠶ノ繭ノ取秋、其時々ニ依ッテ善處シテ行クト斯ウ仰シヤレバ、成程ソレモ御尤デアリマスガ、豫算ノ無イ仕事ハ結局出來ナイト云フヤウナ見方モ結局出來ルノデアリマシテ、誰ガ本年ノ夏秋蠶ガ暴落シナイト斷言シ得ラレカ、私共ハサウ云フ點カラ考ヘマシテ、此蠶絲業ト云フモノニ對シテノ農林省ノ熱意トハ申シマセヌガ、今ノ政府ノ熱意ガ足りナイヤウニ思ハレルノデアリマス、只今モ大臣ノ御話ノ中ニアリマスル、養蠶實行組合ガ著々其實績ヲ舉グルト云フ、成程蠶實行組合ガ出來マシテ、ソレノ活動ハ仕始メテ居リマスガ、マダ眞ノ活動期ニハ入ッテ居ナイ、此活動ヲ促進スル爲ニハ、ドウシテモ養蠶ノ技術員ガ必要アル、指導シ實績ヲ舉ゲサセル爲ニ必要ダ、此必要ニ對シテハ、是非技術員ノ補助費ヲ相當出シテ、サウシテ全國一齊ニ養蠶實行組合ノ自治的活動ニ依ッテ、一面ニ於テノ蠶絲業ノ根本策ヲ解決シテ行キタイト云フ熱意ヲ持ッテ居

ルニモ拘ラズ、此技術員ニ對シテノ補助費ナドモ中々抄々シク其數字ヲ擧ゲテ來ラレナイ、是ハ私共蠶絲業ヲ考ヘテ居リマスル者ニ取リマシテハ、甚ダ不本意ニ思フノデアリマス、成程國家財政等色々ナ關係ガアリマセウ、アリマセウケレドモ、茲ニ國家ノ使フ金ヨリモ、其使ッタ金ヨリ生ズル效果ガ、ヨリ以上國家ノ利益ニナルト云フナラバ、是ハ喜ンデ國家カラ支出シテ行クト云フコトガ、吾々ノ常識カラ考ヘテ當リ前ノヤウニ思フ、サウ云フ點カラ考ヘマシテ、モウ少シ何トカ……農林大臣ノ御考ヘニナルヤウニ、其時々ノ推移ニ依ッテ善處スルト云フ、其善處スル根本デアリマスル豫算ヲモウ少シ何トカ考ヘテ貰ヒタイト云フ希望ト併セテ、モウ一應御意見ヲ伺ヒマス

○後藤國務大臣 高橋君ノ御話ハ大體私モ同感ニ考ヘル點ガ多イノデアリマス、唯當面ノ應急ノ問題ニ付キマシテハ、ヤハリ其時ノ事情ニ應ジテ善處シテ參ルヨリ外ハナイト思ヒマス、唯直グ近イ當面ヲ離レテ少シ恆久ノ蠶絲對策ト云フコトヲ考ヘマスト、凡ユル角度カラ蠶絲業ノ基本ヲ確立シテ行ク爲ニ非常ナ努力ヲシナケレバナラスモノト考ヘテ居リマス、唯ソレガ今回ノ追加豫算ニモ其一端以外ニハ現レテ參リマセ

ヌノハ、一ツハ財政上ノ理由モアリマスケレドモ、一ツハ問題ノ非常ニ複雑ナ性質カラモ參ッテ居リマスノデ、直チニ實行シテ效果ノ擧ガルの確ナル名案ニ到達シ兼ルノデアリマス、併ナガラ是ヲ到達シ兼ルカラト云ウテ、高閣ニ束ネテ見ラ居ルト云フ譯ニハ參リマセヌ、銳意吾々ハ努力シテ參リタイト思ッテ居リマス、是ハ此問題ニ付テ憂ヲ同ジウセラル、皆様ト御一緒ニ、非常ナル熱意ト覺悟トヲ以テ凡ユル角度カラ解決ノ歩ヲ進メテ參ラナケレバナライト吾々ハ常ニ考ヘテ居ルノデアリマス、微力デアリマスルケレドモ出來ルダケノ努力ヲ此爲ニ私ハ拂ヒタイ積リデ居リマス、唯現在ノ只今ノ繭ニ對シマスル處置ト致シマシテハ、先程來申シタヤウナモノヲ以テ、先ヅ之ニ處シテ參リタイト考ヘテ居ル次第ナノデアリマス

○百瀬委員 大臣ノ御答辯ハ腹藏ナク申セバ満足スルコトハ出來ナイノデアリマス、サリナガラ大臣ノ御答辯ハ善意ニ解釋シタイト思ヒマス、色々方策モ御有リガラウト思ヒマス、善處スル途モ御考ヘニナッテ居ルトハ想像サレマス、サリナガラ何分ニモ財源ガ之ヲ許サナイカラ、自分ノ考ノ通りノコトガ施設ノ上ニ現レテ來ナイ、隨テ法律

トシテモ之ヲ議會ニ提出スル運ビニ行カナイト云フコトニ歸著スルノガラウト善意ニ想像ヲ致シテ置キマス、只今ノ御答辯或ハ追加豫算ニ求メラレタ其數字ノ額カラ申シマシテモ、全ク帶ニハ短シ襪ニハ長シト云ッ

タヤウナ程度ノモノデ、吾々ハ之ヲ以テ満足スル譯ニハ行カナイノデアリマス、隨テ蠶絲業ノ根本對策ナドハ之ニ依ッテ期待スルコトハ出來ナイト思ヒマス、是ハ幾ラ追窮致シテモ仕方ガナイコトデアリマスルガ、是レ以上ハ只今ノ大臣ノ御言葉ノ如ク、極力努力ヲスルト云フ御辯明ノ熱意ト御誠意ニ對シテ、私モソレヲ信賴シテ、近キ將來ニ期待シタイト思フノデアリマス、希クハ大臣ニ於カレマシテハ關係大臣ト御折衝ノ上、一日モ速ニ此蠶絲業ノ根本政策ノ具體的樹立ニ邁進セラレンコトヲ要望致シマシテ、私ハ大臣ニ對スル質問ハ是デ一先ヅ打切ニシテ置キマス

○横川委員 私ハ主トシテ本案ニ關シ、大臣ニ對シマシテ質問ヲ二三申上ゲタイト思ヒマス、先ヅ第一ニ本案ノ眼目デアリマスル蠶種ノ統制ト云フコトニ關シマシテ、根本ノ觀念ヲ御伺シタイト思ヒマス、統制ト云フ文字ハ近來各方面ニ各様ニ用ヒラレテアルノデアリマスルガ、本案ニ於テ企圖セ

ラレテ居リマスル統制ノ觀念ガ、唯單ニ品種ノ統一整一ト云フコトノミヲ考ヘテ居ルモノデハナイト考ヘラレマスルノデ、其及ブ範圍ヲ先ヅ御伺致シタイト思フ

○後藤國務大臣 本法案ニ於キマシテ統制ト申シマスコトハ、御話ノ如ク單ニ品種ノ統一ヲ唯圖ルト云フダケデハゴザイマセヌ、勿論今日品種ノ亂雜ニナッテ居リマス爲ニ、製絲ノ方ニ色々不便ガアリマス、又色々品種ガ行ハレマスコトハ養蠶家ノ方カラ申シマシテモ不利益ナコトデアリマシ、必シモ優良ナ品種ノミガ行ハレルコトハ是モ養蠶家ノ爲ニ不便デアリマス、成ベク良イ品種ニ統一ヲ致スト云フコトモ一ツノ目的デアリマス、併ナガラ又蠶種ノ今後ノ方向ト云フモノモ考ヘテ參ラナケレバナリマセヌ、ソレハ絲ノ利用ノ方向ニ付テモ在來ノヤウナ方向ヘノ優良ナ生絲ヲ作ッテ行クト云フコトモ一ツノ大キナ方向デ、私ハ之ヲ直チニ廢メテシマハウトハ考ヘテ居リマセヌ、此方面モ進歩サセナケレバナラスト思フノデアリマスガ、又新規用途等ノ研究ガ進ミ、是ガ實現サレ、隨ヒマシテハ蠶種モ亦新シイ方向ニ適スルヤウニシテ行カナケレバナラスト思ヒマス、蠶種ノ一ツノ方向ヘ向ッテノ統一、又蠶種ノ色々

ナ組合セノ上ニ於ケル一ツノ統制ト云フヤ
ウナコトモ考ヘラレルノデアリマス、又蠶
種製造ノ過程、隨テ蠶種ノ單純ナル種類ノ
統制ト云フバカリデナク、出來上ル蠶種ノ
出來榮エノ統制ト云フヤウナ事柄モ、之ニ
依ッテ考ヘラレルコトモアラウシ、又是ハ常
ニサウ云フコトガ實施サレ得ル、或ハ實施
スルガ適當デアルト考ヘラレルノデアリ
マセヌケレドモ、若シ特殊ナ事情ニ際會シ
タ場合ニハ、蠶種全體ノ數量等ニ付キマシ
テモ或ル程度ノ統制ヲ考ヘナケレバナラヌ
ヤウナ場合ガ起ルカモ知レヌト思フノデア
リマス、併ナガラ是ハ先程モ當面ノ問題ト
シテ夏秋蠶ノ問題ナドニ付テ申シマシタヤ
ウニ、單純ニ唯一片ノ制令ヲ以テ蠶種ノ數
量ヲ簡單ニ制限スルト云フコトニハ參リ
マセヌ、養蠶家其他ノ心持ヤ步調ガ一致シ
テ來タ場合デナイト、中々行ハレルコトデ
ハアリマセヌ、サウ云ッタヤウナ種類ノ統制
ト云フ事柄モ、特殊ノ場合ニハ考慮サレル
コトデアルト思ッテ居ルノデアリマス、原蠶
種ヲ國家ガ管理シマス結果蠶種ノ統制ヲ圖
ルト云フ、統制ノ内容ハ決シテ單一デハナ
イト云フコトヲ御諒承願ヒタイト思ヒマ
ス

○横川委員 只今ノ御説明中ニ品種及數量

ノ問題ガゴザイマシタガ、蠶種ノ價格ニ關
シマスル統制ニ付キマシテハ御考ヘニナッテ
居ラナイノデアリマス、又本案ノ第十四
條ニ統制上必要ナル事項ト云フノゴザイ
マスガ、此統制上必要ナル事項ト申シマス
ノハ大體ドウ云フ點ヲ指スモノデゴザイマ
スカ、此點ヲ一ツ……

○後藤國務大臣 統制ト云フコトハ價格ニ
對スル問題ハ含マナイカト云フ御話デアリ
マスガ、是モ含シテ居ル積リデアリマス、
併ナガラソレデハ蠶種ノ價格ヲ直グ此法律
ガ統制スル積リカト云フコトニ付テハ、サ
ウハ直グニハ參リ兼ネルノデアリマス、段
段原蠶種ガ普及シ、飼育ノ方法モ統一シ、
漸次經費ノ節減モソコニ見ラレルト云フヤ
ウナ事情ニナリマス、サウ云フコトモ相
當ニ考ヘラレル時期ガ參ルノデハナイカト
考ヘテ居リマス、其外必要ナル事項ト云フ
意味ニ付キマシテハ尙ホ政府委員カラ……

○井野政府委員 大體今大臣ガ御答ニナリ
マシタノデ統制ノ意味ガハッキリシタト思
フノデアリマスガ、其狙ッテ居リマスルコ
トハ先程大臣カラ御説明ノゴザイマシタヤ
ウニ、地方ニ於キマシテ當業者ガ自治的ニ
色々ノ生産統制ノ施設ヲヤリマス時ニ、國
家ノ助成手段トシテ一ツノ目安ヲ立テルト

云フコトガ建前デアリマス、其際ニ於キマ
シテハ絲量ノ制限ノ外ニ價格ノ制限モ行政
命令ニ依ッテヤル考デアリマス

○横川委員 統制ニ關スル觀念ノ問題ハ大
體明瞭シタト思ヒマス、次ニ御伺致シタイ
ノハ此法案ニ依リマシテ蠶種ノ統一ガ期セ
ラレマスル結果ト致シマシテ、現在マデ多
様ナ蠶種ニ對シマスル複雑ナ多岐ニ互ッテ
ノ飼育方法ハ、或ル限定サレタ數種ノモノ
ニ統一サレルト思フノデアリマス、一
方カラ見マスルナラバ養蠶飼育上ノ非常ナ
ル變革ヲ個人々々ニ與ヘルモノデアルト思
フノデアリマス、斯様ナ變革ハ蠶飼育上
ニ非常ナル困難モ生レ得ルモノデアルト思
フノデアリマス、國家ノ特別ナル法律
ニ依リマシテ斯様ナ變革ヲ餘儀ナクセラレ
ルト云フコトハ、勿論大目的カラ致シマス
ルナラバ已ムヲ得ナイコトデアリマス、
ガ、併シ此結果ニ依リマシテ經濟的ノ損
失ヲ一時的ニモセヨ民間ニ與ヘマスコト
ハ、國家ニ於テ左様ナコトノナキヤウ善
處セラレルノ用意ガアッデ然ルベキコトダ
ト思フノデアリマスガ、此缺陷ヲナカラシ
ムル爲ニ飼育指導員等ノ國庫助成若クハ國
庫ニ於ケル配置等ハ、結果ニ於テ必然的ニ
必要事ト思フノデアリマス、之ニ關スル

御用意ガ特ニゴザイマスカ否カ御伺致シマ
ス

○後藤國務大臣 只今ノ御質問ハ御尤ナ御
尋デアルト思ヒマス、政府ニ於キマシテモ
原蠶種ノ國家管理ヲヤリマシテ、蠶種ノ段
段統制ヲ圖ッテ參リマス、其事ノ推移ヲ非
常ニ急激ニヤルコトハ避ケナケレバナラヌ
ト思ッテ居リマス、併ナガラ今日デハ養蠶ノ
技術モ非常ニ進歩シテ參リマシテ、優良ナ
品種ノ普及モ段々皆ニ諒解ヲサレテ參ッテ
居ルノデアリマス、政府ガ今回ノ原蠶種
國家管理ノ法律ヲ出シマス共ニ、是ガ實
行ノ計畫ヲ立テマシタヤウナ順序ヲ以テ參
リマスルナラバ、非常ニ急激ナ變化ヲ與ヘ
テ、飼育方法其他ニ非常ナ齟齬ヲ生ジサセ
ルト云フヤウナ結果ハ少イノデハナイカト
考ヘテ居リマス、ガ併シソレト同時ニ、ヤ
ハリ飼育上ノ技術ノ發達等ヲ圖リマスルコ
トハ、過去ニ於テモ必要デハアリマスガ、
殊ニ此原蠶種ヲ斯ウ云フ具合ニ統制シテ
行キマスレバ、其統一サレタ蠶種ニ適スル
ヤウニ飼育其他ノ事柄ヲ進歩統一サシテ行
クヤウニ圖ルコトハ是非ハ致サナケレバ
ナラヌト思ッテ居リマス、隨テ是ガ指導ノ衝
ニ當ル技術員等ノ問題モ深キ注意ヲ拂ハナ
ケレバナラヌト思ッテ居リマス、政府ニ於キ

マシテモノソレ等ノ點ニ付テ出來ルダケノ考慮ハ拂ヒタイト思ッテ居リマス、唯一般財政上ノ關係等カラ、政府方直接之ニ力ヲ添ヘルコトガ十分ニハ參リ兼ネマスコトヲ遺憾ニ考ヘテ居リマス、出來ルダケ政府モ其方面ニ努メテ參リタイト考ヘテ居リマス

○横川委員 モウ一點御尋致シマスルガ、本案實施後ニ於キマシテハ、御示シナリマシタ原蠶種國家管理ノ概要ト云フ參考書類ノ中ノ蠶絲業統制上ノ利益ト云フ項ニ、其品種ノ改良ノ結果、絲量ガ在來ノモノニ較ベマシテ二〇%乃至三〇%ニ及ブ増産ノ結果ヲ致スヤウニ書カレテ居ルノデアリマスガ、若シ左様ナ絲量ノ増加ガ一般的ニ行ハレマスト云フコトニナレバ、現在高橋君ノ御質問等ニ對シマシテモ過剩繭ガ非常ニ多カルベキ見込ガアルノデアリマスガ、益、其過剩繭ヲ招來シテ、是ガ及ブ所ハ絲價ニモ影響シ、繭價ニモ及ボスト云フコトデアリマシテ、非常ニ迷惑ヲ蒙ルヤウニナルヤノ疑モアルノデアリマスガ、此點ニ付キマシテ政府ハ特ニ進ンダ所ノ之ニ順應スベキ御考ガアリマスカドウカ、又此法案ニ對シマシテ斯様ナ結果ガ招來スルモノト御豫想ニナッテ居リマシタカドウカ、其點ヲ御同致シマス

○後藤國務大臣 是モ御尤ナ御質問御注意ノ點デアルト思ヒマス、生絲ノ需要ノ狀況、生絲トノ競争品トナルベキ他ノ生産品ノ發達ノ狀況等ガ、今日ノ如キ有様デナイ時代ニ於キマシテハ、サウ云フ懸念ハ非常ニ少ナカッタコトデアラウト思ヒマス、併ナガラ今日ノヤウナ事情ニナッテ參リマスト云フト、唯増産ヲスルコトニナルト云フコトガ、經濟的ニ利益ニナルカドウカト云フコトノ疑問ニナル場合ガ随分多イノデアリマス、併ナガラ其點ハ今後獨リ當局ノミナラズ、生産ノ當事者デアアル人達モ能ク注意ヲサレテ、結局同ジ經費ヲ以テヨリ多クノ生産ヲ致シマスナラバ、其絲量ニ對スル代價ガ假ニ變ラナイト致シマシテ、ソレニ要スル各種ノ浪費ハ少クナル譯デアリマス、隨テ其少クナル浪費ヲ他ノ方面ニ轉用シテ、養蠶ノ專業デアリマス處ハ、直チニ此專業ヲ副業ニ轉換サセルト云フ譯ニハ行キマスマイガ、他ノ産業ニ幾ラ力持ッテ行ク、詰リ養蠶ノ完全ナル專業カラ幾ラカ多角的ナ經營ニ移ッテ行ク、又副業ノ主タルモノニシテ居ル處ハ、其副業トシテ居ルモノニ變化ヲ加ヘルト云フヤウニ、農家或ハ養蠶家等ノ經濟、經營ノ上ニ於ケル仕事ノ配合ヲ按排シテ行クコトガ考ヘラレテ來

ナケレバナラスト思ヒマス、此絲量ノ——良イ繭ガ取レルヤウニナルト云フ結果ハ、只今申シタヤウナ推移ヲ幾ラ容易ナラシムル條件ヲ備ヘルコトニナルノデハナイカト思フノデアリマス、尙ホ此點ニ付テ當局ニ於テ考ヘタ點デ補足スルコトガアリマスレバ、政府委員カラ申上ゲサセルコトニ致シマス

○横川委員 只今ノ答辯デハ、事柄ニ關シテ明瞭ナ觀念ヲ得ルコトハ出來ナカッタノデアリマスガ、是ハ此程度ニ止メテ置キマシテ、モウ一點御同致シマス、大臣ハ先程ノ御答ニ依リマシテ、本案ニ企圖セラレマシタル統制ハ、品種ノ整一ト云フヤウナ問題バカリデナク、品種ノ向上、良化ト云フコトモ含ムノデアル、斯様ニ仰セラレタノデアリマス、一應ハ御尤ナヤウデアリマスガ、實ハ此案カラ申シマスルナラバ、品種ノ性質ト云フコトハ企圖シ得ラレマスケレドモ、品種ヲ良化シテ行クト云フコトハ、或ル一定ノ統制ガ行ハレマシタ後ニ於テハ出來ナイコトダト思フノデアリマス、民間ニ於キマスル品種ノ新研究ト云フモノハ、此法案ニ依ッテ稍、杜絶セラレルガ如キ虞ガアリマスルシ、又若シ品種ノ研究ト云フコトニナリマスルナラバ、此案ニ關シマセヌ他

ノ政府ノ施設ニ依ッテ研究致シマス以外ニハ、更ニ其向上ノ途ハナイヤウニ考ヘラレマス、斯ウ云フ點カラ申シマスト、今後ニ於キマスル需要地ノ新需要ニ應ズル、所謂先見的ノ處理ガ非常ニ困難ニナルノデハナイカト思フノデアリマス、又新需要ニ應ジマスル所ノ敏速ナル處置モ甚ダ困難ニナルヤウナ結果ニナルノデハナイカト思フノデアリマス、又此案ニ依リマシテ當然結果致シマス所ノ民間ノ蠶絲業ニ於キマスル研究ト云フモノハ、如何ナル方便ニ依リマシテ之ヲ阻止セザル御計畫ガアリマスルカ、其點ヲ御同致シマス

○後藤國務大臣 スウ云ッタヤウナ國家ガ品種ノ統制ヲ圖ルト云フヤウナ、仕事ヲ全般的ニ致シマス時ニ生ズル、一ツノ懸念ニ付テ今御話ガアッタ譯デアリマス、是ハ自由ノ競争ニ委ネテ、蠶種ヲ作りマス者ガ、出來ル限り品種ヲ作ルコトニ依ッテ自分ノ事業ノ隆昌ヲ圖ラウ、自分ノ關係ノ仕事ノ發達ヲ圖ラウト云フ努力カラ生ズル所ノ品種ノ改良ト云フ點ニ、過去ト少シモ變リナク支障ハ生ジナイカト云フト、是ハ多少ノ變化ハ私ハアルト存ジマス、併ナガラ本案ニ於キマシテハ、ソレニ付テモ一方ニハ出來ル限リノ用意ハ致シテアリマス、民間ノ今日マ

フヤウニ、一カラ十マデ悉ク此儘デハ
置ケナイト云フヤウナ状態ニアルト思

フノデアリマス、各方面ニ對シテソレ
ソレノ方策ガ講ジラレナケレバナラヌ
コトデアラウト思ヒマスガ、併シ是ハ
中々困難ナ事デアリマシテ、總テノ部門
ニ對シテ、ソレノ方策ヲ立テルト云
フヤウナコトハ中々困難デアル、殊ニ今

日ノ如キ財政狀態ニアルマシテハ、是ハ言フベクシテ、行ヒ得ナイコトデアリマス、

更ニ私共考ヘマスルノニハ、又實際上ノ效
果ノ上カラ致シマシテモ、各部門ニ對シテ
心ヲ配ッテ、總テノモノニ適當ナ方策ヲ講ズ

アルガ、勞多クシテ效ガ少イ、矢張ソコニ此重點ヲ捉ヘテ、我國蠶絲業ノ將來ヲ考ヘ

バナラスト云フコトヲ擲ンデ、ソレヲ中心
トシテノ蠶絲對策ヲ考ヘテ行クコトガ必要

アリマス、農林當局ニ於テモ確ニ其點ニ對シテ御考ガ御有リニ違ヒナイト思フノデアリマスガ、其點ニ對シテドノヤウナコトヲ

御考ヘニナッテ居ルカヲ御同致シタイノデ
アリマス、私共過去ノ蠶絲業ニ對スル我ガ
政府ノヤリ來リヲ振返ッテ考ヘテ見マスル

ト、明治大正ノ時代ニハ専ラ生産増殖、生産増加ト云フコトニ重點ヲ置イテ居ッタト云フヤウニ考ヘラレル、昭和ノ時代ニナッデカラハ、専ラ價格ノ維持ト云フコトニ重點ガ置カレテ居ッタヤウニ考ヘラレルノデアリマス、勿論斯ウ申シマシテモ、諸般ノ事ニ力ヲ致シテ居ッタノデアリマスガ、重點ガ其處ニ置カレテアッタト、斯ウ云フヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、是カラ先ハ此生産増殖ト云フヤウナコトニ重點ヲ置キ得ナイ、又價格ノ維持、價格ノ品上ゲト云フヤウナコトニ專念スルコトノ出来ナイ情勢ニアルコトハ言フ迄モナイノデアリマスガ、

ハ出來得レバ擴張ヲシ、更ニ新シイ方面ノ開拓ヲシテ行クト云フコトデアリト思フノデアリマス、其外色々ナ點モアリマスケレドモ、要約シテ申シマスルト、此三點ニ歸スルノデハナイカト思ヒマス、所ガ生産費ノ低下ト云フコトヲ申シマスルト、是ハ矢張今ノ蠶種カラ、桑カラ、養蠶カラ、製絲工程ニマデ關係ヲシテ來ル問題デ、ソレノノ部門ニ於テ考ヘラレバナラヌ問題デアリマス、他ノ養蠶家ノ方面カラ見テノ生産費ノ低下ト云フ問題ハ、非常ニ困難ナ問題デアリマス、唯生産費ガ低下スルト云フコトニ依ッテ、繭ノ値段ガ安クナルト云フコトハ、製絲ノ方面カラ見レバ非常ニ便利ガアリマス、併シソレニ依ッテ農家ノ勞働ノ機會ト云フモノヲ少クスルト云フコトニ止マルナラバ、其餘タ勞力ヲ農家ガ使フ他ノ方面ヲ玆ニ開發スルト云フコトガ伴ハナケレバ、必シモ農民ノ利益ニハナラナイヤウナ結果ニナルノデアリマス、隨テ生産費ノ低下ト云フヤウナ問題モ、製絲工程ニ於ケル生産費ノ低下ト云フ問題ハ、今後マダ色色考ヘル餘地ガアルノデハナカラウカト存ジマス、ガ是ハ寧ロ工業のナ過程ニ於ケル生産費低下ノ問題デアリマス、併シ是同

○後藤國務大臣 御話ノ如ク蠶絲業ノ將來ニ對スル根本的ノ對策ハ、蠶絲業ガ色々ナ階梯ニ分レテ居ルガ如クニ、ソレノノ部門ニ付テノ開拓ヲスル必要ガアルノデアリマスガ、併シ今後ニ於テ、特ニ留意ヲシナケレバナリマセヌ點ハ、一面ニハ生産費ノ低下ノ問題デアリト思ヒマス、一面ニハ販賣ノ方面ニ於ケル統制ニ依ッテ、價格ノ安定ヲ圖ルト云フコトデアリト思ヒマス、尙ホ第三ニハ生絲需要ノ現在ノ地歩ヲ維持又

時ニ養蠶ニ直接間接ニ關係スル部門ニ於ケル生産費ノ低下、桑園ノ改良等ニ依ル生産費ノ低下ハ、最モ是レ效果ノ大キイ問題デアリト思ヒマス、更ニ今ノ原蠶種管理其他ノ事柄カラ、品種ノ統一、飼育ノ關係カラ、色々ナ詰ラナイ、餘計ナ費用ノ省ケルヤウニスルト云フヤウナ問題モ考ヘラレマセウシ、同時ニ之ニ依ッテ若シ養蠶家ノ勞力ガ節約サレルナラバ、ソレガ更ニ他ノ方面ニ利用サル、ヤウナ方法ヲ、或ハ養蠶ニ直接關係ノアル事、或ハ其他ノ事ニ利用サレルヤウナ方法ヲ考ヘナケレバナリマセヌシ、又若シ幸ニシテ新規用途ノ方面ニ於ケル繭ノ消費ガ發展ヲ致シマスルナラバ、是ハ又同ジ養蠶方法トシマシテモ、是迄ノ養蠶ノ飼育方法トハズツ違ッタ粗放ナ方法ニ依ッテ、相當ナ效果ヲ擧ゲ得ラレルヤウニナルカモ知レヌト思ヒマス、今迄申上ゲマシタコトヲ重ネテ要約シマスレバ、生産費ノ低減、販賣ニ關スル統制、ソレカラ需要ノ擴張ト云フヤウナ點ニ重點ヲ置イテ考ヘナケレバナラスト存ジテ居ル譯デアリマス

○助川委員 只今農林大臣ノ御答辯ヲ伺ヒマシテ、私共大體共鳴シ得ルノデアリマシ、ソコデ私重ネテ御同致シタイコトハ、生絲ノ販賣統制ヲスル、斯ウ云フ事モ最大ノ目的ハ此販路ノ擴張ト云フコトニアルノ

デハナイカト、斯ウ思フノデアリマス、質問ノ順序トシテ、自分ノ考ヲ簡單ニ申上ゲルコトガ宜カラウト思フノデアリマスガ、私ハ蠶絲對策トシテノ根本方針ハ、積極的方面ヲ言フナラバ、是ハ販路ノ擴張、新規用途ノ開拓ト云フコトデナケレバナラヌ、サウシテ消極的方面ヲ言フナラバ、ソレハ我國ノ蠶絲業ノ機構ノ改善ト云フコトデナケレバナラスト云フヤウニ私ハ信ジテ居ルノデアリマス、先程質疑應答ノ間ニ、生産制限モ時ニハ已ムヲ得マイト云フヤウナ御考ガアルカノヤウニ想像サレタノデアリマス、併シ是ハ實際問題トシテハ、實行極メテ困難デアリト私ハ信ジテ居リマス、一面世界ニ於ケル生絲ノ消費ノ狀況ヲ見マスト、織物用纖維ノ世界ノ消費高ノ、生絲ハ百分ノ一ニモ及バナイ、千分ノ九位ノ量デアルト承知シテ居ルノデアリマス、私共斯ウシタ狀況ノ下ニアッテ、天然絹絲ノ販路開拓ノ餘地ハ相當アルト、斯ウ考ヘルノデアリマス、今申上ゲマシタヤウニ、生産制限ノ困難ナル狀態ニアル場合、私共販路ノ開拓ニ向ッテ最善ノ努力ヲ致スト云フコトハ、是ガ蠶絲對策トシテノ國策ノ重點デナケレバナラナイト思フノデアリマスガ、左様ニ考ヘル場合ニ、先程加藤君ノ言ハレタ海外ニ於ケ

ル宣傳ハ、極メテ重要ナ問題デアルト思フ
ノデアリマス、簡單ナ應急施設デアルト
カ、或ハ又簡單ナ政策デアルトカ云フヤウ
ナ問題デハナクシテ、販路ノ開拓、需要ノ
増進ト云フコトガ、蠶絲業ノ根本對策トシ
テ考ヘナケレバナライ場合ニ於テ、其方
策ニ關シテ、閣僚ノ間ニ意見ノ齟齬ガアル
ト云フヤウナコトハ、私共非常ニ遺憾ニ思
フノデアリマス、其點ニ對シテ、即チ今後
ノ販路ノ開拓、需要ノ増進ト云フコトガ、
蠶絲國策トシテノ最モ重要ナ問題デアルト
云フコトニ對シテ、農林大臣ノ御考ヲ
ハッキリ御同致シテ置キタイノデアリマス

○後藤國務大臣 販路ノ維持、進シデハ其
擴張、更ニ新規用途ノ開拓ト云フヤウナコ
トガ蠶絲業ノ基本對策ノ重要ナル一方面デ
アルト私ハ考ヘテ居リマス、其一ツノ手段
トシテ、海外ニ於ケル生絲ノ宣傳ノ問題ガ
考ヘラレルコトデアラウト思フノデアリマ
ス、唯之ニ關シテ政府ニ於テモ色々熟議ヲ
遂ゲマシタ結果ガ、直チニ政府ガ其事柄ニ
助成ヲスルト云フヤウナ運ビニ、此際參リ
兼ネテ居ルト云フコトヲ申上ゲタ譯デアリ
マス、此販路ノ維持擴張、進シデハ新規用
途ノ開拓ト云フヤウナ事柄ニ付テハ、色々
ナ方法ヲ講ジテ努メテ參リタイト云フ積リ

デ居リマス、只今政府ハ滯貨生絲ノ處置等
ニ付キマシテモ、サウ云フ方面ヘノ便宜ヲ
計ラヘル場合ニハ計ルヤウニ致シテ居ル譯
デアリマス

○助川委員 農林大臣ニ此際今ノ問題ヲモ
ウ少シハッキリ御同致シタイノデアリマ
ス、販路ノ擴張ヲ蠶絲ノ根本國策トシテ、
是カラ進シテ行クト云フコトノ御信念デア
ルカドウカト云フコトヲ、モウ一度ハッキ
リ御同致シテ置キタイノデアリマス

○後藤國務大臣 販路ノ擴張ト云フコトヲ
對策ノ重要ナルモノ、一ツトシテ考ヘテ參
リタイト思フデ居リマス、之ニハ今マデ生
絲ノ需要ヲ多ク見ナイ地方ニ對シテノ販路
ノ擴張ト云フコトモ考ヘラレルシ、又生絲
ヲ消費シテ居ル國々ニ於ケル販路ヲ更ニ擴
張スルト云フコトモ考ヘラレマス、併シ此
方面ノコトハ中々困難デ、又我國ダケガ考
ヘテモ、思フ通りニモ參リ兼ネルノデアリ
マス、ソコデ只今同フノ當業者等ガ宣傳ヲ
ヤラウト云フ場合ニ、此方モソレニ力ヲ合
セテ行クト云フ問題ガ生ズル譯デアリマ
ス、私ハ此事柄ガ當業者等ノ努力ニ依ッテ
行ハレマスコトハ洵ニ結構ダト思ッテ居リ
マス、唯進シデ國家ガ之ニ助成スルト云フ
問題ニ付テノ經緯ヲ、先程來加藤君ノ御質

間ニ對シテ申上ゲタヤウナ譯デアリマス
○助川委員 諄々シク重ネテ申上ゲル必要
モナイノデアリマスガ、私我國ノ蠶絲業ノ
現況カラ考ヘテ、販路ノ維持開拓ト云フコ
トハ最モ根本的ナ國策デナケレバナライナ
イ、斯様ニ信ジテ居ルノデアリマス、ソレ
ガ爲ニハマダ海外ニ對シテノ宣傳ガ必須ノ
方策デアアルコトヲ確信致スノデアリマス、
ドウカ大臣ガ此點ニ對シテ更ニ一段ノ御考
慮ヲ戴キタイト云フコトヲ此際御願致シテ
置キタイノデアリマス

次ニ私ハ殆ド無政府狀態ニ混亂シテ居ル
今日ノ蠶絲業ノ機構ヲ此儘ニシテ置イタノ
デハ、其上ニ色々ノ工作ヲ施シテモ多クノ
效果ガ擧ラナイ、左様ニ私ハ考ヘテ居ルノ
デアリマス、今日養蠶家、又製絲業者モ、
亦問屋業者モ、悉ク此蠶絲業ニ係ッテ居ル
各種ノ業者ハ、最モ冒險ナ投機業デアルト
云フヤウナ現在ノ狀態デアリマス、更ニ又
製絲業者問屋等ハ悉ク弱リ切ッテ、殆ド瀕死
ノ狀態ニ陥ッテ居ルト云フヤウナ今日ノ狀
態デアリマス、サウシテソレ等ノ業者ガ全
ク無統制ナ混亂狀態ヲ呈シテ居ル、斯カル
狀態ヲ此儘ニシテ置イタノデハ、其上ニ色
色ナ工作ヲ施シテモ、ソレ等ノ工作ハ效果
ガ洵ニ少イ、政府デハ既ニ茲ニ原蠶種ノ國

家管理案ヲ提案サレ、更ニ先程ノ大臣ノ御
說明ニ依リマス、近ク生絲ノ販賣統制ニ
關スル法案ヲ御提案ニナルト云フヤウナ御
話デアリマシタガ、ソレ等ノモノモ勿論爲
サルニハ勝ルコト萬々デアリマスガ、此
狀態ヲ此儘ニシテ置イタノデハ、私ハ效果
ガ極メテ乏シイヤウニ思フノデアリマス、
今日ノ此蠶絲業ノ機構ヲ根本的ニ改善スル
ト云フコトガ必要デアアル、ソレガ爲ニハ私
共ハ生繭ノ取引禁止ヲ斷行スルナラバ、ソ
レニ依ッテ蠶絲業ノ機構ヲ非常ニ改善シ得
ル、斯様ニ思フノデアリマス、左様ニ致シ
マシテ、此現在ノ混亂シタ、サウシテ極メ
テ投機的ナ蠶絲業ノ現狀ヲ改メル點ニ對シ
テノ當局ノ御所見ハ如何デアリマスカ、御
同致シタイノデアリマス

○後藤國務大臣 繭ノ取引ヲ乾繭ノ取引ニ
スル、生繭ノ取引ヲ禁ズルト云フ事柄ハ、繭
取引ノ自由ニ行ハレマスル範圍ニ於キマシ
テハ、私ハ可ナリ理想的ナ方法デアラウト
思ヒマスガ、乾繭取引ヲ一般的ニ強制致シ
マス爲ニハ、乾繭ノ設備ト云フモノガ十分
ニ樹立サレナケレバナラスノデアリマス、政
府ニ於キマシテモ年來乾繭設備ノ設置ヲ獎
勵致シテ參ッテ居リマス、出來得ル限リ此速
度ヲ早メテ大體一般ノ取引サレル繭ガ乾繭

ニ依ッテ取引サレト云フコトニ到達致シタイ積リデ居リマス、理想トシテハサウ考ヘテ居リマスガ、唯直チニ之ヲ實行致シマスニハ、マダ乾繭ノ設備ト云フヤウナモノガ非常ニ今日不十分デアリマス、出來ル限リハ促進ヲ圖リマシテ、一日モ早ク左様ニ致ス時機ノ來タルヤウ進メテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○助川委員 大臣モ私ノ考ヘテ居ル點ニ對シテ御異議ナイヤウナ只今ノ御意見デアリマシタガ、生繭取引ノ禁止ト云フヤウナコトハ、之ヲ決定致シマシテモ、直チニ實行スルト云フコトハ困難デアリマシテ、相當ノ猶豫期間ヲ置カナケレバナナイ事デアラウト思フノデアリマス、隨テ若モソレガ是ナリト考ヘラレルナラバ、ソレノ實行ノ期間ハ少クモ三年五年ノ猶豫ヲ必要トスルモノ、ヤウニ思フノデアリマス、此際ソレニ對スル法律案ノ提案等ガ困難デアリトスルナラバ、適當ナ方法ニ依ッテ、大臣ガ指導精神ヲ此際明ニサレテ、養蠶業者ニ將來嚮フ所ヲ明ニ示シテ戴クコトガ適當デハナイカト思フノデアリマスガ、此點ニ對シテノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○後藤國務大臣 將來乾繭ノ取引ヲ、特殊ナ例外ノ場合ヲ除ク外、一般的ニ行ハレル

ヤウニ致シタイト云フ考ヲ有ッテ居リマス、サウ云フ方向ニ向ッテ、農林當局トシテハ努力ヲ續ケテ參リタイト思ッテ居リマス、今御話ノヤウニ直チニ實行ガ出來マセヌ爲ニ、一定ノ計畫ヲ立テマシテモ、或ハ五年前後ノ年月ヲ猶豫シテ掛ラナケレバナヌト思ヒマス、併ナガラ例ヘバ五年後ニ之ヲ必ズ實行スルト云フ方針ヲ立テマスルナラバ、來ルベキ年度カラ其方針ニ適合スルヤウナ準備處置ヲ、チャント計畫ニ進メテ參ラナケレバナヌノデアリマス、サウ云フコトニ付テモ農林當局トシテハ色々考慮モシ、腹案モ有ッテ居リマス、其實現ヲ圖リタイト云フ努力モ試ミテ見タコトデアリマスケレドモ、何分今日ノ財政關係等カラ見マスト、直チニ明年度カラ的確ナ計畫ヲ致シテ、年月ヲ切ッテ是ガ實施ヲスルト云フコトハ、此場デ今日申上ゲルト云フ譯ニハ參リ兼ルノデゴザイマス、吾々トシテハ成ベク近イ時機ニ是ガ實現ヲ圖リタイト云フ考デ努力ヲ致シ、一定ノ計畫ノ下ニ著々トシテ進ムコトガ出來マスル茲ニ具體的ノ方策ガ立チマスルナラバ、何時カラヤル積リダト云フヤウナコトモハッキリ申上ゲタイ積リデアリマスガ、今マダ其處マデ參ッテ居ラナイノデアリマス

○青木委員 先程來色々質問應答ヲ伺ッテ居マシテ、私大キナ疑問ヲ有ツヤウニナリマシタノデ、一寸伺ヒタイト思ヒマス、殊ニ只今助川君ノ質問ニ對スル御答辯ニ關聯致シマシテ、我國ノ蠶絲業ノ國策トシテ中心指導方針ニ觸レテノ問題デゴザイマシタガ、其重點ヲ販路ノ維持擴張、新規用途ノ開拓、御尤ノコトデスガ、私ノ感じタコトハ、今日ノ我國ノ蠶絲業ノ一番ノ弱點ハ、買値ガアッテ賣値ガナイ、即チ亞米利加ノ相場次第デ左右サレテ、養蠶業マデソレデ追拂ハレテシマフト云フ所ニ弱點ガアルノデ、販路ノ維持擴張ト云フ點モ、亦國內的ニ或ハ加工シテ輸出ノ新販路ヲ作ルト云フコトニ關聯シテノ新規用途ノ開拓ト云フ點カラ見マシテモ、今日ノヤウナ買値バカリデ賣値ガナイ、コチラノ商品ヲ維持スル力ガナイ、シテ見レバ、新規用途ノ開拓ヲ今後ナサルニシテモ、之ヲドウシテ工業化スルカ、繭ヤ絲ノ安イ時ニ於テハ、織物ニシテモ其他ノ加工品ニシテモ引合フベキモノガ、一度橫濱或ハ神戸ノ亞米利加トノ取引ニ於テ相場ガ上レバ、直チニ内地ノ工業的ノ原料マデモ上ッテ來ル、ソレデドウシテ新規用途ノ開拓ガ安心シテ出來ヤウカト云フ點ヲ考ヘザルヲ得ナイ、隨テ今日ノ蠶絲

業ノ不安ハ、養蠶業者、製絲家、問屋、輸出業者、又工業家、悉クニ振掛ッテ來テ居ル所ノ全面的ノ不安デアル、一方又人絹トノ市場ニ於ケル所ノ競争關係モ、亦此生絲ノ不利ナル點ハ價格ノ不安定デアルト云フ點ニ歸著スルノデスカラシテ、販路ノ擴張、或ハ新規用途ノ開拓ハ、一ツノ大ナル目的、嚮フベキ指標デハアリマスケレドモ、政府トシテ指導スル所ノ、最モ今日善處シナケレバナヌ急務ハ、價格ノ安定ト云フ所ニ目星ヲ置カナケレバナヌノデハナイカ、然ラバ如何ニシテ價格ヲ安定シテ、蠶絲業ノ不安ヲ一掃シ得ルカト云フ點ニ付テハ、固ヨリ業界ニ於テモ、政府ニ於テモ、具體的ノ案ハナイ筈デゴザイマスガ、是ガ一番今日ノ場合ニ於ケル所ノ政府ノ蠶絲業對策ヲ立テル上ノ一番根柢デハナイカト私ハ思ヒマスルガ、販賣統制、或ハ色々政府ニ於テモ御考ヘニナッテ居テ、著々御立案ニナッテ居ルヤウデゴザイマスルガ、只今ノ助川君ト農林大臣トノ問答ノ國策ノ指導方針ト云フ點ノ目標ノ立テ方ニ依ッテ、其根柢ガ大變違ッテ來ルノデスガ、此處ヲハッキリシテ置カナケレバ今後ノ蠶絲業ノ針路ノ上ニ於テ非常ナ喰違ヒガ來ハセヌカト思ヒマスルガ、重點ヲ販路ノ擴張ト新規用途ノ開拓ト

云フ所ニバカリ置カル、ト云フ只今ノ御答辯デハ、少シク私ノ考ト違フテ來ル、而モ是ガ今日ノ重大ナ分岐點デアルト思ヒマスルガ、此點ヲ更ニ農林大臣ノ御答辯ヲ願ヒ、且ツ御考究ヲ願フテ、今日ノ場合デナクトモ、或ル機會ニ於テ統一サレタル御答辯ヲ願フデ置キタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 先程助川君ト質問應答ヲ致シマシタ時ノ言葉ノ使方ガ、或ハ足リナカッタノカモ知レナイト思ヒマスガ、生絲ノ販路ノ維持擴張、新規用途ノ開拓ト云フコトガ、蠶絲業ノ今後ノ對策ノ重要ナル一方面デアルト云フコトヲ申シタノデアリマス、助川君ノ論ゼラレタ趣旨モ、恐ラク其點ニアッタト思ヒマスガ、生絲市價ノ安定或ハ生産費ノ低下、斯ウ云フ點ヲ全般的ニ考ヘテノ蠶絲業ノ機構ノ改革問題ト云フコトヲ、助川君ハ論ゼラレタノデアリマシテ、何レヲ特ニ重シトシ、何レヲ特ニ輕シトシテ論ゼラレタモノデナイト私ハ助川君ノ御論ヲ拜承シタノデアリマス、私ノ考ヘテ居ル所モサウデアリマス、販賣ノ關係ニ於ケル生絲ノ市價ノ安定ト云フコトガ出來得マズレバ、是ハヤハリ我國ノ生絲對策ノ根幹ニ觸レル大キナ點デアルト思フノデアリマス、唯實際問題トシテ中々困難デアリマス、困

難デハアリマスルガ、午前モ申シマシタヤウニ、困難デアルト云フガ故ニ是ト闘ハズニ參ルト云フ譯ニハ行キマセヌノデ、政府ニ於キマシテモ銳意研究シ、又民間ノ各方面ノ關係ノ方々ニモ御考究ヲ願フテ居ルノデアリマス、其中ノ一部分ナリトモ成案ヲ得マスルナラバ、議會ニ提出シテ御協賛ヲ得テ實行ニ著手シテ參リタイト云フ風ニ今日考ヘテ居リマス譯デアリマス、此點ニ重點ヲ置イテ居リマスルコトニ於キマシテハ、他ノ重點ヲ置イテ居ル點ニ決シテ譲ラナイモノデアルト云フコトヲ明ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○助川委員 御忙シイ所ヲ恐縮デアリマスガ、一言ダケ御許ヲ願ヒマス、農林大臣ハ農村ノ工業化ヲ御熱心ニ主張シテ居ラレルヤウデアリマスガ、私共モ洵ニ適當ナ御考デアルト思フノデアリマス、併シ實際問題ト致シマス、中々此農村ニ適當ナ工業ヲ起スト云フコトハ困難デアリマス、而シテ製絲業ハ今日農村ニ於ケル最モ重要ナ工業デアル、製絲工業ハ大部分ハ農村若クハ農村ニ圍繞サレテ居ル地方小都市ニアッテ、地方農村ニ貢獻シテ居ルコトガ少クナイノデアリマス、此製絲工業ガ安全確實ニ堅實ニ經營サレルト云フコトハ、當ニ此蠶絲業ノ問

題ニ對シテ必要ナコトデアルバカリデナク、農村經濟ヲ潤ス點ニ於キマシテモ極メテ必要ナコトデアルト思フノデアリマス、農村ノ工業化ニ御熱心ナ農林大臣ハ、必ズヤ此點ニ對シテ深キ思ヒヲ致サレテ居ラルト思フノデアリマスガ、私此製絲工業ヲ安全確實ナ産業トシテ將來維持サセル爲ニハ、ドウシテモ此生繭ノ取引ヲ禁止スルト云フコトデナケレバナライ、斯様ニ思フノデアリマス、生繭取引禁止ノコトニ對シテハ、蠶絲業ノ機構改善ト云フ全面的ナ重大ナ效果ノアルコトヲ思フノデアリマスガ、此製絲業ヲ安全確實ナ産業トシテ維持サシテ行クト云フ點カラ致シマシテモ、極メテ必要ナコトデアル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノ點、固ヨリ農林大臣御考置キノコト、思フノデアリマスガ、ドウゾ是等ノ點ヲ併セテ御含ミ置キヲ戴キマシテ、適當ニ御考ヘテ御願致シタイト思フノデアリマス、大臣ニ對スル質問ハ私はデ打切りマス

○生田委員長 大臣ハ御承知ノ通り貴族院ノ方ヘ行クノヲ急ガレテ居ルノデスガ、大臣ニ對スル質問ハ成ベク今日打切りタイト思ヒマスカラ、簡單ニ要點ダケヲ御聽願ヒマス

○三善委員 モウ皆サンガ御聽ニナリマシタカラ、私ノ質問スル所ハ殆ドナイ位デアリマスガ、此經費ノ問題ニ付テ大臣ニ伺ッテ見タイト思ヒマス、原蠶種國家管理ノ爲メノ經費ハ豫算ニ見積ッテアルノデアリマスガ、是ガ完成スルマデニ、國デ原蠶種ヲ管理サレル上ニ付テドレダケノ費用ガ要ルカ、臨時費ガ幾ラデアッテ、經常費ガ幾ラ要ル、或ハ此原種ヲ縣ノ方ヘ移シテ、原蠶種ヲ縣デ作ル場合ニ、三割ヲ増加スレバ宜シイト云フ先程ノ御話デアリマシタガ、三割ヲ増加スル爲ニハ各地方費ガ幾ラ要ルカ、臨時費及經常費ニ於テ幾ラヲ要スルカ、此點ノ數ニ付テ、大臣以外ノ方カラデモ宜シウゴザイマスガ、承ッテ見タイト思ヒマス、尙又先ニ加藤委員ノ質問ニ對シマシテ、十三年度以降地方費ニ對シテ補助ヲヤルト云フコトヲ言ハレマシタガ、此原蠶種ノ國家管理ヲ成ベク早く完成セシメル上ニ付キマシテハ、十三年度カラ全部完成スルト云フコトニナリマスレバ、其以前ニ遡ッテ地方ニ於キマシテハソレノ設備ヲシナケレバナラスト思ヒマスガ、ソレニ付キマシテハ少クトモ十二年及十一年アタリカラ設備ヲシナケレバナヌコトニナッテ參リマス、ソレニ對シマシテ國ハ相當御補助ナサ

ルノガ適當デナイカト思ヒマスガ、財政ノ都合ト斯ウ言ハレマスガ、我國ノ財政ガ直チニ十三年度以降ニナッテ立直ルベキモノト云フコトハ、何人モ豫測モ出來ナイト思ヒマスシ、今日ノ情勢ヲ以テ參リマスレバ、

ヲ與ヘラレル必要ガアリハシナイカ、私ハ之ニ付テノ豫算ニ對スル大體ノ御意見ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

ヤハリ來年モ相當ナ赤字モ出マセウシ、ソレヲ待ッテ居ッテハ何時マデ經ッテモ原蠶種ノ國家管理ノ完成ヲ期スルト云フコトハ出來マセヌ、或ハ其間幾ラカ補助シテ行クト言ハレマシタケレドモ、統一シタル原蠶種ヲ完全ニヤル上ニ付キマシテハ、ドウシテモ——十三年カラ全部完成シタイト云フニ

付キマシテハ、ソレ以前ニ縣ニ於テ相當設備ヲシナケレバナラス、ソレニ對シテ如何ナル御考ヲ有ッテ居ラル、ノデアアルカ、又設備費ニ對シテハ補助スルト言ハレマシタガ、製造費ニ對シテハ補助ガナイヤウデアリマス、少カラヌ府縣ノ方デモ費用ガ要ルト思ヒマスガ、其製造費ニ對シテモ相當ナ補助ヲシテ戴カナケレバ、府縣ノ方デモ非常ニ迷惑ヲ致スト思ヒマス、今日地方費ノ増加致シテ居ルコトハ私ガ申ス迄モナイ所デアリマシテ、先ニハ或ハ國カラデモ交付金ヲヤラウト云フヤウナコト迄モアッタ位デアリマスガ故ニ、地方費ノ成ベタ増加致シマセヌヤウニ府縣ニ對シテモ製造費ニ對シテノ補助

モ——十三年カラ全部完成シタイト云フニ付キマシテハ、ソレ以前ニ縣ニ於テ相當設備ヲシナケレバナラス、ソレニ對シテ如何ナル御考ヲ有ッテ居ラル、ノデアアルカ、又設備費ニ對シテハ補助スルト言ハレマシタガ、製造費ニ對シテハ補助ガナイヤウデアリマス、少カラヌ府縣ノ方デモ費用ガ要ルト思ヒマスガ、其製造費ニ對シテモ相當ナ補助ヲシテ戴カナケレバ、府縣ノ方デモ非常ニ迷惑ヲ致スト思ヒマス、今日地方費ノ増加致シテ居ルコトハ私ガ申ス迄モナイ所デアリマシテ、先ニハ或ハ國カラデモ交付金ヲヤラウト云フヤウナコト迄モアッタ位デアリマスガ故ニ、地方費ノ成ベタ増加致シマセヌヤウニ府縣ニ對シテモ製造費ニ對シテノ補助

尙ホ大體蠶絲對策ニ付キマシテ伺ッテ置キタイト思ヒマスルコトハ、先程色々蠶絲問題ニ對シテノ根本方策ハドウスルカト云フコトニ付テ、或ハ販路ノ擴張ナリ、或ハ販賣ノ統制ナリ、或ハ生産費ノ低下ナリト云フコトヲ言ハレマシタ、又先程ハ價格ノ安定ト云フコトガ其最モ必要ナモノダ、斯ウ云フヤウナコトモ言ハレマシテ、其中心ガ何處ニアルカト云フコトハ一寸分ラナイ、サウ云フ事ヲ幾ツモ羅列サセマスレバ、ソレハ總テヤラナケレバナラスト云フコトニナッテ參リマセウガ、矢張一定ノ方針ヲ決メテ行カナケレバイカスト思ヒマス、今日ノ我國ノ蠶絲ノ惱ミト云フノハ生産過剩ニアルト思ヒマスガ、此生産過剩ニアルモノヲ今直チニ新販路ノ開拓ヲシヨウト致シマシテモ、或ハ人絹ノ進出等モアリマスカラ、是ト競争シテ行クト云フコトモ困難デアリマセウシ、餘程生産費ヲ低下シテ人絹ト競争スルト云フヤウナ考ヲ以テ行クカ、若クハ生産ノ制限ヲシテ唯價格ノミニ付テ相當ナ價格ヲ維持スルヤウニスルカ、何カ其處ニ方針ガナケレバナラスト思ヒマス、モウ

少シ其方針ニ對シテ的確ナル御方針ガアリマスレバ其點ヲ伺ッテ見タイト思ヒマス、唯先程ノヤウニ總テヲ羅列シテ下サイマシテモ、我國ノ蠶絲家ノ進路ガ何處ニ中心ヲ置イテ行クカト云フコトニ迷ヒハシナイカト思ヒマスガ故ニ、其國策トモ言フベキ大體ノ方針ガアリマスレバソレヲ承ッテ見タイト思ヒマス、以上ノ點ダケデアリマス

○後藤國務大臣 數字ニ互ル御尋ガゴザイマシタカラ、其點ヲ政府委員カラ御答致サセマス

○井野政府委員 原蠶種管理ニ關スル國ノ經費ト致シマシテハ、御手許ニ配付シテゴザイマスル比較表ニ依リマシテ、昭和九年度ニ四十九萬圓、約五十萬圓、其以後ハ先程申上ゲマシタヤウニ年々六十萬圓ヅ、國家カラ支出スルコトニナッテ居リマス、又之ニ依リマシテ府縣ノ支出シマス金ハ臨時費ニ於キマシテ大體二百萬圓デ、其半額ヲ國ガ補助致シマスカラ、百萬圓ヲ府縣ガ出スコトニナッテ居リマス、併シ是ハ十箇年間ニ出スノデアリマスカラ、年々府縣ハ十萬圓ヅ、出スコトニナル譯デアリマス、ソレカラ府縣ノ經常費ト致シマシテハ、此事業ヲ國ガ行ヒマス爲ニ、

從來ヤッテ居リマスル蠶種試驗費デアリマストカ、原原種製造費トカ云フヤウナモノガ節約サレマスノデ、府縣トシテモ經常費ガサウ多額ヲ要シナイノデアリマス、是ハ吾々ノ見込デゴザイマスガ大體經常費ガ百萬圓位殖エルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シソレハ今度原蠶種、原原蠶種ヲ製造致シマス時ニ、ソレヲ有償配付致シマスカラ、大體府縣ノ經費モ府縣自體ニ於テ支出スルコトナクシテ賄ヒ得ルコト、考ヘテ居リマス

○後藤國務大臣 根本方針ガ多岐多端ニ互ッテ居ルデハナイカト云フ御尋デアリマス、是ハ獨リ蠶絲業ノ關係バカリデナク、能ク農業對策ノ問題トシテ質問サレ、私モ御答ニ付テ多少困惑ヲ致シタノデアリマス、蠶絲業ニ付キマシテモ先程來申シマシタヤウニ其機構ガ非常ニ複雑デアリマシテ、サウシテ我國ノ農村ノ大多數ノ人々ニ關係ヲ有ッテ居リマシテ、一方ハ亞米利加其他ノ海外ノ市場ト云フヤウナ所マデ關係ヲ有ッテ居リマス、特ニ唯一所ダケヲ押ヘテ、ソレデ全體ガ能ク分ルト云フ譯ニハ參リ兼ねルノデアリマス、併シ小サク分ケレバ如何様ニモ小サクナリマスケレドモ、極ク大キナ方法ヲ假ニ採ッテ見マスと、一方ニハ販路

從來ヤッテ居リマスル蠶種試驗費デアリマストカ、原原種製造費トカ云フヤウナモノガ節約サレマスノデ、府縣トシテモ經常費ガサウ多額ヲ要シナイノデアリマス、是ハ吾々ノ見込デゴザイマスガ大體經常費ガ百萬圓位殖エルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シソレハ今度原蠶種、原原蠶種ヲ製造致シマス時ニ、ソレヲ有償配付致シマスカラ、大體府縣ノ經費モ府縣自體ニ於テ支出スルコトナクシテ賄ヒ得ルコト、考ヘテ居リマス

從來ヤッテ居リマスル蠶種試驗費デアリマストカ、原原種製造費トカ云フヤウナモノガ節約サレマスノデ、府縣トシテモ經常費ガサウ多額ヲ要シナイノデアリマス、是ハ吾々ノ見込デゴザイマスガ大體經常費ガ百萬圓位殖エルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シソレハ今度原蠶種、原原蠶種ヲ製造致シマス時ニ、ソレヲ有償配付致シマスカラ、大體府縣ノ經費モ府縣自體ニ於テ支出スルコトナクシテ賄ヒ得ルコト、考ヘテ居リマス

從來ヤッテ居リマスル蠶種試驗費デアリマストカ、原原種製造費トカ云フヤウナモノガ節約サレマスノデ、府縣トシテモ經常費ガサウ多額ヲ要シナイノデアリマス、是ハ吾々ノ見込デゴザイマスガ大體經常費ガ百萬圓位殖エルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シソレハ今度原蠶種、原原蠶種ヲ製造致シマス時ニ、ソレヲ有償配付致シマスカラ、大體府縣ノ經費モ府縣自體ニ於テ支出スルコトナクシテ賄ヒ得ルコト、考ヘテ居リマス

從來ヤッテ居リマスル蠶種試驗費デアリマストカ、原原種製造費トカ云フヤウナモノガ節約サレマスノデ、府縣トシテモ經常費ガサウ多額ヲ要シナイノデアリマス、是ハ吾々ノ見込デゴザイマスガ大體經常費ガ百萬圓位殖エルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シソレハ今度原蠶種、原原蠶種ヲ製造致シマス時ニ、ソレヲ有償配付致シマスカラ、大體府縣ノ經費モ府縣自體ニ於テ支出スルコトナクシテ賄ヒ得ルコト、考ヘテ居リマス

從來ヤッテ居リマスル蠶種試驗費デアリマストカ、原原種製造費トカ云フヤウナモノガ節約サレマスノデ、府縣トシテモ經常費ガサウ多額ヲ要シナイノデアリマス、是ハ吾々ノ見込デゴザイマスガ大體經常費ガ百萬圓位殖エルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、併シソレハ今度原蠶種、原原蠶種ヲ製造致シマス時ニ、ソレヲ有償配付致シマスカラ、大體府縣ノ經費モ府縣自體ニ於テ支出スルコトナクシテ賄ヒ得ルコト、考ヘテ居リマス

ノ擴張開拓ト云フモノガアリマスシ、一方ニハ生産費ノ低下ト云フコトガアルノデアリマス、其真中ニ販路ノ關係ニ付テ統制ガ取レル、價格ガ安定スルト云フ問題ガアリマスシ、是等ハ皆相關の關係ヲ有ッテ居リマス、價格ノ安定ト云フコトガ考ヘテ見マス時ニ於テモ、ソレダケデハイケナイ、今ノ販路ノ問題、一方ニハ生産ノ問題ガ關係シテ來マスシ、總テ關聯ヲ有ッテ居リマス、ソコデ三ツノ點ガアルトスレバ、先ヅ何處カラ著手シタラ宜イカト言ヒマス、今日ノ蠶絲業ノ現狀ヲ見マスと云フト、先ヅ一ツカラヤッテ後ハ又悠クリヤルト云フヤウニハ參リ兼ねマス、今申上ゲタヤウナ三ツノ要點ニ付キマシテハ、何程デモ出來ル點カラ、三ツノ要點ノ中ノ一部分ヅ、デモ著手ヲシテ行クコトガ、全體ニ影響ヲ有ツト云フヤウニ吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、折角サウ云ウ方針デ努力ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○三善委員 總テ相關の關係ニヤルノデアリマスルガ故ニ、ソレヲドレカラヤッテ行クト云フコトモ、或ハ的確ニ考ヘルコトガ困難デアルカモ知レスト思ヒマスガ、科學ノ進歩ニ依リマシテ人絹ノ進出ガ非常ニ盛ニナリマシテ、人絹トノ對抗上——固ヨリ人絹

ノ用途ト天然絹絲ノ用途トハ違フ點モアラウト思ヒマスガ、ドウシテモ人絹ハ今以上ニ進出シテ參リマセウシ、又科學ノ進歩ニ依リマシテ人絹ガヨリ以上ノ巧ナ製品ガ出テ來ルト思ヒマス、サウ云フコトヲ考ヘマス時ニ、果シテ今ノヤウナ關係ニ於キマシテ人絹ト相對抗シテ、サウシテ我國ノ製絲ノ用途ガ縮メラレル心配ハナイノデアリマセウカ、餘程生産費ヲ低下スルカドウカ致シマセスト、是ト對抗シテ行クト云フコトハ困難デハナイカト考ヘマスルガ、其邊ノ御見透シハ如何ニ考ヘラレルノデアリマスカ

○後藤國務大臣 御話ノ如ク人絹トノ對抗問題ハ、蠶絲業ノ前途ニ投ゲラレテ居ル重大問題デアルト思ヒマスガ、私共ハ之ニ對シテ決シテ悲觀ハ致サナイノデアリマス、固ヨリ無爲ニシテ之ニ對抗ガ出來ルトハ思ヒマセヌガ、非常ナ努力ガ要リマス、其努力ニ依ッテハ十分ニ對抗シテ行ケルト云フ考ヲ今日ハ有ッテ居リマス、ソレガ爲ニハ御話ノヤウニ一方ニ生産費ノ低下ヲ圖リ、一方ニハ新シク生絲ノ用途ノ開拓ヲスル、サウシテ生絲ガ有ッテ居ル動物纖維トシテノ特色ヲ十分發揮スルヤウナ用途ヲ大イニ考ヘルト云フコトニ依ッテ、天然絹絲ノ需

要トカ販路ガ、人絹ノ進歩ト相竝ンデ進ンデ行クコトガ出來ルト云フ途ガ、全ク杜絶サレテ居ルモノデハナイト思ッテ居リマス、唯之ニハ矢張り人造絹絲ガ現代科學ノ進歩ト云フモノヲ色々採入レテ、非常ニ發達ヲ圖ッテ居ルト同ジヤウニ、天然絹絲ノ方面ニ於キマシテモ、現代ノ科學其他ノ知識ヲ十分ニ採入レテ、其地歩ヲ確保シテ行クコトヲ考ヘテ行カナケレバナラヌト思ッテ居リマス、唯ソレガ爲ニハ人造絹絲ノ産業ト違ヒマシテ、天然絹絲ノ産業ハ其組立ガ非常ニ違ッテ居リマス、一方ハ大工業組織デアリマスルシ、一方ハ我國ニ於テ原料カラ農家ガ仕上ゲテ行ッテ、サウシテ製絲業ヘト移ッテ行クト云フヤウナ徑路ヲ持ッテ居リマス、非常ニ複雑デアルガ爲ニ非常ニ困難デアリマス、併ナガラ吾々ハ此困難ト闘ッテ、打克ッテ行クト云フ決心ヲ持ッテ掛ッテ參ラナケレバナラス、又參リマスルナラバ、サウ今日悲觀ヲ致シタモノデハナイ、併シ過去ニ於ケル生絲ノ非常ナ盛況ヲ再ビ夢ミテ掛ル譯ニハ行カナイ、是ハ困難ナルコトヲ覺悟ノ上デ、困難ト闘フト云フ積リデ參ラナケレバナラス、斯ウ考ヘテ居リマス

○生田委員長 青木君、何カ關聯シテ御意見ガアリマスカ

○青木委員 イマ一應先程ノ百瀬君ニ對スル御答辯ニ關聯致シマシテ一寸——重大ナ事デスガ、併シ此事ハ餘リ今カラ聲ヲ大キクシテ言ヒタクナイノデスガ、參考ノ爲ニ一言ダケ承ッテ置キタイト思ヒマス、此今年度ノ蠶絲對策ノ色々ナ施設ニ關スル御答辯ノ中ニ、特殊ノ事態ノ起リマシタ時ハ買上等ノコトヲ考慮スル、其時ニ當ッテ考慮スルト云フ、是ハ最も用意周到ナル御答辯デ稍々モ其處マデ御考ヘ下スッテ居ルコトヲ力強ク思ッテ居ルノデスガ、此特殊ノ事態ト云フ御言葉ノ解釋ハ、當然繭或ハ絲ノ非常ナル暴落ト云フ意味ニ解釋スルモノト心得ルノデスガ、更ニ之ヲ具體的ニ言ヒマスレバ、全面的ニ生産費ヲ割ル、サウ云フ時ノコトヲ特殊ノ事態ト解釋シテ宜シイカドウカ、此點ニ付テイマ少シハッキリ御説明ヲ願ッテ、後ハ多ク申シマセヌ

○後藤國務大臣 繭ノ買上等ヲ特殊ノ異常ナ事態ガ生ジタラバ考ヘルノカト云フ、先程百瀬サンノ御質問ガアリマシタ場合ニ、非常ナル特殊ノ事態ガ生ジマスレバ、又其時ノ事情ニ應ジテ臨機ノ處置ヲ考ヘナケレバナラス、サウ云フコトニ付テハ政府ニ於テモ常ニ覺悟モシ、腹案モ練ッテ居ル、併シ

サウ云フ事態ノ生ゼザランコトヲ希望スルト共ニ、萬ガ一ニモサウ云フ事ガアレバ、其時ノ事情ニ應ジテ考ヘナケレバナラスト云フコトヲ申シタノデアリマス、實ハ今日マダ此席ニ於テ具體的ニサウ云フ場合ハドウスルカ、如何ナル事件ガ起キタナラバ、サウ云フ事態ガ生ジタト認メルカト云フコトヲ申上ゲルコトハ、一寸申上ゲ兼ネルノデアリマス、併シ我國ノ農村ノ今日ノ狀況等カラ見マシテ、亦國家社會ノ全體ノ事情カラ考ヘマシテ、政府ニ於テ何カ考慮シナケレバナラスト云フヤウナ異常ナ事態ガ生ズル時ニハ、又ソレ相當ノコトヲ考ヘナケレバナルマイ、サウ云フコトヲ申シタノデ、ソレハ當リ前ノ事ダラウ、言ハナクテモ分ッテ居ルト云フヤウナ御言葉ヲ受ケルカモ知レマセヌケレドモ、今日ノ場合ハ左様申上ゲルヨリ外ハナイノデアリマス

○畑委員 此原蠶種管理法ハ吾々十年來要望シ來ツタ問題デアリマシテ、漸ク茲ニ實現性ヲ見タノデアリマスガ、此案ガ今日此議會ニ提案サレマス時ニハ、吾々ハモット蠶業界ノ全般ノ統制管理ヲ考ヘテ居ルコトヲ期待シテ居ツタノデアリマス、然ルニ原蠶種ノ管理統制ガ今後三四年ノ後ニ於テ效力ヲ出スト云フヤウナ、洵ニ心細イコトデアリ

マシテ、現下ノ農村ノ事情カラ察シマシタナラバ、洵ニ心細イ次第ト思フノデアリマス、現在ノ農村ノ事情ハ今茲ニ私ガ申上ゲル必要ハゴザイマセヌ、能ク農林大臣ハ御存ジダラウト思フノデアリマス、此秋ニ於テ絹絲ノ販路擴張、開拓ト云フコトハ、無論是ハ當業者竝ニ政府ニ於テ十分御心配ナサデ居ルコト、存ジマスルガ、茲ニ農村ト致シマシテハ現在ノ儘デハドウシテモ救ハレナイ狀態ノ下ニアルノデアリマス、既ニ先刻來多數ノ同僚諸君カラ質問應答ガアリマシテ、私ノ間ハントスル所モ既ニ盡キタヤウデアリマスケレドモ、農村ノ蠶業ハコ、數年以前マデハ比較的好況ノ仕事デアリマシタ、併ナガラ現在ノ農村ノ蠶地ハ決シテサウデハナイノデアリマス、一方ニ於テ米作ト云ヒマシテモ、米作自體デハ農村經濟ハ保テナイ、爲ニ一方副業ト致シマシテモ、亦純養蠶地ト致シマシテモ、之ニ専ラ力ヲ用ヒマシテ、此生産増殖改良ニ盡力ヲシテ居ラレタノデアリマス、所ガ幸ニシテ品種ハ改良サレ、増産サレ、茲ニ大ニ其目的ノ一半ヲ達シタト云フ時ニ、偶、絹絲ノ慘落ニ因ッテ、又再ビ農村ハ悲境ニ沈倫シナケレバナラスト云フ狀況ニナリマシタ、假ニサウ云フ風ナ狀況ヲ見マシテモ、一進

一退、洵ニ桑園ノ改良ヲ獎勵致シ、漸クニシテ是ガ完成シタ時ニハ、折角ノ地質ノ良イ桑園ニ依ッテ良イ繭ヲ取リマシタモノハ、繭價ガ慘落シテ全ク目モ當テラレヌヤウナ氣ノ毒ナ現狀ヲ見ルノデアリマス、ソコデ農村ハ是デハナラスト云フコトデ、其折角出來上ツタ株ノ揃ヒマシタ桑園ヲ復タ掘返シマシテ元ノ田地ニスル、斯ウ云フコトヲ繰返シマシテハ、到底農村ハ生キテハ行ケナイ、私共此原蠶種管理法ガ出マシタ時ニハ、所謂生産統制モ共ニ致シ、或ハ又數多保護方法ヲ御立デニナリマシテ、今日全ク窮迫セル所ノ農村ノ蠶地地方ガ安定スルコトガ出來ルヤウナ案ガ出ルコトヲ要望シテ居ッタノデアリマス、然ルニ唯此管理法案ノ一ツガ出マシテ、而シテ尙ホ數年後デナケレバ養蠶家ニ依ッテ要望サレル所ノ蠶種ノ安定ガ出來ナイト云フコトハ、非常ニ遲イノデアリマス、ソコデ自分共ノ考ト致シマシテハ、蠶種ノ統制、品種ノ改良ト云フコトハ多年叫ビ來ツタ問題デアリマスルガ故ニ、此管理法ガ成立シマシタナラバ、養蠶家ニ對シマシテ產繭不作ノ場合、其不作ガ蠶種ニ基因スル場合ニ於テハ之ヲ補償シ、或ハ之ニ對シテ相當ノ給與ヲスル方法ヲ御立デニナル所ノ御考ガ御有リデアリマスカ、斯ウ

云フ例ガアルノデアリマス、一地方ノ一養蠶區域ニ於テ或ル蠶種ハ非常ニ滿作ヲシ、或ル製造家ノ蠶種ハ全ク不作ニ終ツタ、是ハ所謂蠶種ニ原因スルノデアリマス、桑園ト云ヒ、蠶種ト云ヒ、總テ統一サレテ訓練サレマシタ養蠶技術ヲ持ッテ居ル養蠶地方デ、或ル一ツノ部落ハ滿作ヲシ、或ル一ツノ部落ハ全ク不作ニ陥ツタト云フヤウナコトハ屢アル例デアリマス、此事ハ愈々國家管理ニ依リマシテ蠶種統制ガ付キマシテモ、三年五年ノ年月ヲ經ナケレバ養蠶家ノ手ニ入ラスト云フヤウナ蠶種デアリマシタナラバ、其間ニ於テハ蠶種製造技術ノ優劣ト云フコトニ依リマシテ、甲ノ部落ハ滿作ヲ取リ、乙ノ部落ハ不作ヲ取ルト云フヤウナコトハ無キニシモ非ズト考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ場合ニ於テ屢々蠶種製造家アタリハソレニ對シテ相當ノ補償ヲ致シ、賠償ヲスルト云フヤウナコトモヤリ來ッテ居ルノデアリマス、今日此管理法ニ依ッテ初メテ蠶種ガ供給サレ、或ハ原蠶種ガ供給サレルト云フ場合ニナリマシタナラバ、其原蠶種ニ因ル責任、或ハ原蠶種ニ因ル責任等、其配給蠶種ニ責任ガナイトハ限リマセヌ、其場合ニ於テ相當ノ考慮ガアリマスヤ否ヤ、之ヲ御伺シタイノデアリマス

ソレカラモウ一點ハ御承知ノ通り農村養

蠶地ノ窮迫ハ非常ナモノデアリマシテ、誠

ニ言語ニ絶スル狀態デアリマスガ、先刻來

ノ多數同僚トノ質問應答ニ依リマシテ、大

體私ノ間ハントスル所ハ否込シテデアリ

マスクレドモ、一方ニ於テハ政府當路者及

商人等ノ努力ニ依リマシテ、販路ノ擴張等

ヲヤッテ居リマスガ、併ナガラドウ致シマシ

テモ現在ノ農村、現在ノ養蠶地ヲ救ヒマス

ニハ、根本的ニ養蠶業總テニ瓦リマシテノ

統制ヲ付ケマシテ、サウシテ安ンジテ業ニ

服セルヤウニスル、ソレニハ先ヅ或ル程度

ニ繭ガ取レル、又自分ニ配給サレテ居ル種

デ是ダケノ繭ヲ作レバ是デ生活ガ立ツト云

フコトニナッテ、生計ノ安定ヲ得ルコトガ出

來マスレバ、非常ニ宜イノデアリマスクレ

ドモ、今日此管理案ダケハ目的ヲ達スル

コトハ出來マスマイ、併シ將來全般的ノ管

理統制ノ方法ガ立チマシタナラバ、此養蠶

業ニ對スル所ノ保險制度——一方ニ於テハ

簡易保險ノ如キ例ガアルノデアリマスカ

ラ、ア、云フヤウナ例ニ依リマシテ斯ウ云

フモノヲ御設ケニナル御意思ガアルカドウ

カ、是等ノ點ハ一般米作ナド、大ニ違ヒマ

シテ、此蠶業統制ハムヅカシイコトハムヅ

ノ付キ易イ仕事デアリマス、努力如何ニ依

リマシテハ統制ハ必ズ付クノデアリマス、

其際ニ於キマシテハ、一方ニ於テ簡易保險

ト同様ノ、所謂養蠶業ノ保險制度ト云フモ

ノヲ御設ケニナル御意思、或ハ御計畫カア

リヤ否ヤ、此點ニ付キマシテ御伺致シマス

○後藤國務大臣 御尋ノ第一點ハ政府ガ原

原種ヲ管理シテ參ルコトニナレバ、若シ普

通蠶種ノ買受ヲシテ、養蠶ヲシタ養蠶家ガ

違作ヲシタヤウナ場合ニ、ソレガ原原種ノ

惡カッタコトニ基因スルト云フヤウナ時ニ

ハ、ソレヲ賠償スルト云フヤウナコトデモ

考ヘテ居ルカト云フコトデアリマス、政府

ト致シマシテハサウ云フ事態ノ起ルコト

ハ、過去數十年ノ經驗等ニ徴シテ万々ナイ

ト存ジテ居リマス、原原種ヲ定メテ之ヲ全

國ニ配付スル品種ト致シマスル爲ニハ、最

高ノ技術ヲ以テ有ユル試驗ヲ實行シテ、全

ク確信ノ付イタモノデナケレバ原原種トシ

テ配付ヲ致サナイ譯デアリマス、此原原種

トシテ配付致シマシタモノヲ、府縣ニ於テ

更ニ原種トシ、或ハ民間ノ當業者ガ原原種

ノ配給ヲ受ケマシテ、之ヲ原種トシテ一般

ノ蠶絲業者ニ分ケテ、ソレデ普通蠶種ヲ作

モノトガアルト云フコトハ、是ハ原原種ノ

惡イト云フコトデハ無論ナイと思フノデア

リマス、途中ニ於ケル蠶種ヲ作ル者ノ操作

其他ノ優劣ノアルコトカラ起ルモノデアラ

ウト思ヒマス、今日ノ場合デハ原原種ニ基

因シテ、一方ニ滿作ガアリ、一方ニ不作ガ

起ルト云フコトノアルベキコトヲ實ハ想像

致シテ居リマセヌ、今日ノ原原種國家管理

ヲ致シテ居リマセヌ場合ノ事態ニ較ベマス

レバ、著シク改善サレルコトガアッデモ、惡

クナルト云フコトハナイノデアリマス、養

蠶家ノ方カラ考ヘマスルナラバ、現在ノ狀

況ヨリモ其點ニ於テハ少クトモズツト改善

サレタ狀況ガ現レルコト、考ヘテ宜シイ

ノデハナイカト存ジテ居リマス

ソレカラ第二ノ養蠶ノ違作又ハ價格ノ變

動等カラ生ズル養蠶家ノ損害ニ對スル保險

制度等ノコトニ付テ考ヘテ居ルカト云フ御

尋デアリマス、此養蠶ノ作柄カラ生ズル保

險ト云フヤウナ事柄ハ、考ヘラレ得ルコト

デハアルト思ヒマスガ、農產物ノ保險ノ中

デモ最モムヅカシイ種類ノ保險デアリマシ

テ、今日マダ十分ナ研究ハ遂ゲテ居リマセ

ヌ、今後ニ於テモサウ云フ問題ニ付テハ考

フ意味デノ研究ガ出來テ居ルト云フ程度ニ

參ッテ居リマセヌ、此價格ノ變動カラ生ズ

ル損益ノ關係ノ保險ト云フコトハ、非常ニ

ムヅカシイ問題デアリマシテ、絲價ノ安定

ヲ圖リ、或ハ生産費ニ關スル方策ヲ講ズル、

販路ノ點ニ於テモ考究スルカ云フ事柄

ハ、詰リ斯ウ云フコトカラ生ズル損失ヲ、

成ベク最小限度ニ止メシメヨウト云フ目的

カラ參ルノデアリマス、保險的ナ方法デ此

救済ヲ考ヘルト云フ事柄ハ、今日ノ所ハマ

ダ考ヘテ居リマセヌ譯デアリマス

○畑委員 第一ノ點ニ對シマシテ大臣ハ過

去四五十年ノ間ニハ原原種ニ於テ、或ハ原

蠶種ニ於テサウ云フ違作トナル蠶種ヲ配付

シ、又ハ其施設ヲ爲シタコトハナイト云フ

御言葉デアリマシタガ、是ハ實際ニ於テ澤

山アル例デアリマス、例ヘバ或ル府縣ニ於

テ原原種ヲ受入レマシテ、サウシテ之ヲ縣

下ノ蠶種製造家ニ配付シタ、其成績甚ダ不

良デアアル爲ニ、他府縣ノ原種ヲ仰ギ、サウ

シテソレニ依ッテ漸ク成績ヲ繋イデ居ル、自

分ハ其縣ニ居ルガ爲ニ成ベク其縣下ノ原蠶

種、或ハ普通蠶種ヲ用ヒタイト云フヲ考ヘ

チマシテモ、其場合違作ヲ取ル時ニ甚ダ成

績ノ面白カラザル結果ヲ見マシテ、製絲家

テ、蠶デハ自分ノ府縣ヲ捨テ、他ノ縣ノ原蠶種、又ハ原種ヲ仰ガナケレバナラスト云フ實例ハ、是ハ最近多年ノ實例デ、一昨年モブツタ例デアリマス、茲ニ其府縣ヲ現ハシタリ致シマスコトハ、却テ其府縣ヲ汚シマス爲ニ私ハ差控ヘマスガ、サウ云フ例ハ澤山ブルノデアリマス、而モ原原種カラ普通蠶種ニナリマス間ニハ、時ニ中々變化ガアルノデアリマス、氣候風土、其他飼育ノ技術如何ニ依リマシテ、隨分變化ガアルノデアリマス、豫想シ得ラレザル結果ヲ生ムノデアリマシテ、時ニ非常ナ種類ヲ發生スルト云フコトモアルノデアリマス、是ハ昭和九年ニ於テハサウ云フコトハナイカモ知レマセヌケレドモ、併ナガラ昭和八年迄ニハサウ云フ例ハ澤山ブツタノデアリマス、デアリマスルカラ此蠶種ニ基因スル所ノ損害ニ對シマシテハ、愈々上簇期ニナリマシテ、サウシテ蠶種家ト爭ヒ、或ハ其供給地ト爭フ、養蠶家ガ非常ナ悲鳴ヲ揚ゲテ爭ヒマシタ時ハ、最早既ニ奈何セン、此全部ヲ蠶種家ガ保存スル譯ニモ參リマセヌ、養蠶家ハ遂ニ泣寝入りニナリマシテ、其一年ノ收蠶ガ不作ニ終ッテ、サウシテ澤山ナ費用ヲ掛ケテ大ニソレガ爲ニ多額ノ失費ヲ致シマシテ、例ヘバ此蠶種アルガ爲ニ貧乏シナケレバナ

ラスト云フ實例ハ澤山アリマス、或ル製絲會社、又ハ或ル蠶種製造家ト隨分町村長若クハ養蠶組合長等ガ折衝ヲ致シマシテモ遂ニ意ノ如クニハナラズ、蠶デハ養蠶家ノ泣寝入りニ終ルト云フ例ハ澤山ブルノデアリマス、成ベク私共ノ希望ト致シマシテハ、原原種カラ原蠶種、普通蠶種ニナリマス迄ノ徑路ヲ短ク致シテ貰ヒタイ、三年四年五年先ニナラナケレバ養蠶家ノ手ニ種ガ入ラヌト云フヤウナマドロコシ遺方デハ、到底理想的ナ養蠶ハ出來ナイノデアリマス、政府或ハ政府ノ直屬ノ試驗場邊リデ御造リニナリマシタ所ノ原原種ハ如何ニモ立派ナモノデアリマセウ、併ナガラソレハ翌年、或ハ翌々年位ニ飼育サレマスナラバ、相當立派ナ繭モ得ラレルノデアリマス、早ヤ既ニソレガ二年モ三年モ經過シテ居リマスルト云フト、折角ノ優良原原種モ結果ニ於テハ全ク不作同様ニナラナケレバナラスト云フヤウナ實例ハ澤山ブルノデアリマス、此點ニ付キマシテ、或ハ蠶種製造家ガ其蠶種不良ナル所ノ責任ヲ負ハナケレバナラヌ、又負ウテ貰ハナケレバナラヌノデアリマス、養蠶家トシテハ、其蠶種ヲ買ヒマシタガ爲ニ全ク昨年來培ヒマシタ所ノ——非常ニ澤山ニ費用ヲ掛ケマシタモノガ、全ク桑ヲ食ッテ

シマッテカラ其結果ヲ見ルノデアリマス、是ガ豫メ此不作ヲ知ルコトガ出來マシタナラバ——養蠶家ノ手ニ於テ其蠶種ノ振ハナイコトヲ豫知スル技術デモアリマシタナラバ、サウ云フ結果ヲ見ナイノデアリマシマス、モウ此養蠶ト云フモノハ結局上簇期ニナリマシテ不作ヲ見ルノデアリマス、一齡二齡ト云フノデヤナイノデアリマス、一齡二齡三齡ト云フ頃ニナレバ不作ニナルト云フコトモ分ルカモ知レマセヌガ、大體ハ上簇期ニナッテカラ其不作ヲ見ルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ於テ養蠶家ヲシテ安心セシメテ養蠶ニ從事セシメ、又斯ウ云フヤウナ不作ノ時ハ關係者ガ或ル程度ノ補償ヲ得ラレルト云フヤウナコトニ依ッテ、養蠶家ハ全ク投機的氣分ヲ離レテ、純粹ナル自分ノ生業トシテ將來ノ見込モ立チ得ルノデアリマスガ、此點ヲ重ネテ、若シ大臣デナケレバ局長カラデモ御答願ヒタイ

因トシタ違作ト云フモノハ、過去數十年間ニ一度モナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、普通蠶種ヲ基トスル違作ノ實例ハ御話ノ通りデアリマス、殊ニソレガ特約取引等ニ於テ、特殊ノ蠶種製造業者ガ其特約組合ニサウ云フモノヲ配付致シマシテ、其爲ニ損害賠償ノ問題等ガ起リマシタコトモ聞イテ居リマスガ、ソレハ養蠶經營ノ品種ノ問題デナシニ、今マデ度々起ツコトヲ承知シテ居リマス、殊ニ今度ノ原原種ヲ國家カラ配付致シマス場合ニ於キマシテハ府縣ナリ、或ハ蠶種製造業者ガ原種ヲ製造スルノデアリマシテ、ソレニ對シテ又蠶種製造業者ガ普通蠶種ヲ製造スルノデアリマスカラ、養蠶家ノ立場カラ見マスレバ、斯ノ如キ違作ニ對スル責任トシテハ、直接ノ普通蠶種製造業者ガ先ヅ負フベキモノデアリマシガ故ニ、其選擇ニ付キマシテハ十分ニ今後ハ養蠶家トシテモ考ヘテ行カナケレバナラヌ、ソレニハ養蠶指導員ト云フヤウナモノヲシテ、十分此蠶種ノ選擇ニ付テハ今後モ指導ヲ進メテ行ッテ、サウシテ其過チノナイヤウニ努メテ行キタイ、ト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○畑委員 只今ノ政府委員ノ答辯ニ依リマシテ大體諒承致シマシタガ、此點ハ非常ニ

農家ノ不滿トスル所デアリマスカラ、府縣

或ハ蠶種製造家ニ於カレマシテモ十分ナル

監督指導ト、又ソレ等ノ方面ニ於テ相當ナル

賠償ノ責任ヲ持チ得ルヤウニ御盡力ヲ願

ヒタイノデアリマス、大臣ハ養蠶業家ノ點

ニ付テモ餘程考ヘラレテ居リ、又將來モ考

ヘルト云フ御答辯デアリマシタカラ、私ハ

此程度デ打切りマスガ、要スルニ此管理法

ガ漸ク今日實現シマシタコトハ、洵ニ慶賀

ニ堪ヘナイ、併ナガラ是ダケデハ先刻來同

僚諸君カラモ質問ガアリマシタ通り、到底

是ノミヲ以テハ蠶絲業界ノ維新更生ハ出來

ヌノデアリマスカラ、之ニ對シテ附隨スル

所ノ諸般ノ點ニ付キマシテ、成ベク速ニ統

制管理等ノ方策ヲ立テラレマシテ、或ハ販

賣、販路ノ擴張等ニ付キマシテ御盡力ヲ仰

ギマシテ、今日窮迫シ、殆ド困憊ノ極ニ

立ッテ居リマス所ノ農村養蠶業者ヲ、一刻モ

早ク光明ニ滿チタ朗カナル農村トシテ更

生致シマスルヤウニ、政府當局ニ於テ切ニ

御盡力ヲ願ヒタイト云フ希望ヲ申上ゲマシ

テ、私ノ質問ハ打切りマス

○小山委員 本法律案第九條、即チ「蠶種

製造者ハ前條ノ規定ニ拘ラズ原種ノ製造ニ

限リ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可

ヲ受ケ之ヲ爲スコトヲ得」ハ原則トシテ原

種ノ製造ハ府縣ニ之ヲ行ハシメル、但シ相

當ノ資格、設備、規模ヲ有スルモノニ對シ

テハ、大臣ガ許可ヲ與ヘテ、自ラ其原種ヲ

製造スルヲ得ルノ途ヲ茲ニ開イテアルモノ

デアラウト思フノデアリマス、其免許資格

許可條件ハドウ云フ程度ノモノデアリマス

カ、又其許可條件、免許資格ニ相當スル設

備、規模ヲ有シテ居ラヌ中小蠶種製造業者

ガ相集リマシテ、其資格ヲ有スル程度ノ條

件ヲ備ヘタ場合ニハ、之ヲ許可スルノ御見

込デアアルカドウカ、此點ヲ伺ヒタイノデア

リマス

第二ニハ本法案ニ直接ノ關係ハアリマセ

ヌガ、之ヲ實行スルニ當リマシテ、法律制

定ノ根本精神ニ重大ナル關係ヲ有スル所ノ

即チ蠶種ノ病毒検査ノ件ニ付テ御尋ヲ致シ

タイト思ヒマス、ソレハ蠶絲業法施行規則

ノ第五十條ニ付デアリマス、病毒検査ハ

之ヲ第三者デアアル府縣ヲシテ行ハシメテ居

ルノデアアルガ、許可ヲ得タ者ハ、其組合若

クハ蠶種製造業者自身、病毒検査ヲ行ヒ得

ルコトニナッテ居リマス、私ハ病毒ノ検査

ト云フヤウナコトハ、検査ト云フ本來ノ性

質カラ考ヘマシテモ、利害關係ヲ有スル當

業者自身ガ自身ノモノヲ検査スルト云フコ

トハ、是ハ性質上好マシカラザルコトデア

ル、寧ロ原則デアアル所ノ第三者ノ検査――

府縣ノ検査ヲ徹底セシムルコトガ當然デア

ルト思フノデアリマス、隨テ私ハ自治検査

ノ制度ハ之ヲ撤廢スルコトヲ希望スルノデ

アリマスガ、此度此法案ガ成立致シマスル

ナラバ尙更其目的ガ品種ノ統一、優良品種

ノ普及ニアアルノデアリマスカラ、是等ノ檢

査ノ如キハ十分徹底セシメナケレバナラナ

イシ、獨リ病毒検査バカリデナク、其副作

用トシテ蠶種ノ複製其他ノ許スベカラザル

事柄ガ起リ易イ危險ヲ防止スル上カラ申シ

マシテモ、検査ヲ第三者ニ移スト云フコト

ガ、最も適當グラウト思フノデアリマス、

政府ハ是等ノ施行規則改正ノ御意思ガアリ

マスカドウカ、此點ヲ伺ヒタイト思ヒマ

ス

○後藤國務大臣 只今ノ御質問ノ諸點ハ政

府委員カラ答辯致シマス

○井野政府委員 原蠶種管理法九條ノ自家

用原蠶種ノ許可標準ニ付キマシテノ御尋デ

ゴザイマスガ、是ハ省令ニ大體書ク積リデ

居リマスガ、下ノ程度マデ詳シク書クカハ

決メテ居リマセヌガ、其大體ノ標準ヲ申上

ゲマス、適當ナ原蠶種検査設備ヲ有ス

ルコト、適當ナ原種製造管理者ヲ持ツコ

ト、最近三箇年ニ於キマスル各年ノ製造蠶

種ノ成績ガ優良デアアル、一年ノ普通蠶種ノ

製造額ガ大體三十萬噸以上ノモノニシタイ

ト考ヘテ居リマス、ソレカラ本法又ハ蠶絲

業法ニ依リマシテ處罰ヲ受ケ又ハ免許ヲ取

消サレ、許可ヲ取消サレテ後三箇年ヲ經過

シタモノト云フヤウナ大體標準決メテ行

キタイト考ヘテ居リマス、ソレカラソレ以

下ノ者ガ共同ヲシテ此資格ヲ有ツタ場合、ソ

レガ或ハ法人ト云フ資格ヲ御有チニナリマ

スカ、或ハ共同的ノ唯施設デゴザイマス

カ、ソレ等ノ事情ニ依リマシテ、出來ルダ

ケ其施設ガ此趣旨ニ合致シマスレバ許可シ

テ行キタイト考ヘテ居リマス

ソレカラ第二ノ自治検査ノ問題ニ付キマ

シテ、原蠶種管理法ガ出來タナラバ、自治

検査ヲ撤廢シトラバドウカト云フ御意見ノ

ヤウデアリマスガ、自治検査ガ出來マシタ

沿革カラ申上ゲマス、是ハ小山委員ニモ

多分御承知ノ問題デアリマスガ、大體自家用

蠶種ヲ造リマス場合ニ於テ、其蠶種ノ普通蠶

種トシテ賣リマス成績ガ惡ケレバ、自分ノ商

賣ニ付テ非常ナ影響ヲ受ケルノデゴザイマ

スカラ、隨テ其自家用ノ原種ニ付テノ検査

ト云フコトヲ自分ニヤラセマシテモ、少シモ

ソコニ弊害ガ起ラヌ、詰リソコニ検査ガ粗漏

デアリマスレバ、最後ニ於テノ検査ニ於キ

マシテ病毒ノ發見ガサレマス、結局自分ノ蠶種ガ不評判ニナルノデアリマスカラ、是ハ自家用蠶種ニ限ッテハ自治検査ヲ認メルノガ適當デアルト云フノデ、是ハ佛蘭西等ノ制度モ其當時色々斟酌致シマシテ作ッタ制度デゴザイマスガ、隨テ其後ノ實績ヲ見マシテモ、自治検査ノ検査ニ依ル病毒歩合ト云フモノハ非常ニ少イノデアリマス、成績モ優良デゴザイマスカラ、今後ニ於キマシテモ尙ホ此制度ハ國トシマシテハ持續シテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○小山委員 病毒ニ對スル自治検査ハ、其制度ヲ尙ホ存續シテ行キタイ、而シテ其理由ハ、當業者ガ自ら販賣スベキ蠶種ニ病毒ノアルモノヲ頒布スル時ハ、自らノ營業範圍ヲ狹メルコトニナルノデアルカラ、其儘認メテ行フテ宜カラウトノコトハ御趣旨トシテハ一應御尤ノヤウデアリマス、併ナガラ當業者ガ自分ノ利益ノ爲ニ優良ナルモノヲ賣ルコトニ努メルノハ、必シモ病毒ノ場合バカリデハアリマセス、若シサウ云フ御意見デアリマスルナラバ、須ク蠶種ハ、當業者自らノ販路擴張ニ努力スル爲ニ優良ナルモノヲ求メテ進ムデアラウカラ、自由ニ放任シテ置イテ可ナリ、何モ國家ガ統一統

制ノ制度ヲ設ケルノ必要モナイデハナイカト云フ結論ニナルデハナイカ、甚ダ其意ヲ解スルニ苦シム次第デアリマス、殊ニ私ナド心配致シマスノハ、自治検査ノ成績ガ非常ニ宜シイト云フ御話デアリマスルガ、既ニ當業團體ノソレノ有力ナル者ヨリモ、此検査ノ弊害ヲ認メテ是ガ制度ノ撤廢ヲ決議致シテ居ル團體モ相當數多ク上ッテ居ルヤウニ記憶致シテ居リマス、隨ヒマシテ政府ハ此點ニ對シテ宜シク實情ヲ御調査ニナリ、當業者ノ要望ノ存スル所ヲ御考慮ノ上、成ベク速ニ是ガ撤廢ニ向ッテ御研究アランコトヲ望ミマス

尙ホ序ニ御尋申上ゲマスガ、此法案以外ニ先程同僚諸君カラモ幾多御意見ガアリマシタガ、蠶絲業ノ現狀ヲ打開シ、其更生ノ一路ヲ辿ラシムル爲ニハ、更ニ他ニ幾多ノ重要ナル政策ヲ執ラナケレバナラヌト云フ御話ガアリマシタ、其一ツトシテハ、既ニ政府ガ販賣統制ニ向ッテ有力ナル諮問機關ヲ設ケテ、此諮問ヲ基礎トシテ、政府自らノ責任ニ於テ、何等カ其目的ヲ達成セシムル爲ニ、或ハ問屋ノ免許制度デアルトカ、或ハ取引改善ノ一助トシテ、販賣登錄ノ制度ヲ設ケルトカ、其他販賣統制上必、要ナル事項ヲ豫想シテ、大臣ノ權限ニ移ストカ云フヤウナ

コトヲ伺ッテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ノ點ニ對シテハ、本議會ニ法律案トシテ御提出ニナル御意思デアアルカドウカ此點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 只今ノ最後ノ御尋ノ點ニ付キマシテハ、本會議ニ法律案トシテ提出ヲ致シタイトノ希望デ、其見込デ今進行シテ居リマス、マダ調査會ノ方モ小委員會ガ過ギマシテ、總會ヲ經ナイヤウナ有様デアリマスカラ、是ハ兩三日ノ内ニ總會モ開キマシテ、他ノ關係省トノ協議ト云フヤウナコトモアリマスルガ、出來得ル限り急イデ、成ベク實現致シタイト云フ積リデ居リマス

○井野政府委員 自治検査ニ付キマシテ、只今小山委員ノ御話ニ依リマス、各蠶絲團體ニ於キマシテモ、是ガ撤廢ノ希望ヲ有ッテ居ルノハ、其實情ニ於テ自治検査ノ成績ガ舉ラナイ點モアルト云フ御話デゴザイマシタガ、是等ノ點ニ付キマシテハ、私共ノ調査シテ居リマス所デハ、マダサウ云フコトハナイト考ヘテ居リマス、併シ自治検査ノ問題ハ、是ハ多年ノ問題デゴザイマスルカラ、政府ト致シテモ、今後共ニ研究ヲ續ケテ參リマシテ、其制度自體ガ非常ニ惡ケレバ、是ハ勿論改善シナケレバナラヌト考ヘテ居リマスガ、現在マデ考ヘテ居リマス點

ヲ先程申上ゲタ次第デアリマス

○小山委員 自治検査ニ付キマシテハ、更ニ實績竝ニ當業者ノ要望ノ由ッテ來ル所ヲ釋ネテ、十分研究ヲ重ネルト云フ御答辯デアリマスルカラ、質問ハ此程度ニ止メマス尙ホ此法律案ハ當業者多年ノ要望デアリ、殊ニ吾々モ前議會ニ於テハ議員提出ノ法律案トシテ衆議院ヲ通過セシメテ、貴族院ニ回付致シマシタガ、遂ニ審議未了ニナッタノデアリマス、其精神ヲ取ッテ、以テ今回ハ政府ノ責任ニ於テ此法律案ヲ提出サレタノデアリマスルカラ、吾々ノ希望カラ致シマシテ、又吾々ノ責任カラ致シマシテモ、一日モ早く衆議院ヲ通過セシメテ貴族院ニ廻シ、貴族院ニ於テモ速ニ決定ヲ得テ、是ガ法律制定ノ目的ヲ達セシムベク努力スルト云フコトガ、吾々當然ノ務ト考ヘルノデアリマス、況ンヤ政府ハ蠶絲業ニ對スル他ノ重要法案モ引續キ本議會ニ出サウト云フ強イ希望ヲ有ッテ居ラル、ノデアリマスルカラ、私ノ蠶絲業全般ニ對スル質問ハ之ヲ他日ニ譲リ、本法案成立ノ一日モ速カナランコトヲ望ンデ質問ハ此程度ヲ以テ打切りタイト思ヒマス

○三善委員 只今ノ質問ニ對スル政府ノ御答辯ノ中ニ、原蠶種ヲ製造スル自家用ノモ

ノニ對シテハ、相當ノ設備ヲ持ツモノニ對シテハ許可スルト云フヤウナ御方針デアリマスルガ、先ニハ一寸私ノ聽達カモ知レマ

セヌガ、三割ガ民間デ、餘ノ七割ガ縣ノ方デヤルト云フヤウナ御趣旨デアリマシタガ、若シサウ云フコトニナリマス、漸次設備ヲ完成シタモノガ許可ヲ申請シ、ソレニ對シテ許可ヲサレト云フコトニナリマスレバ、其數量ガ多クナリハシナイカ、三割ト云フ限度ハ超エナイ範圍ニ於テヤル御意思デアリマス、又現在政府ノ希望シテ居ラル、所ノ設備ヲ有シテ居ルモノガドレ位アツテ、其人ノ自家用ノ蠶種ト云フモノハドノ程度デアルカ、之ヲ一ツ承ッテ置キタイ

○井野政府委員 先程私が府縣ガ七割、民間ガ三割ト申シマシタノハ、詰リ今御説明申上ゲマシタ自家用原蠶種ノ許可ヲ受ケマス者ガ三割、其三割ガ偶々今許可方針トシマシテ申上ゲマシタ標準ニ合致スルモノガ、約五割位今日デハアルノデアリマス、デスカラ其中ノ設備ノ完全ナルモノヲ大體拾ッテ見マスルト、三割位丁度現在アルノデアリマス、此三割乃至七割ト云フノガ豫算計畫ノ上ノ問題デゴザイマシテ、標準ノ場合ニ於テハ、必シモソレガ一般ハ三割、一方ハ七割ト確定スル譯デハアリマセヌ、大體標準ヲ此處ニ置イテ許可ヲシテ行クト云フコトニ御諒承願ヒタイノデアリマス

○三善委員 我ハソレヲ大體ハッキリ御決メニナッテ居ラナケレバ、漸次設備ガ良クナッタカラ許可ヲシテ呉レ、斯ウ云フコトニナッテ來マス、矢張民間ノモノガ自然多クナッテ來ル傾向ニナリハシナイカ、折角原蠶種ヲ統一スルト云フ趣旨カラ申シマシテモ、是ハ民間ニ許スト云フコトハ特別ナ場合デアツテ、設備ガ完成スレバ許スト云フヤウナ御方針デ行カレ、バ、三割乃至三割五分、四割ト云フコトニナル虞ガアルノデアリマスルガ故ニ、大體ノ方針ガ三割以內ヲ許スト云フ見當ガ付イテ居ナケレバ、唯無方針デ進マレト云フコトニナリマスレバ、隨テソコガ亂雜ニ陥リ易イト思フノデアリマスルガ故ニ、是ハハッキリシテ置カレタ方ガ宜クハナイカト思ヒマスカラ、一應御尋致シマス

○井野政府委員 大體三善君ノ御考通り私共ハ考ヘテ居リマス、府縣ガ原則デアリマシテ、自家用原蠶種ヲ製造スルト云フノガ例外デゴザイマスルカラ、府縣ノ設備ガ七割ニ確定シテ來マス、ソレ以上ニ自家用原蠶種ヲ入レル餘地ハ無クナッテ來ルノデアリマス、隨テ設備其他ノ點ニ於テ完全シ

テ參リマシテモ、許可ノ數量ノ上カラ行キマシテ餘地ガナケレバ許可シナイ、デスカラ大體ニ於テ三割以內ト云フコトニ止メテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○生田委員長 本日ハ此程度デ散會致シマス、次會ハ公報ヲ以テ御通知申上ゲマス

午後四時二十分散會

昭和九年二月二十八日印刷

昭和九年三月一日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社